

第9期新座市高齢者福祉計画・
新座市介護保険事業計画策定のための
アンケート調査
結果報告書

令和5年3月
新座市

はじめに

新座市では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できる社会を築くため、「新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、事業を推進しています。

今後、高齢社会がますます進展し、団塊の世代が全て75歳以上となる2025（令和7）年を迎える中で、介護サービスの基盤整備とともに、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の更なる深化及び推進が求められています。

そこで新座市では、介護予防・日常生活支援総合事業を市が中心となって展開し、住民等の多様な主体が参画して、多様なサービスを充実させることにより、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりを推進しているところです。

このような中、この度、高齢者の状態・ニーズの把握、地域やその地域に居住する高齢者の課題、さらには必要となるサービスを分析するため、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」及び「在宅生活改善調査」を実施いたしました。

この報告書は、調査結果を分析し、高齢者の生活実態や心身の状況、家族等介護者の就労状況等を集約したもので、第9期新座市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度～8年度）を策定する上での貴重な資料として活用させていただきます。

終わりに、今回の介護保険に関するアンケート調査に御協力いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

新座市長 並 木 まさる 傑

目 次

第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	1
I 調査の概要	3
II 調査結果	8
問1 あなたのご家族や生活状況について.....	8
問2 からだを動かすことについて.....	14
問3 食べることについて	23
問4 毎日の生活について	28
問5 地域での活動について	31
問6 たすけあいについて	36
問7 健康について	49
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	54
問9 成年後見制度の把握について.....	56
問10 在宅医療について	59
問11 介護予防について	67
問12 介護保険制度について.....	76
生活機能評価等について	78
資料 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票.....	84
第2章 在宅介護実態調査	97
I 調査の概要	99
II 調査結果	100
1. 対象者の基本属性	100
2. ご本人に回答していただいた項目.....	101
3. 主な介護者様にご回答・ご記入いただいた項目.....	121
資料 在宅介護実態調査 調査票.....	129
第3章 在宅生活改善調査	137
I 調査の概要	139
II 調査結果	141
1. 事業所票	141
2. 〈利用者票〉現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の状況等につ いて	145
3. 〈利用者票〉現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について...	147
4. 〈利用者票〉状況を改善するための、サービス利用の変更等について.....	153
資料 在宅生活改善調査 調査票.....	158

第1章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、要介護認定を受けていない高齢者の方々に日常生活の状況や保健、福祉、介護サービスに対するご要望やお考えをお伺いし、第9期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査対象者

令和4年12月1日現在、65歳以上で、要介護1～5の認定を受けていない高齢者から無作為抽出(要支援者、事業対象者含む)

3. 調査方法

郵送配布、郵送回収

4. 実施期間

実施期間：令和5年1月6日 ～ 令和5年1月31日

5. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
7,920	5,992	75.7%

6. 報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表しています。
- 「N」は、症例数のことで、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
また、複数回答（2つ以上選択）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。
- 有効回収数は5,992票ですが、基本属性(性別、年齢、日常生活圏域、介護度)不明が6票含まれているため、基本属性とのクロス集計の合計は一致しません。

7. 基本属性

(1) 性別・年齢構成別 回答者数及び回収率

■性別・年齢層別 回答者数

(人、%)

区分	65～74 歳			75 歳以上					総数
	65～69 歳	70～74 歳	小計	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	小計	
男性	569	721	1,290	627	464	232	57	1,380	2,670
	21.3%	27.0%	48.3%	23.5%	17.4%	8.7%	2.1%	51.7%	100.0%
女性	602	913	1,515	857	603	277	64	1,801	3,316
	18.2%	27.5%	45.7%	25.8%	18.2%	8.4%	1.9%	54.3%	100.0%
総数	1,171	1,634	2,805	1,484	1,067	509	121	3,181	5,986
	19.6%	27.3%	46.9%	24.8%	17.8%	8.5%	2.0%	53.1%	100.0%

■年齢層別・性別 回収率

(人、%)

区分	男性			女性			総数		
	配布(人)	回収(人)	回収率(%)	配布(人)	回収(人)	回収率(%)	配布(人)	回収(人)	回収率(%)
65～69 歳	835	569	68.1%	850	602	70.8%	1,685	1,171	69.5%
70～74 歳	998	721	72.2%	1,212	913	75.3%	2,210	1,634	73.9%
計	1,833	1,290	70.4%	2,062	1,515	73.5%	3,895	2,805	72.0%
75～79 歳	822	627	76.3%	1,082	857	79.2%	1,904	1,484	77.9%
80～84 歳	562	464	82.6%	746	603	80.8%	1,308	1,067	81.6%
85～89 歳	281	232	82.6%	358	277	77.4%	639	509	79.7%
90 歳以上	69	57	82.6%	105	64	61.0%	174	121	69.5%
計	1,734	1,380	79.6%	2,291	1,801	78.6%	4,025	3,181	79.0%
総数	3,567	2,670	74.9%	4,353	3,316	76.2%	7,920	5,986	75.6%

(2) 性別・認定別 回答者数及び回収率

■性別・認定別 回答者数

(人、%)

区分	一般高齢者		認定別			総数
		事業対象者※	要支援 1	要支援 2	計	
男性	2,567	3	66	37	103	2,670
	96.1%	0.1%	2.5%	1.4%	3.9%	100.0%
女性	3,106	6	113	97	210	3,316
	93.7%	0.2%	3.4%	2.9%	6.3%	100.0%
総数	5,673	9	179	134	313	5,986
	94.8%	1.5%	3.0%	2.2%	5.2%	100.0%

※事業対象者は、一般高齢者として算出しています。

■認定別・性別 回収率

(人、%)

区分	男性			女性			総数		
	配布 (人)	回収 (人)	回収率 (%)	配布 (人)	回収 (人)	回収率 (%)	配布 (人)	回収 (人)	回収率 (%)
一般高齢者	3,436	2,567	74.7%	4,087	3,106	76.0%	7,523	5,673	75.4%
(内・事業対象者)	(4)	(3)	(75.0%)	(7)	(6)	(85.7%)	(11)	(9)	(81.8%)
要支援1	79	66	83.5%	137	113	82.5%	216	179	82.9%
要支援2	52	37	71.2%	129	97	75.2%	181	134	74.0%
計	131	103	78.6%	266	210	78.9%	397	313	78.8%
総数	3,567	2,670	74.9%	4,353	3,316	76.2%	7,920	5,986	75.6%

(3) 性別・家族構成別 回答者数及び回収率

■性別・家族構成別 回答者数

(人、%)

区分	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答	総数
男性	362	1,212	204	390	464	38	2,670
	13.6%	45.4%	7.6%	14.6%	17.4%	1.4%	100.0%
女性	728	1,273	76	580	629	30	3,316
	22.0%	38.4%	2.3%	17.5%	19.0%	0.9%	100.0%
総数	1,090	2,485	280	970	1,093	68	5,986
	18.2%	41.5%	4.7%	16.2%	18.3%	1.1%	100.0%

■家族構成別・年齢層別 回答者数

(人、%)

区分	65～74歳			75歳以上					総数
	65～69歳	70～74歳	小計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	小計	
1人暮らし	139	275	414	269	247	131	29	676	1,090
	12.8%	25.2%	38.0%	24.7%	22.7%	12.0%	2.7%	62.0%	100.0%
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	439	772	1,211	677	415	148	34	1,274	2,485
	17.7%	31.1%	48.7%	27.2%	16.7%	6.0%	1.4%	51.3%	100.0%
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	140	61	201	28	37	12	2	79	280
	50.0%	21.8%	71.8%	10.0%	13.2%	4.3%	0.1%	28.2%	100.0%
息子・娘との 2世帯	174	235	409	241	179	112	29	561	970
	17.9%	24.2%	42.2%	24.8%	18.5%	11.5%	3.0%	57.8%	100.0%
その他	271	281	552	253	172	92	24	541	1,093
	24.8%	25.7%	50.5%	23.1%	15.7%	8.4%	2.2%	49.5%	100.0%
無回答	8	10	18	16	17	14	3	50	68
	11.7%	14.7%	26.5%	23.5%	25.0%	20.6%	4.4%	73.5%	100.0%
総数	1,171	1,634	2,805	1,484	1,067	509	121	3,181	5,986
	19.6%	27.3%	46.9%	24.8%	17.8%	8.5%	2.0%	53.1%	100.0%

(4) 性別・日常生活圏域別 回答者数

■性別・日常生活圏域別 回答者数

(人、%)

区分	東部第一	東部第二	西部		南部	北部第一			北部第二	総数	
			西部地区	西新地区		東・東北	野火止五～八丁目				
男性	396	433	539	262	277	393	492	191	301	417	2,670
	14.8%	16.2%	20.2%	9.8%	10.4%	14.7%	18.4%	7.2%	11.3%	15.6%	100.0%
女性	508	497	671	343	328	524	601	249	352	515	3,316
	15.3%	15.0%	20.2%	10.3%	9.9%	15.8%	18.1%	7.5%	10.6%	15.5%	100.0%
総数	904	930	1,210	605	605	917	1,093	440	653	932	5,986
	15.1%	15.5%	20.2%	10.1%	10.1%	15.3%	18.3%	7.4%	10.9%	15.6%	100.0%

■日常生活圏域別・年齢層別 回答者数

(人、%)

区分	65～74歳			75歳以上					総数
	65～69歳	70～74歳	小計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	小計	
東部第一	162	235	397	234	181	74	18	507	904
	17.9%	26.0%	43.9%	25.9%	20.0%	8.2%	2.0%	56.1%	100.0%
東部第二	175	271	446	242	156	68	18	484	930
	18.8%	29.1%	48.0%	26.0%	16.8%	7.3%	1.9%	52.0%	100.0%
西部	239	350	589	277	216	103	25	621	1,210
	19.8%	28.9%	48.7%	22.9%	17.9%	8.5%	2.1%	51.3%	100.0%
西部地区	116	168	284	144	118	45	14	321	605
	19.2%	27.8%	46.9%	23.8%	19.5%	7.4%	2.3%	53.1%	100.0%
西新地区	123	182	305	133	98	58	11	300	605
	20.3%	30.1%	50.4%	22.0%	16.2%	9.6%	1.8%	49.6%	100.0%
南部	169	255	424	222	170	80	21	493	917
	18.4%	27.8%	46.2%	24.2%	18.5%	8.7%	2.3%	53.8%	100.0%
北部第一	337	399	736	402	274	137	36	849	1,585
	21.7%	25.2%	46.4%	25.7%	17.3%	8.6%	2.3%	53.6%	100.0%
東・東北	89	124	213	107	70	47	3	227	440
	18.9%	23.4%	42.2%	33.1%	24.5%	0.2%	0.0%	57.8%	100.0%
野火止五～八丁目	140	181	321	163	104	53	12	332	653
	21.4%	27.7%	49.2%	25.0%	15.9%	8.1%	1.8%	50.8%	100.0%
北部第二	197	218	415	239	170	84	24	517	932
	21.1%	23.4%	44.5%	25.6%	18.2%	9.0%	2.6%	55.5%	100.0%
総数	1,171	1,634	2,805	1,484	1,067	509	121	3,181	5,986
	19.3%	25.4%	44.7%	31.6%	19.4%	3.7%	0.7%	55.3%	100.0%

※「西部」、「北部第一」：(5) 地域について、参照

(5) 地域について

本報告書においては、市内6地区の日常生活圏域のうち、地域包括支援センターの配置により、西部地区、北部第一(野火止五～八丁目の指定については、令和5年4月を予定しています。)をそれぞれ2つに分け、8地域に分類し集計しています。

圏域名	センター名称	地区
東部第一地区	東部第一地域包括支援センター	池田・道場・片山・野寺
東部第二地区	東部第二地域包括支援センター	畑中・栄・馬場・新塚
西部地区	西部地域包括支援センター	本多・あたご・菅沢・野火止一～四丁目
	西堀・新堀地域包括支援センター	西堀・新堀
南部地区	南部地域包括支援センター	石神・栗原・堀ノ内
北部第一地区	北部第一地域包括支援センター	東・東北
	令和5年4月に指定予定	野火止五～八丁目
北部第二地区	北部第二地域包括支援センター	中野・大和田・新座・北野



Ⅱ 調査結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

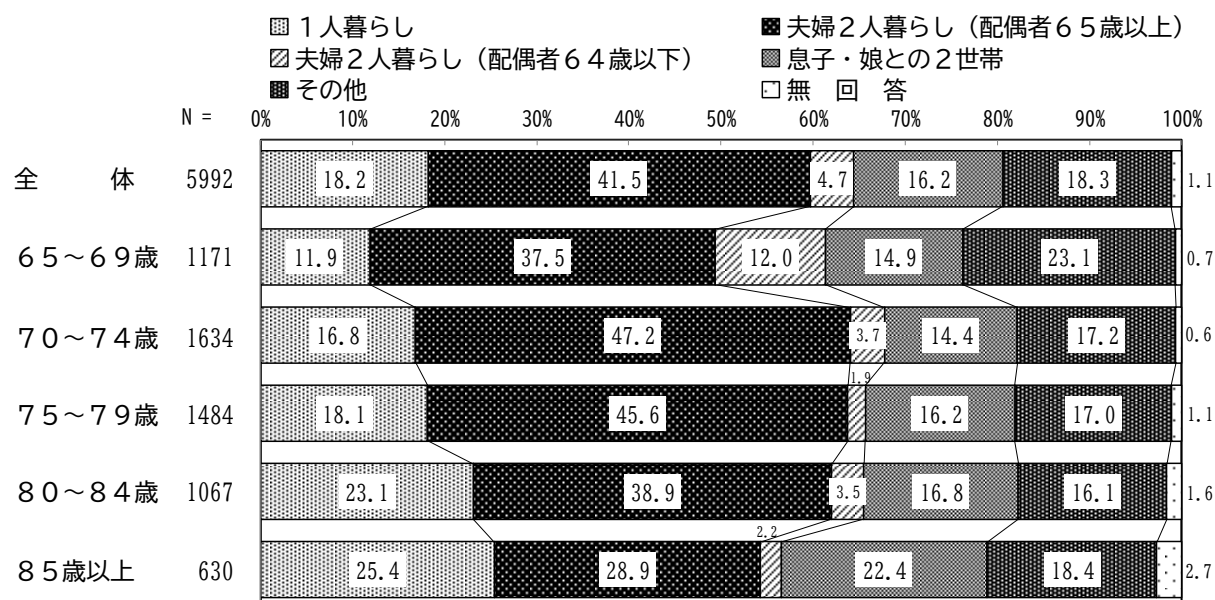
(1) 家族構成をお教えてください (○は一つ)

【全 体】

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が41.5%と最も高く、次いで「1人暮らし」が18.2%、「息子・娘との2世帯」が16.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.7%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」で、「息子・娘との2世帯」が22.4%と高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」が高くなり、「85歳以上」で25.4%となっています。



【圏域別】

「西新」、「東・東北」、「北部第二」で、「1人暮らし」がそれぞれ20.8%、21.8%、21.7%と高くなっています。また、「西部」で、「息子・娘との2世帯」が20.2%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

		全 体	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答
東部第一		904	161	388	39	143	167	6
		100.0	17.8	42.9	4.3	15.8	18.5	0.7
東部第二		930	149	402	48	136	183	12
		100.0	16.0	43.2	5.2	14.6	19.7	1.3
西 部	西部	605	80	238	34	122	124	7
		100.0	13.2	39.3	5.6	20.2	20.5	1.2
	西新	605	126	250	22	99	103	5
		100.0	20.8	41.3	3.6	16.4	17.0	0.8
南部		917	162	374	52	152	168	9
		100.0	17.7	40.8	5.7	16.6	18.3	1.0
北 部 第 一	東・東北	440	96	179	22	71	68	4
		100.0	21.8	40.7	5.0	16.1	15.5	0.9
	野火止五～ 八丁目	653	114	261	33	109	127	9
		100.0	17.5	40.0	5.1	16.7	19.4	1.4
北部第二		932	202	393	30	138	153	16
		100.0	21.7	42.2	3.2	14.8	16.4	1.7

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は一つ)

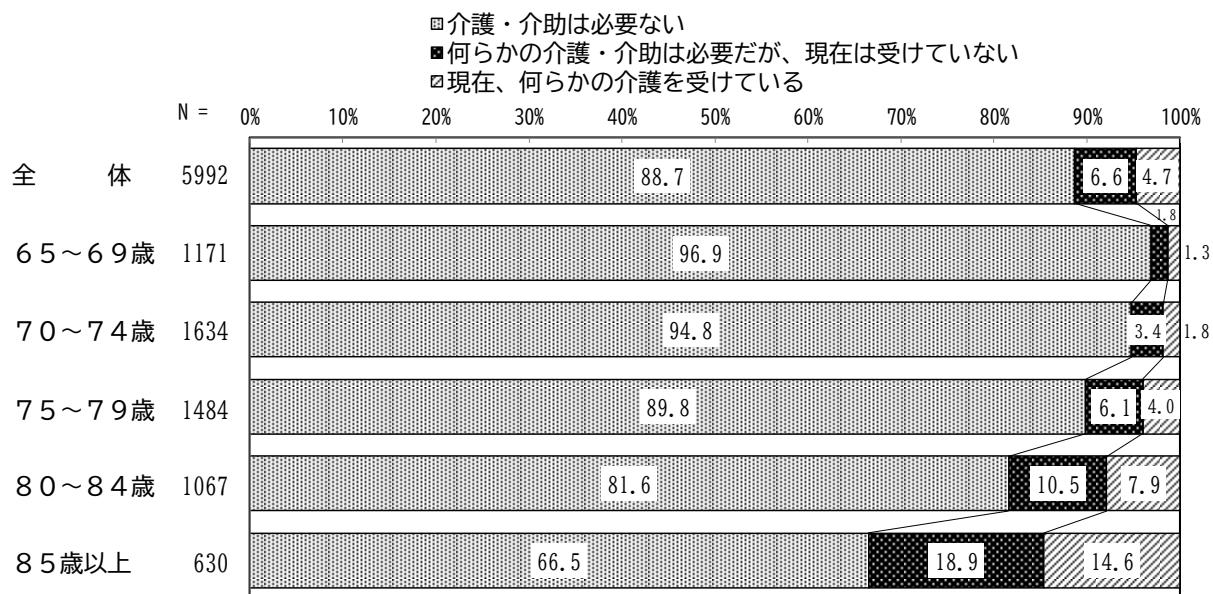
【全 体】

介護・介助が必要かどうかについては、「介護・介助は必要ない」が88.7%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.6%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「介護・介助は必要ない」が低くなり、「85歳以上」で66.5%となっています。

一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」は高くなり、「85歳以上」でそれぞれ18.9%、14.6%となっています。



(2)① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (〇はいくつでも)

【全 体】

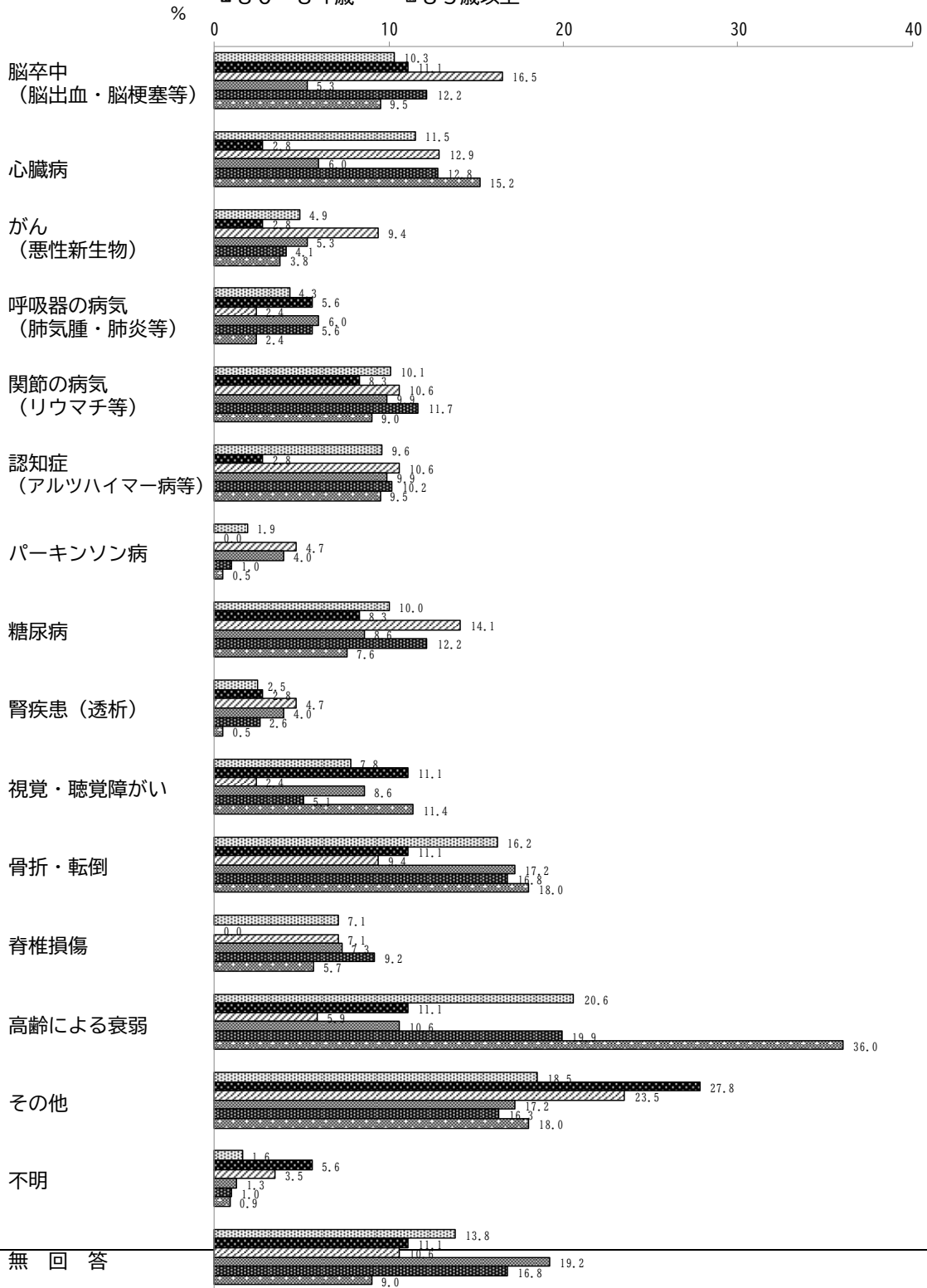
介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が20.6%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が16.2%、「心臓病」が11.5%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が10.3%、「関節の病気(リウマチ等)」が10.1%、「糖尿病」が10.0%と続いています。

【年齢別】

「85歳以上」で、「高齢による衰弱」が36.0%と高くなっています。

N = 680

全 体
 65～69歳
 70～74歳
 75～79歳
 80～84歳
 85歳以上



(2)② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (〇はいくつでも)

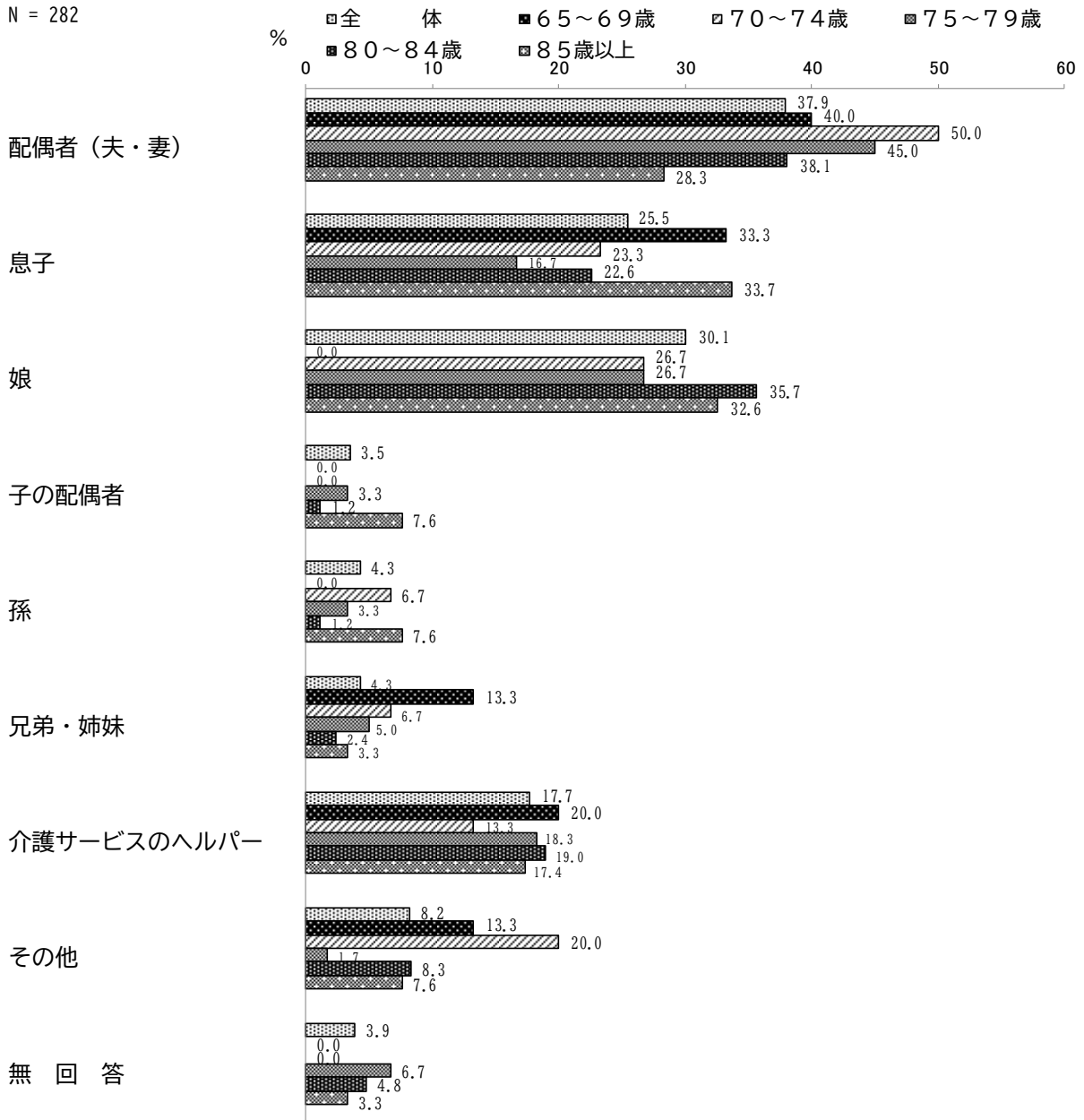
【全 体】

介護・介助を受けている人については、「配偶者(夫・妻)」が37.9%と最も高く、次いで「娘」が30.1%、「息子」が25.5%、「介護サービスのヘルパー」が17.7%と続いています。

【年齢別】

「配偶者(夫・妻)」が「70～74歳」で50.0%と最も高くなっていますが、年齢が上がるにつれて低くなり、「85歳以上」で28.3%となっています。また、「65～69歳」、「85歳以上」で「息子」がそれぞれ33.3%、33.7%と高くなっています。

N = 282



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は一つ)

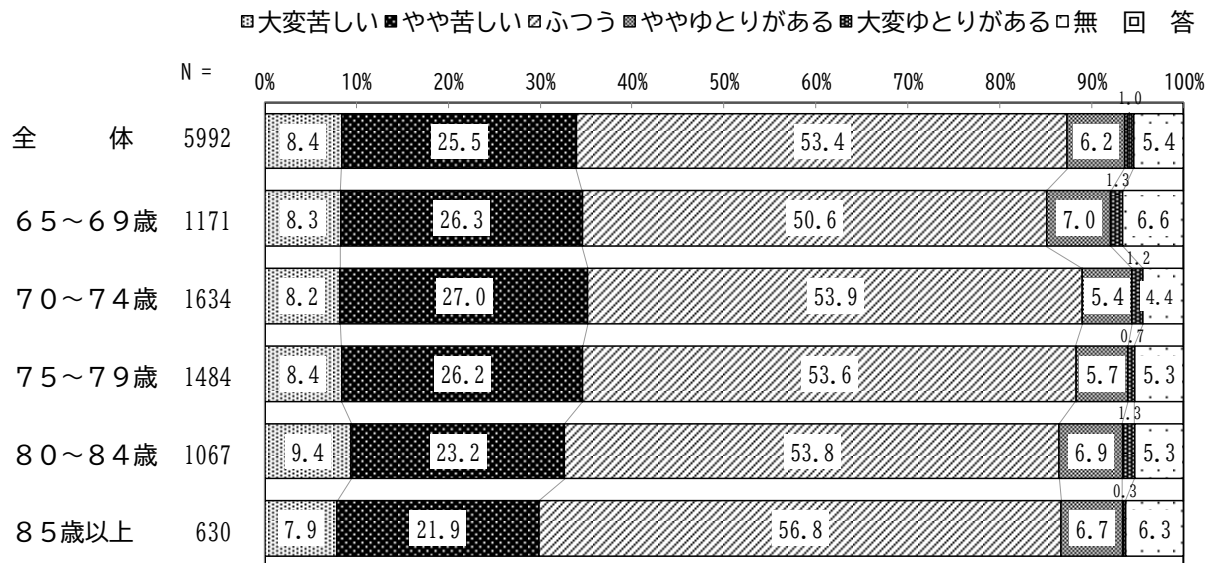
【全 体】

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「大変苦しい」(8.4%)と「やや苦しい」(25.5%)を合わせた『苦しい』が33.9%、「ややゆとりがある」(6.2%)と「大変ゆとりがある」(1.0%)を合わせた『ゆとりがある』が7.2%と『苦しい』人の方が26.7ポイント多くなっています。

なお、「ふつう」は53.4%となっています。

【年齢別】

年代における違いはほとんどありませんが、「85歳以上」で、『苦しい』が29.8%とやや低くなっています。



【家族構成別】

「1人暮らし」で、『苦しい』が35.6%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
1人暮らし	1090	115	272	548	76	14	65
	100.0	10.6	25.0	50.3	7.0	1.3	6.0
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2486	173	613	1389	162	29	120
	100.0	7.0	24.7	55.9	6.5	1.2	4.8
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	282	18	74	147	19	5	19
	100.0	6.4	26.2	52.1	6.7	1.8	6.7
息子・娘との2世帯	970	68	238	536	62	5	61
	100.0	7.0	24.5	55.3	6.4	0.5	6.3
その他	1096	119	315	557	51	7	47
	100.0	10.9	28.7	50.8	4.7	0.6	4.3
無 回 答	68	12	14	25	2	1	14
	100.0	17.6	20.6	36.8	2.9	1.5	20.6

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は一つ)

【全 体】

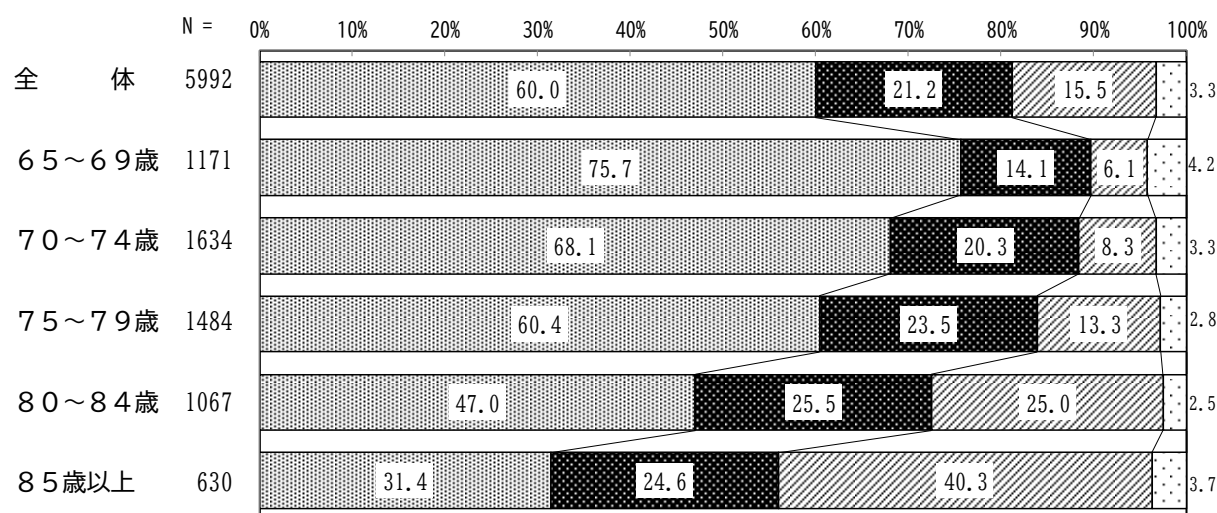
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかどうかについては、「できるし、している」が60.0%、「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が15.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなり、「85歳以上」で31.4%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で40.3%となっています。

■できるし、している ■できるけどしていない ▨できない □無 回 答



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は一つ)

【全 体】

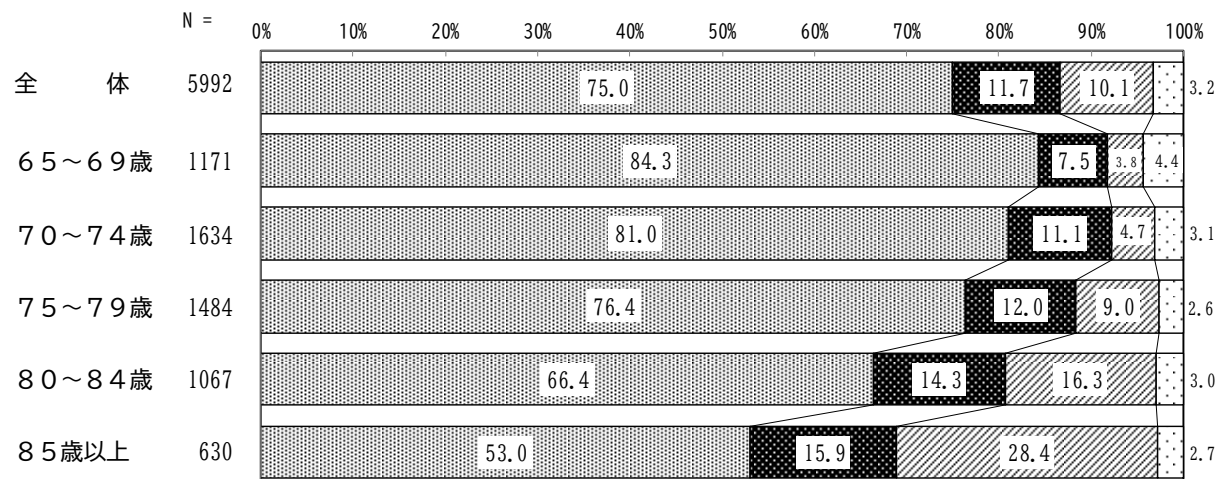
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかどうかについては、「できるし、している」が75.0%、「できるけどしていない」が11.7%、「できない」が10.1%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなり、「85歳以上」で53.0%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で28.4%となっています。

■できるし、している ■できるけどしていない ▨できない □無 回 答



(3) 15分位続けて歩いていますか (○は一つ)

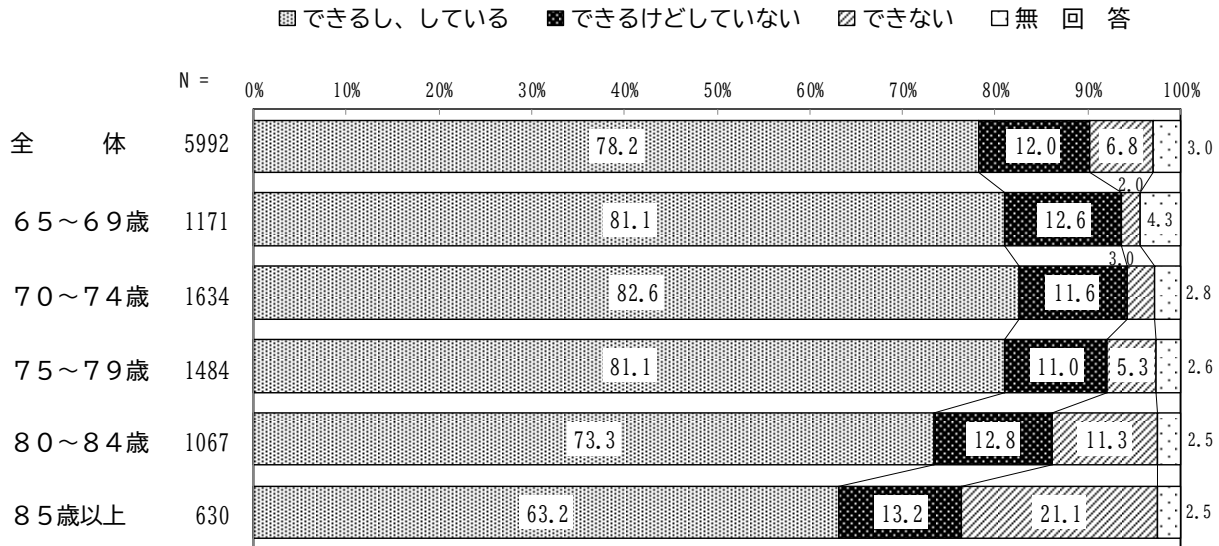
【全 体】

15分位続けて歩いているかどうかについては、「できるし、している」が78.2%、「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が6.8%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなる傾向があり、「85歳以上」で63.2%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で21.1%となっています。



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は一つ)

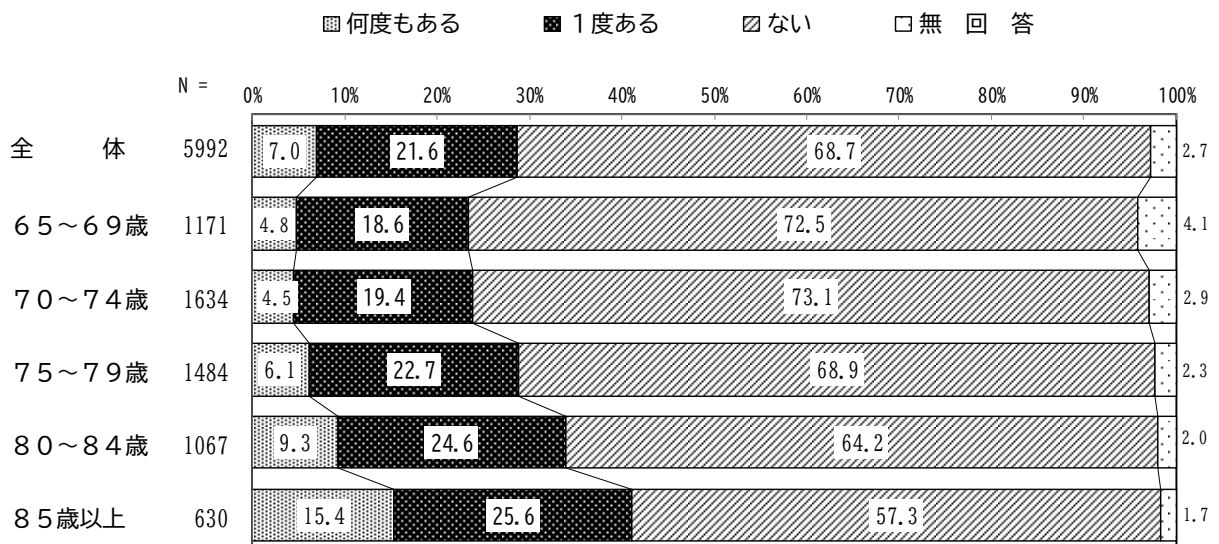
【全 体】

過去1年間に転んだ経験の有無については、「何度もある」が7.0%、「1度ある」が21.6%、「ない」が68.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「何度もある」、「1度ある」が高くなり、「85歳以上」でそれぞれ15.4%、25.6%となっています。

一方、「ない」は低くなり、「85歳以上」で57.3%となっています。



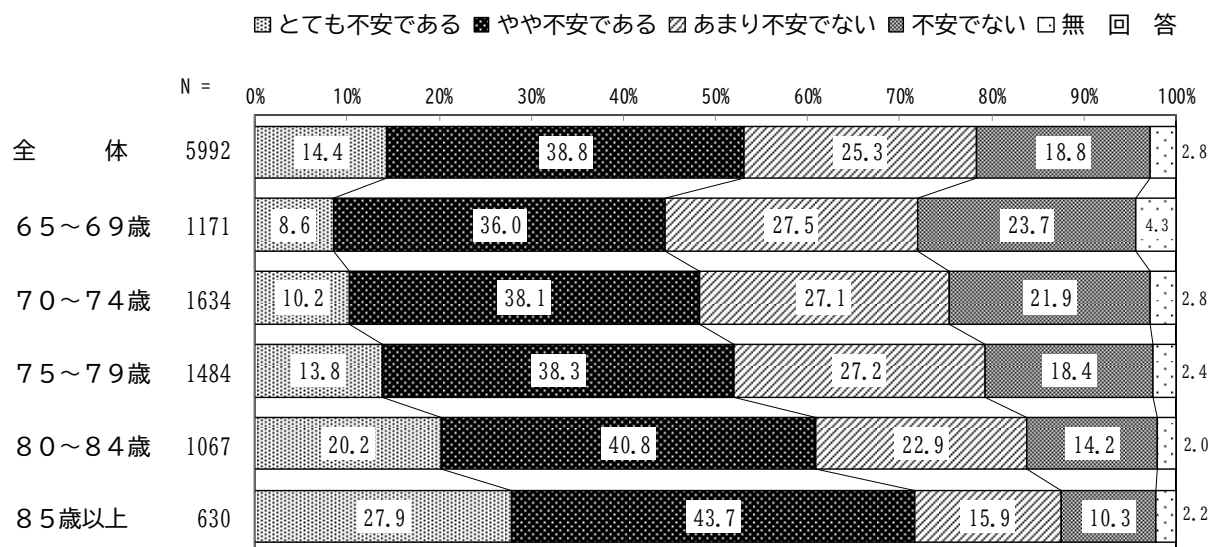
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は一つ)

【全 体】

転倒に対する不安については、「とても不安である」(14.4%)と「やや不安である」(38.8%)を合わせた『不安である』が53.2%、「あまり不安でない」(25.3%)と「不安でない」(18.8%)を合わせた『不安でない』が44.1%と『不安である』の方が9.1ポイント多くなっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて『不安である』が高くなり、「85歳以上」で71.6%となっています。一方、『不安でない』は低くなり、「85歳以上」で26.2%となっています。



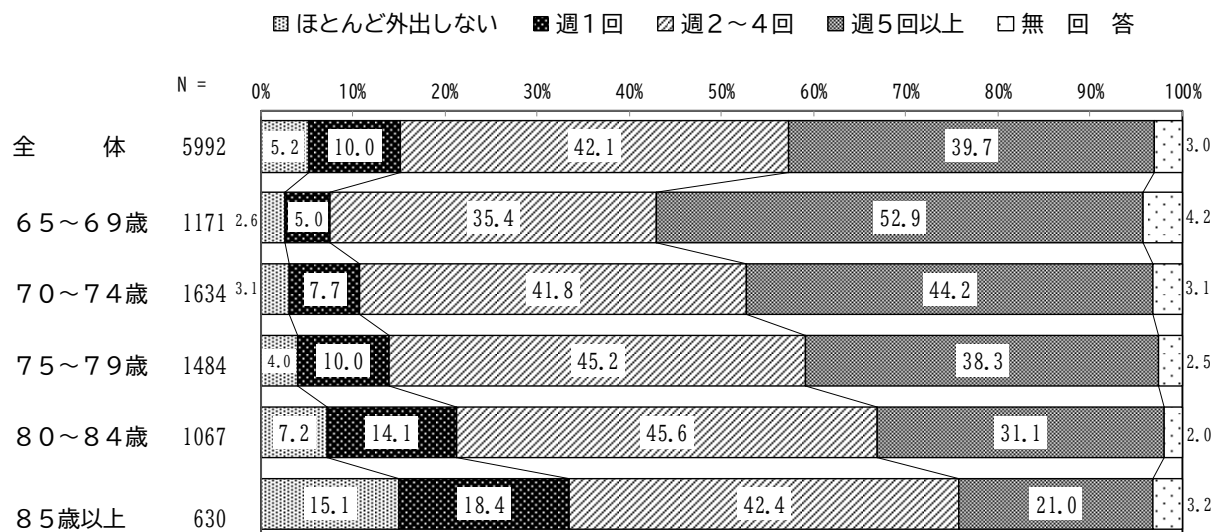
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は一つ)

【全 体】

週に1回以上外出しているかどうかについては、「週2～4回」が42.1%と最も高く、次いで「週5回以上」が39.7%、「週1回」が10.0%、「ほとんど外出しない」が5.2%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「ほとんど外出しない」が高くなり、「85歳以上」で15.1%となっています。



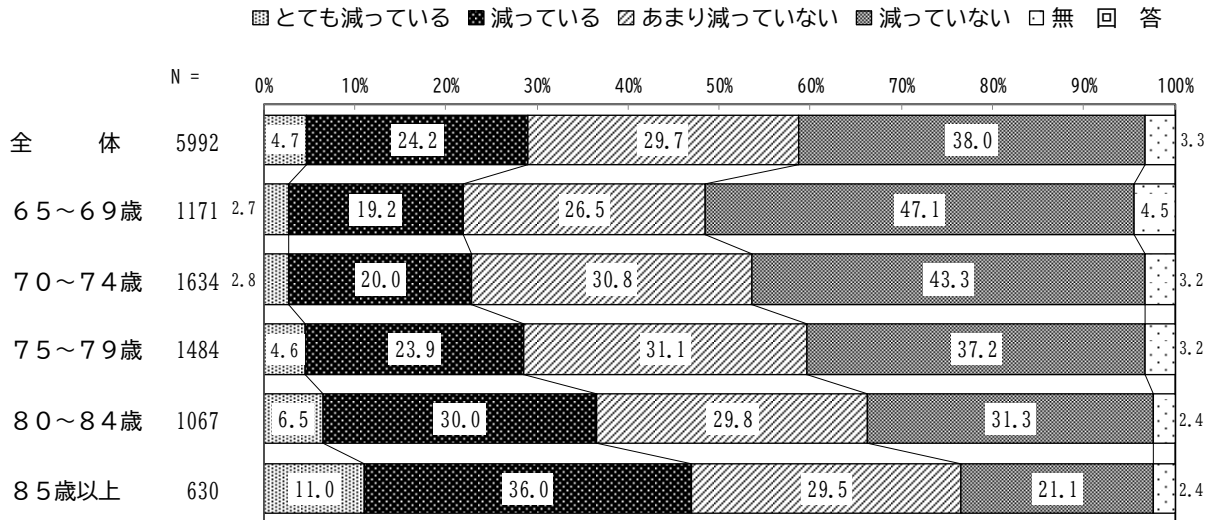
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (〇は一つ)

【全 体】

昨年と比べて外出の回数が減っているかどうかについては、「とても減っている」(4.7%)と「減っている」(24.2%)を合わせた『減っている』が28.9%、「あまり減っていない」(29.7%)と「減っていない」(38.0%)を合わせた『減っていない』が67.7%と『減っていない』人の方が38.8ポイント多くなっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて『減っている』が高くなり、「85歳以上」で47.0%となっています。一方、『減っていない』は低くなり、「85歳以上」で50.6%となっています。



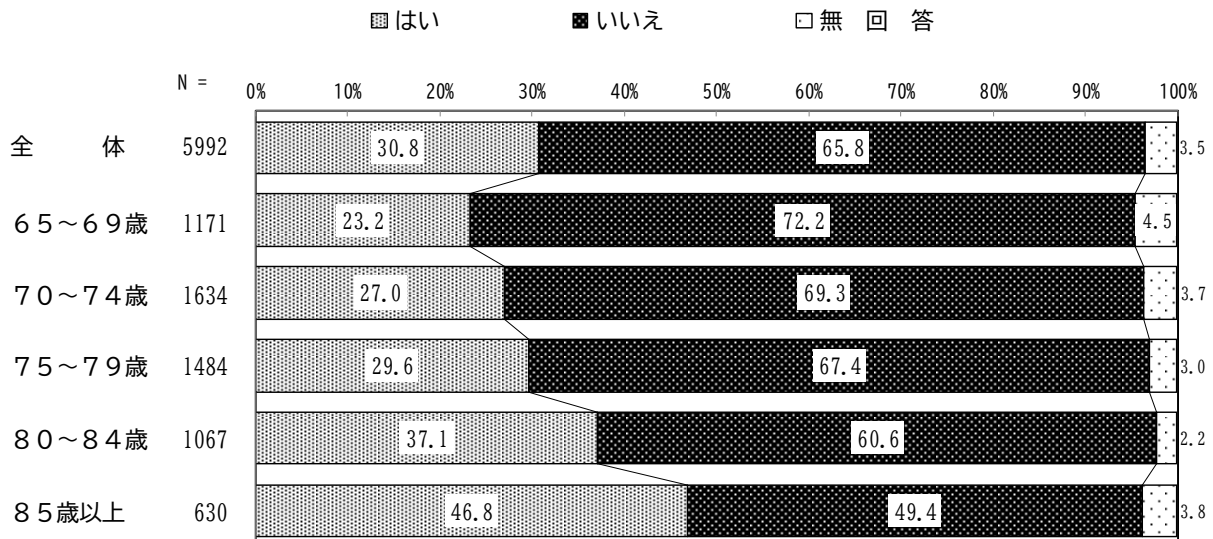
(8) 外出を控えていますか (〇は一つ)

【全 体】

外出を控えているかどうかについては、「はい」が30.8%、「いいえ」が65.8%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で46.8%となっています。一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で49.4%となっています。



(8)① 外出を控えている理由は、次のどれですか (〇はいくつでも)

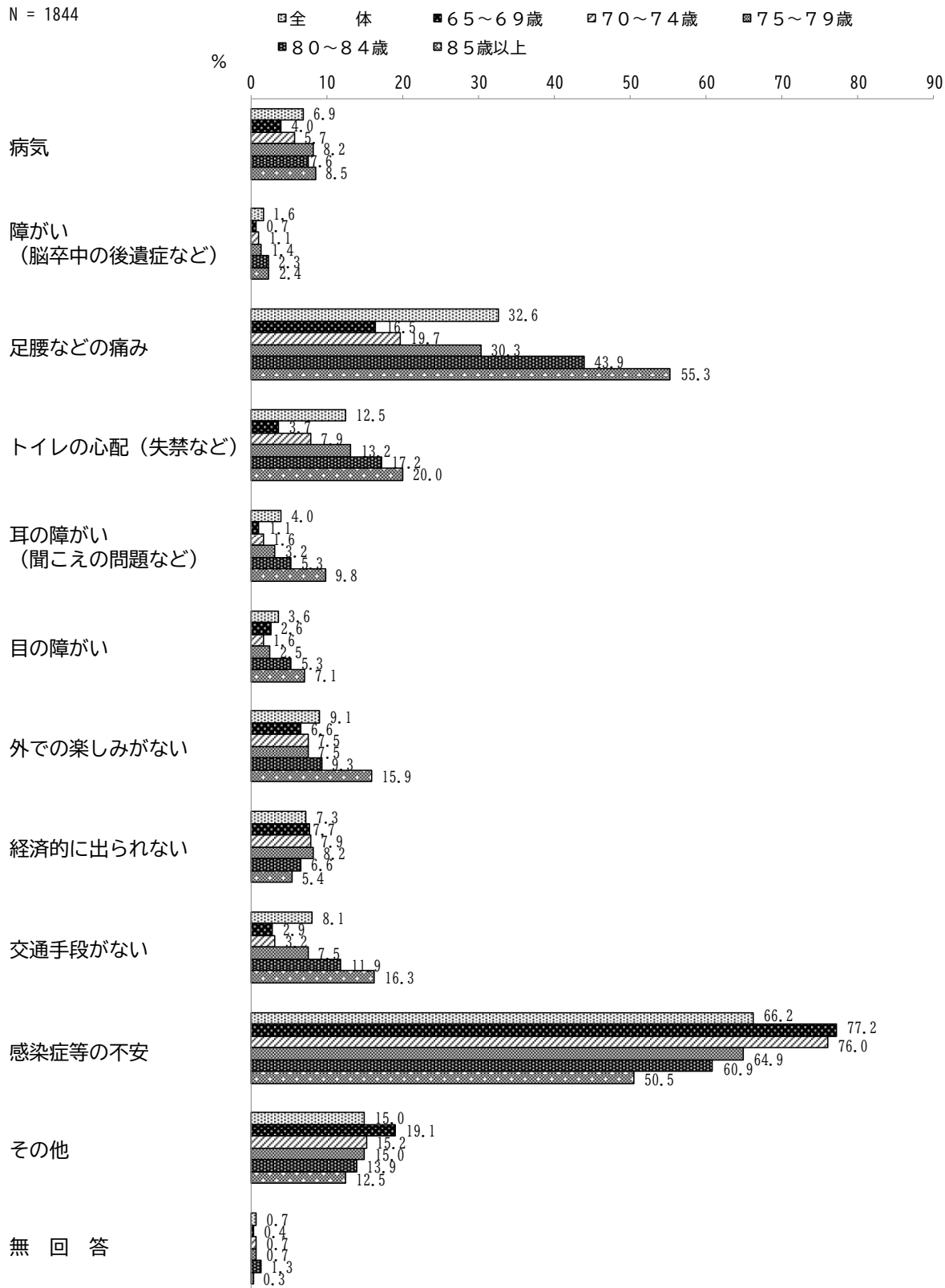
【全 体】

外出を控えている理由については、「感染症等の不安」が66.2%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が32.6%、「トイレの心配(失禁など)」が12.5%と続いています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「足腰などの痛み」は高くなり、「85歳以上」で55.3%となっています。一方、「感染症等の不安」は年齢が下がるほど高くなり、「65～69歳」で77.2%となっています。

N = 1844



【性別】

「男性」、「女性」とともに「感染症等の不安」が最も高くなっていますが、「女性」で69.8%と「男性」を大きく上回っています。また、「男性」で「トイレの心配(失禁など)」が16.1%と「女性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	病気	障がい(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障がい(聞こえの問題など)	目の障がい
男性	597	53	18	179	96	29	31
	100.0	8.9	3.0	30.0	16.1	4.9	5.2
女性	1246	74	11	423	134	45	36
	100.0	5.9	0.9	33.9	10.8	3.6	2.9

	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	感染症等の不安	その他	無回答
男性	68	41	43	350	95	4
	11.4	6.9	7.2	58.6	15.9	0.7
女性	100	93	107	870	182	9
	8.0	7.5	8.6	69.8	14.6	0.7

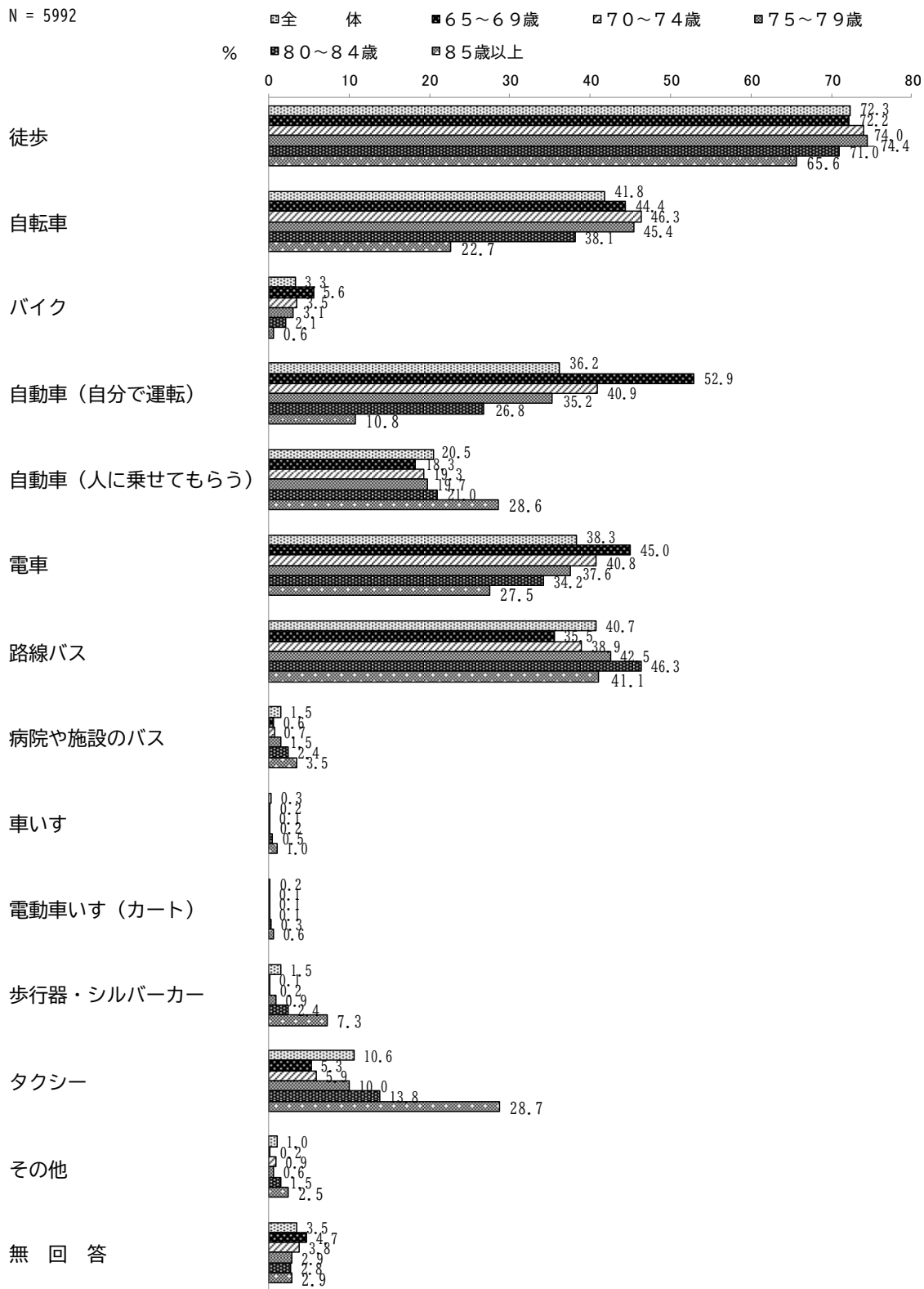
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (〇はいくつでも)

【全 体】

外出する際の移動手段については、「徒歩」が72.3%と最も高く、次いで「自転車」が41.8%、「路線バス」が40.7%、「電車」が38.3%、「自動車(自分で運転)」が36.2%、「自動車(人に乗せてもらう)」が20.5%と続いています。

【年齢別】

「65～69歳」で「自動車(自分で運転)」が52.9%、「85歳以上」で「自動車(人に乗せてもらう)」、「タクシー」がそれぞれ28.6%、28.7%と高くなっています。



【性別】

「男性」、「女性」ともに「徒歩」が7割を超え、最も高くなっています。また、「男性」で「自動車(自分で運転)」が55.3%と「女性」より高く、「女性」で「自動車(人に乗せてもらう)」が29.3%、「路線バス」が45.6%と「男性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
男性	2670	1893	1151	130	1476	255	988	923
	100.0	70.9	43.1	4.9	55.3	9.6	37.0	34.6
女性	3316	2436	1348	65	689	970	1301	1513
	100.0	73.5	40.7	2.0	20.8	29.3	39.2	45.6

	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
男性	33	7	6	11	225	19	100
	1.2	0.3	0.2	0.4	8.4	0.7	3.7
女性	56	11	4	79	411	38	108
	1.7	0.3	0.1	2.4	12.4	1.1	3.3

【圏域別】

「東部第二」、「北部第二」で「路線バス」（それぞれ46.2%、45.0%）、「西部」で「自動車(自分で運転)」（44.0%）、「西新」で「電車」（46.9%）、「東・東北」で「徒歩」（81.6%）、「電車」（46.6%）が他の地区と比べ高くなっています。また、「西部」では「自転車」（34.7%）が低くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

		全 体	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
東部第一		904	645	393	33	347	188	304	391
		100.0	71.3	43.5	3.7	38.4	20.8	33.6	43.3
東部第二		930	607	382	43	365	183	316	430
		100.0	65.3	41.1	4.6	39.2	19.7	34.0	46.2
西 部	西部	605	406	210	12	266	144	215	234
		100.0	67.1	34.7	2.0	44.0	23.8	35.5	38.7
	西新	605	472	279	16	197	112	284	194
		100.0	78.0	46.1	2.6	32.6	18.5	46.9	32.1
南部		917	683	371	41	297	208	358	382
		100.0	74.5	40.5	4.5	32.4	22.7	39.0	41.7
北 部 第 一	東・東北	440	359	189	9	128	94	205	150
		100.0	81.6	43.0	2.0	29.1	21.4	46.6	34.1
	野火止五～ 八丁目	653	478	278	22	255	121	236	236
		100.0	73.2	42.6	3.4	39.1	18.5	36.1	36.1
北部第二		932	679	397	19	310	175	371	419
		100.0	72.9	42.6	2.0	33.3	18.8	39.8	45.0

		病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	その他	無回答
東部第一		13	2	3	17	77	9	36
		1.4	0.2	0.3	1.9	8.5	1.0	4.0
東部第二		18	4	1	20	86	13	34
		1.9	0.4	0.1	2.2	9.2	1.4	3.7
西 部	西部	9	1	-	13	62	9	14
		1.5	0.2	-	2.1	10.2	1.5	2.3
	西新	7	-	-	9	78	3	16
		1.2	-	-	1.5	12.9	0.5	2.6
南部		13	1	3	6	102	7	34
		1.4	0.1	0.3	0.7	11.1	0.8	3.7
北 部 第 一	東・東北	7	3	-	5	48	2	15
		1.6	0.7	-	1.1	10.9	0.5	3.4
	野火止五～ 八丁目	8	3	1	9	80	7	19
		1.2	0.5	0.2	1.4	12.3	1.1	2.9
北部第二		14	4	2	11	103	7	40
		1.5	0.4	0.2	1.2	11.1	0.8	4.3

問3 食べることについて

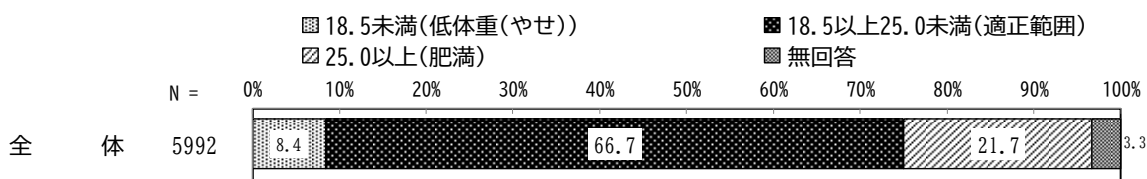
(1) 身長・体重(記述式)

※身長・体重から以下の算出方法を用いてBMIを算出しました。

BMIの算出方法
 $BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長(m)}^2$
 18.5未満=低体重(やせ) 18.5以上25.0未満=適正範囲 25.0以上=肥満

【全 体】

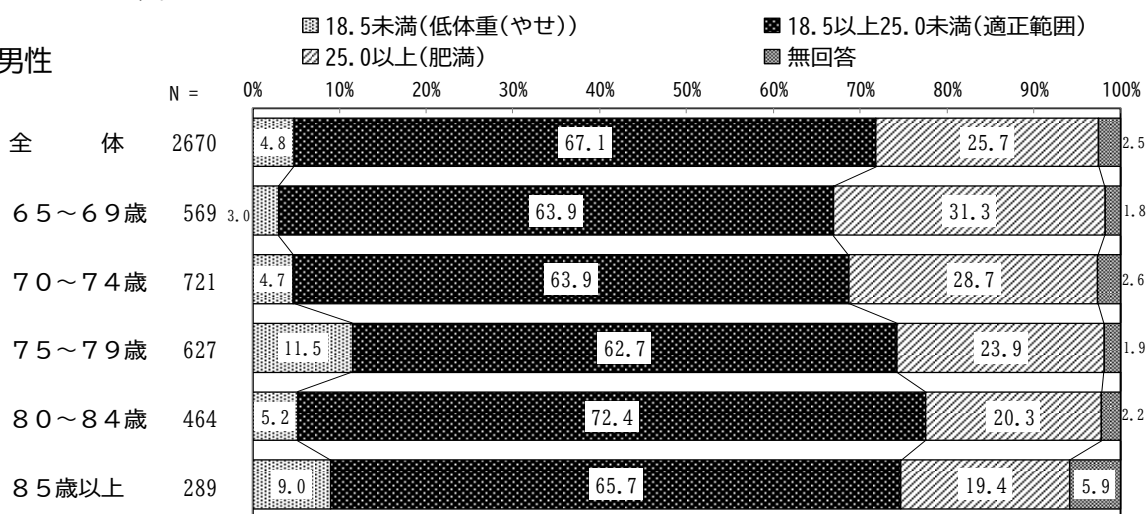
全体では、「18.5未満(低体重(やせ))」が8.4%、「18.5以上25.0未満(適正範囲)」が66.7%、「25.0以上(肥満)」が21.7%となっています。



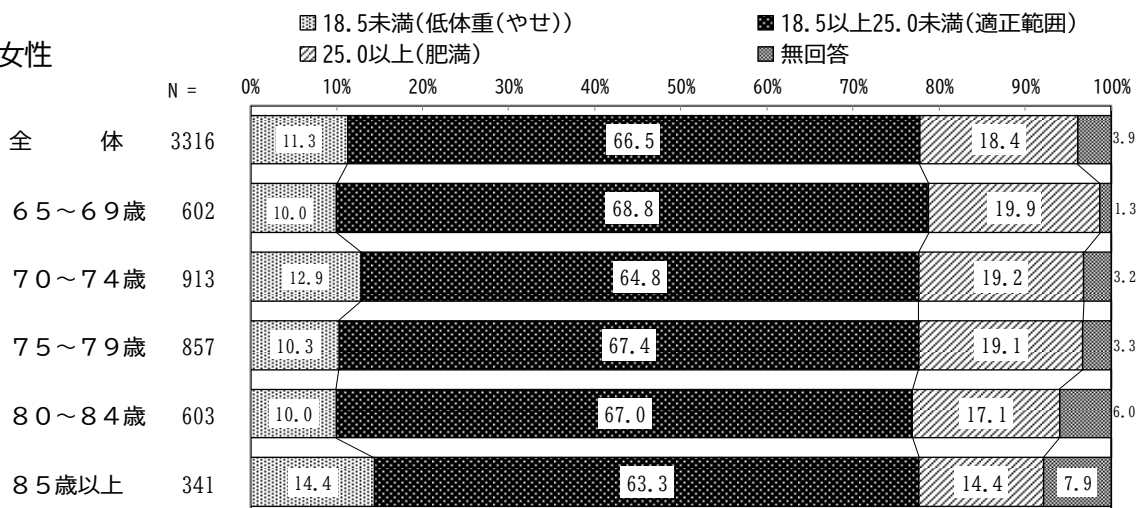
【性・年齢別】

「男性」では、「75～79歳」で「18.5未満(低体重(やせ))」が11.5%と他の年代より高くなっています。また、「25.0以上(肥満)」は、年代が下がるにつれて高くなり、「65～69歳」で31.3%となっています。「女性」では、「85歳以上」で「18.5未満(低体重(やせ))」が14.4%と他の年代より高くなっています。また、「25.0以上(肥満)」は、年代が下がるにつれて高くなり、「65～69歳」で19.9%となっています。

◆男性



◆女性



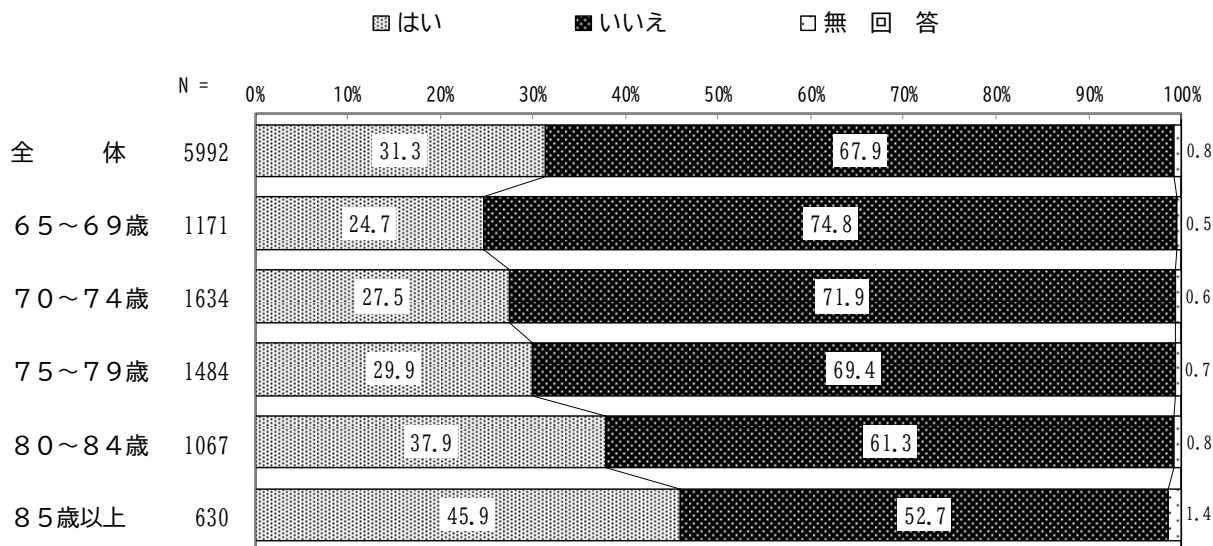
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (〇は一つ)

【全 体】

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかどうかについては、「はい」が31.3%、「いいえ」が67.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で45.9%となっています。一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で52.7%となっています。



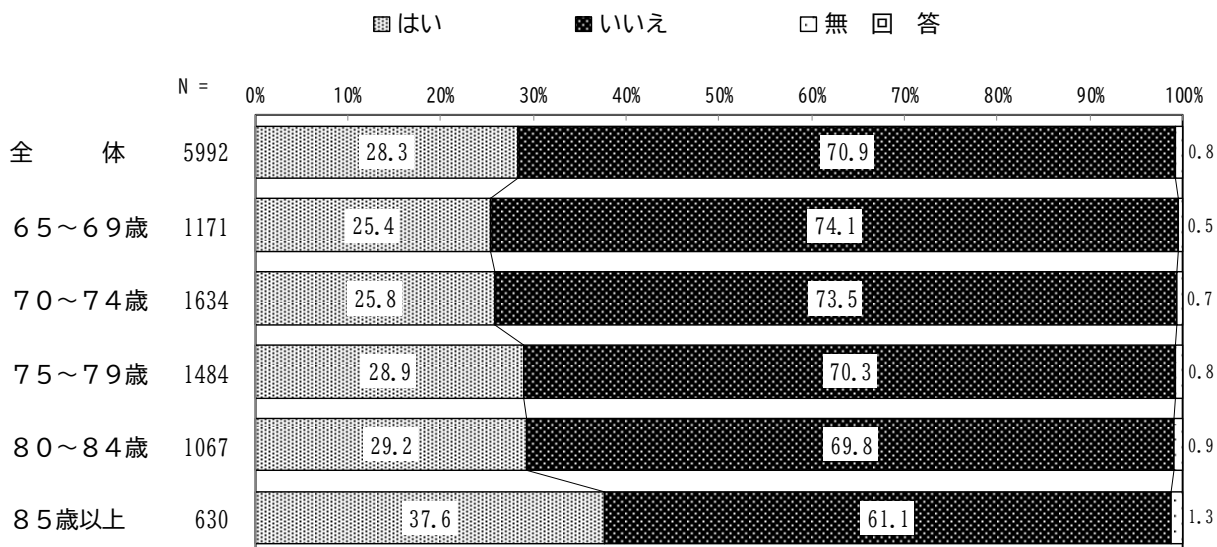
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (〇は一つ)

【全 体】

お茶や汁物などでむせることがあるかどうかについては、「はい」が28.3%、「いいえ」が70.9%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で37.6%となっています。一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で61.1%となっています。



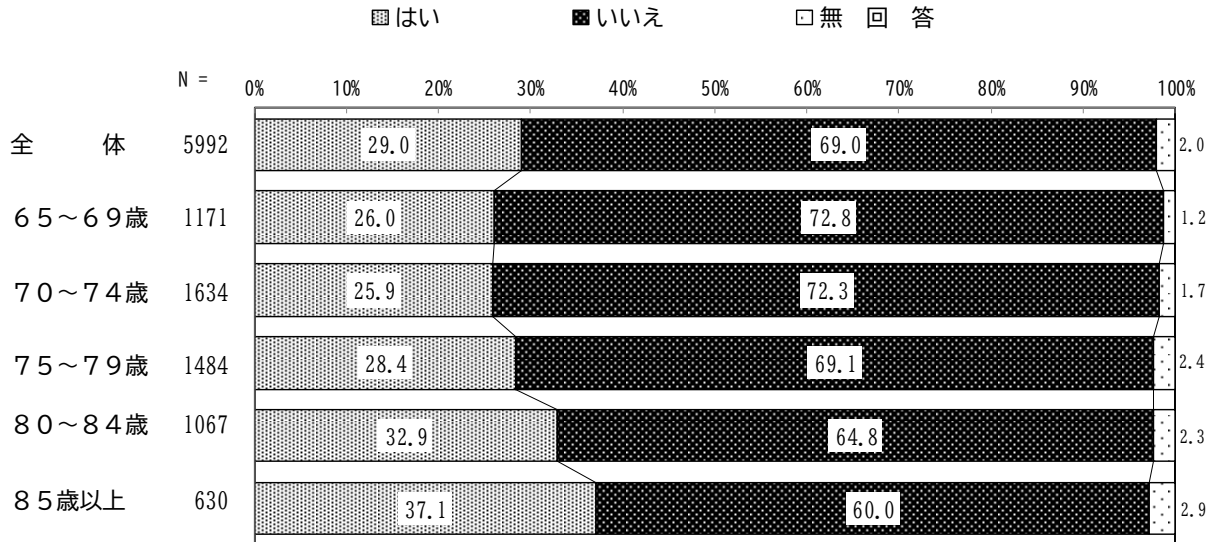
(4) 口の渇きが気になりますか (○は一つ)

【全 体】

口の渇きが気になるかどうかについては、「はい」が29.0%、「いいえ」が69.0%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなる傾向で、「85歳以上」で37.1%となっています。一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で60.0%となっています。



(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は一つ)

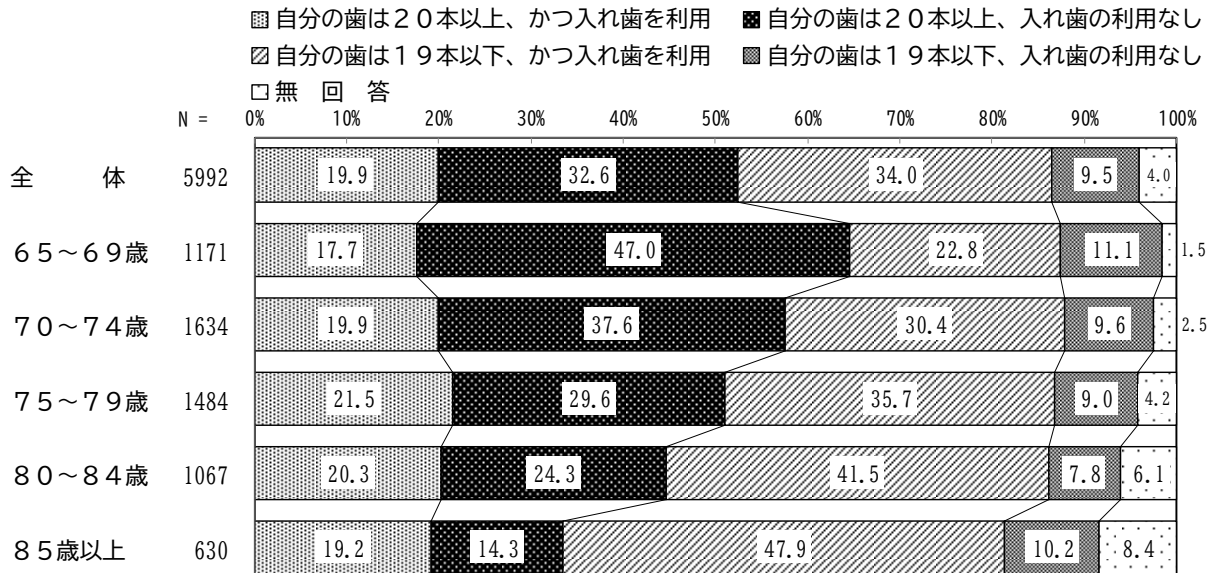
【全 体】

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が34.0%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が19.9%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が低くなり、「85歳以上」で14.3%となっています。

一方、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は高くなり、「85歳以上」で47.9%となっています。



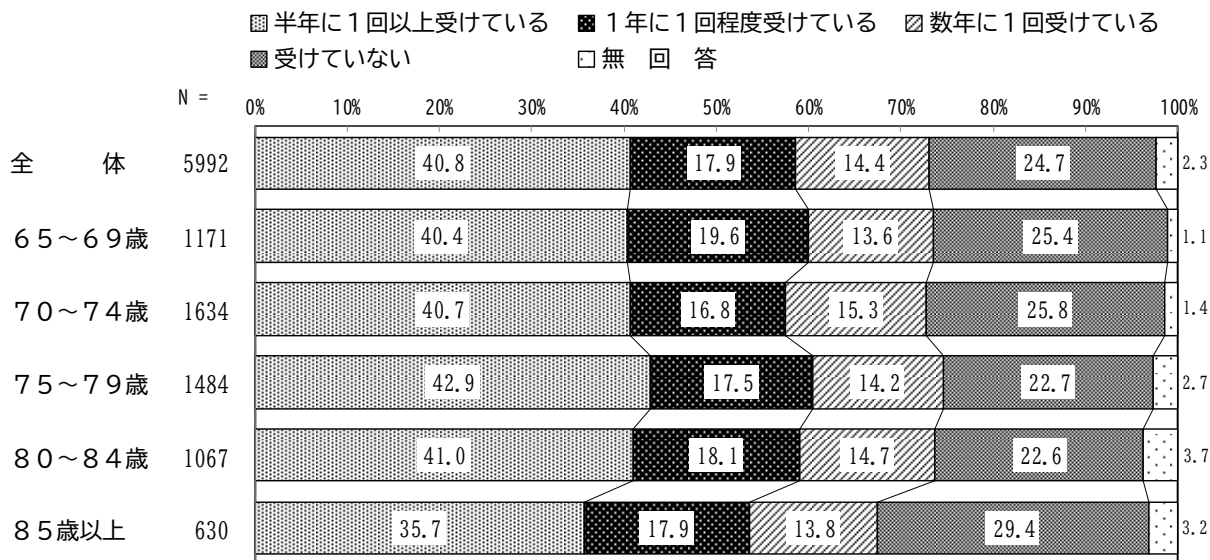
(6) 歯科健診をどのくらいの頻度で受けていますか (〇は一つ)

【全 体】

歯科健診受診の頻度については、「半年に1回以上受けている」が40.8%と最も高く、次いで「受けていない」が24.7%、「1年に1回程度受けている」が17.9%、「数年に1回受けている」が14.4%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」で、「受けていない」が29.4%と高くなっています。



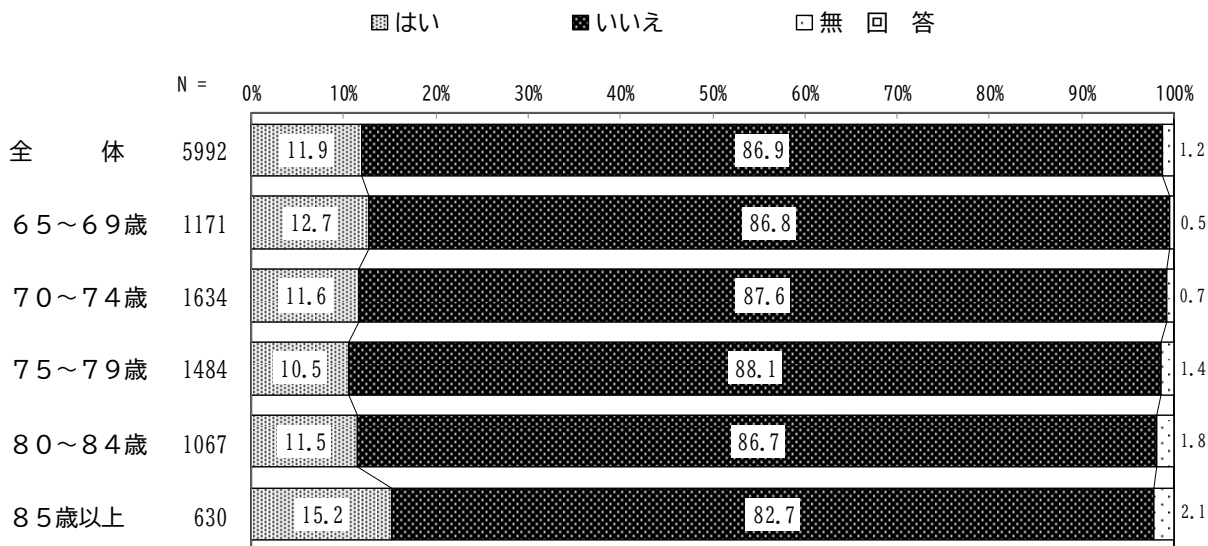
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (〇は一つ)

【全 体】

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかどうかについては、「はい」が11.9%、「いいえ」が86.9%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」で、「はい」が15.2%とやや高くなっています。



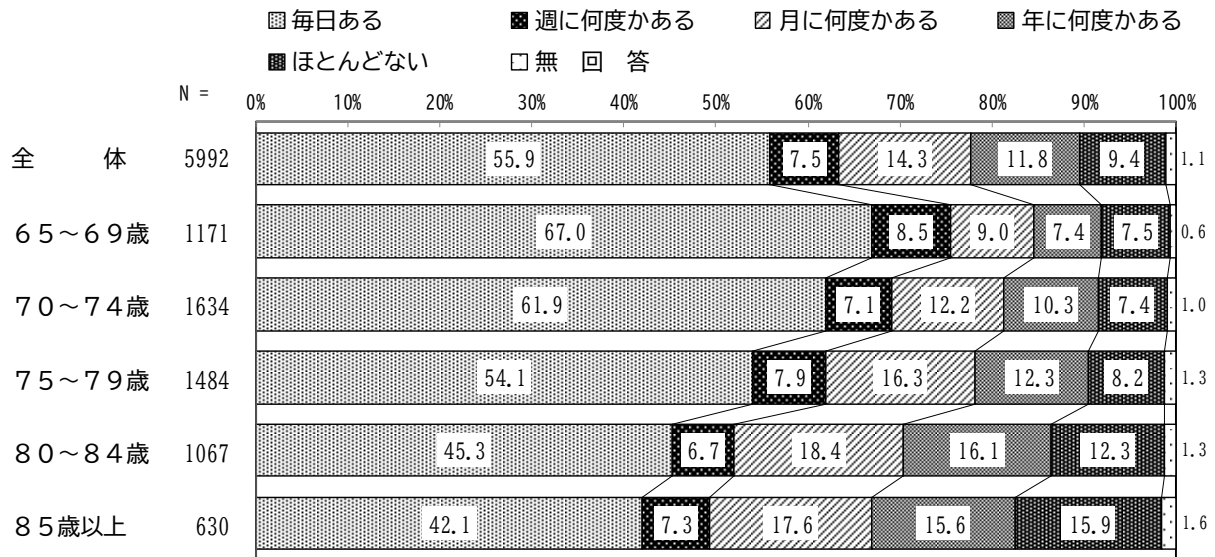
(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか (○は一つ)

【全 体】

どなたかと食事をともにする機会については、「毎日ある」が55.9%と最も高く、次いで「月に何度かある」が14.3%、「年に何度かある」が11.8%、「ほとんどない」が9.4%、「週に何度かある」が7.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「毎日ある」が低くなり、「85歳以上」で42.1%となっています。また、「ほとんどない」は高くなる傾向で、「85歳以上」で15.9%となっています。



【家族構成別】

「1人暮らし」で、「月に何度かある」(34.4%)、「年に何度かある」(25.9%)、「ほとんどない」(21.0%)が高くなっています。

一方、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」、「息子・娘との2世帯」では、「毎日ある」がそれぞれ68.6%、67.4%、64.9%と高くなっています。

(単位 上段:人、下段:%)

	全体	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
1人暮らし	1090	48	146	375	282	229	10
	100.0	4.4	13.4	34.4	25.9	21.0	0.9
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2486	1706	102	258	241	160	19
	100.0	68.6	4.1	10.4	9.7	6.4	0.8
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	282	190	23	20	24	22	3
	100.0	67.4	8.2	7.1	8.5	7.8	1.1
息子・娘との2世帯	970	630	89	100	83	57	11
	100.0	64.9	9.2	10.3	8.6	5.9	1.1
その他	1096	745	86	93	74	81	17
	100.0	68.0	7.8	8.5	6.8	7.4	1.6
無回答	68	33	3	8	5	12	7
	100.0	48.5	4.4	11.8	7.4	17.6	10.3

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (〇は一つ)

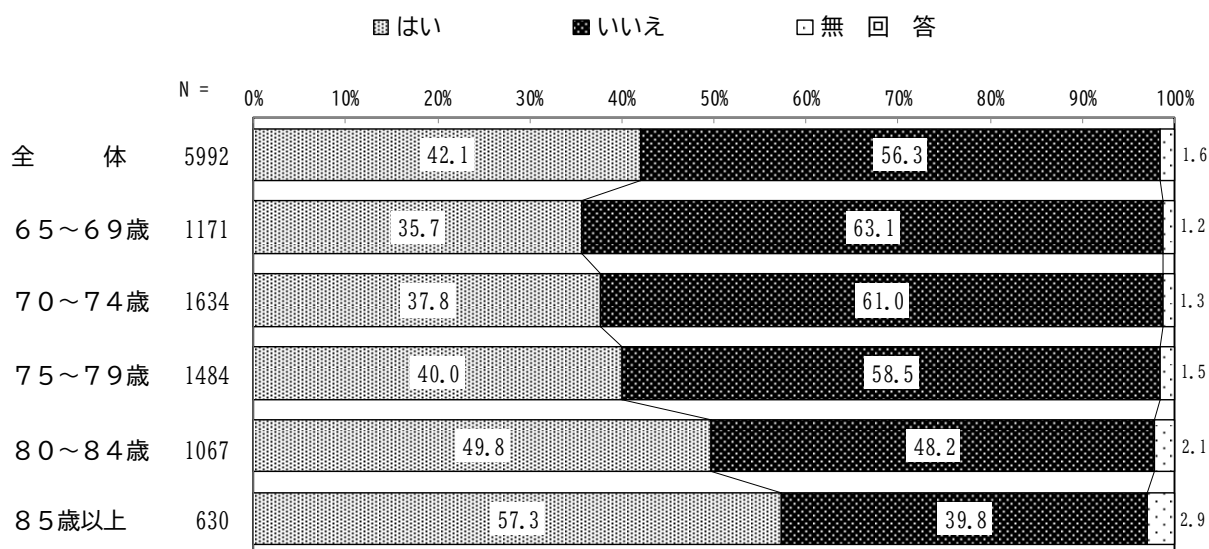
【全 体】

物忘れが多いと感じるかどうかについては、「はい」が42.1%、「いいえ」が56.3%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で57.3%となっています。

一方、「いいえ」は低くなり、「85歳以上」で39.8%となっています。



(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (〇は一つ)

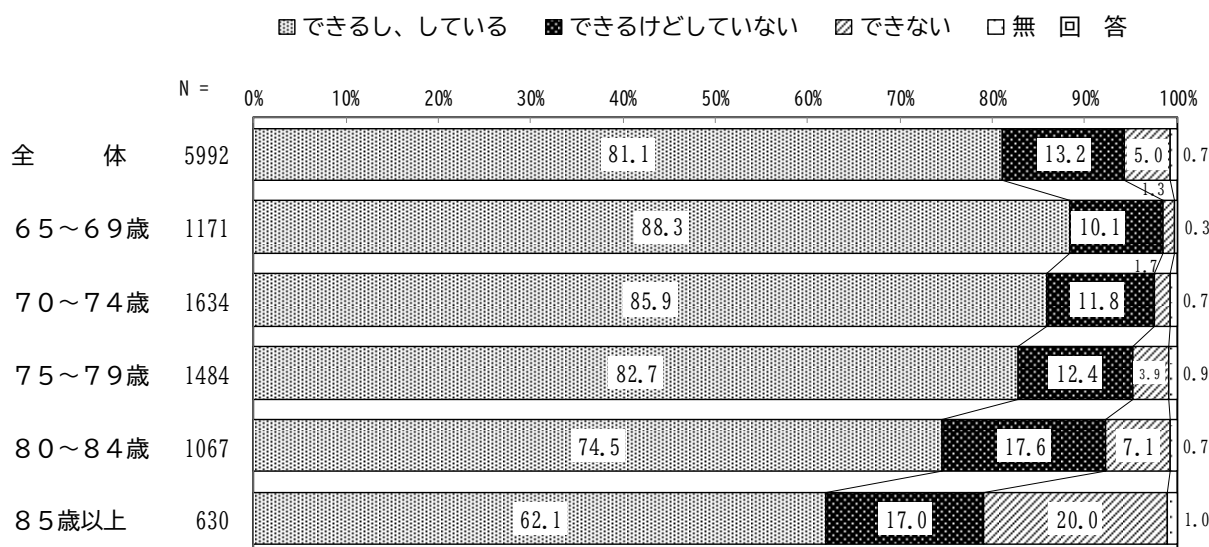
【全 体】

バスや電車を使って1人で外出しているかどうかについては、「できるし、している」が81.1%、「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が5.0%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できるし、している」が低くなり、「85歳以上」で62.1%となっています。

一方、「できない」は高くなり、「85歳以上」で20.0%となっています。



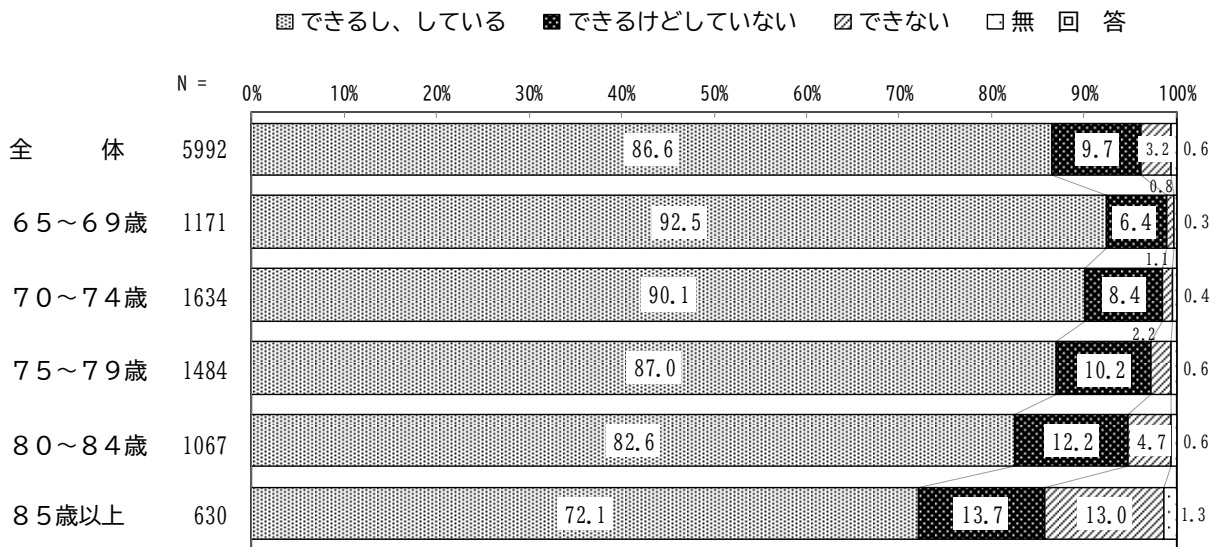
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は一つ)

【全 体】

自分で食品・日用品の買物をしているかどうかについては、「できるし、している」が86.6%、「できるけどしていない」が9.7%、「できない」が3.2%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で13.0%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で72.1%となっています。



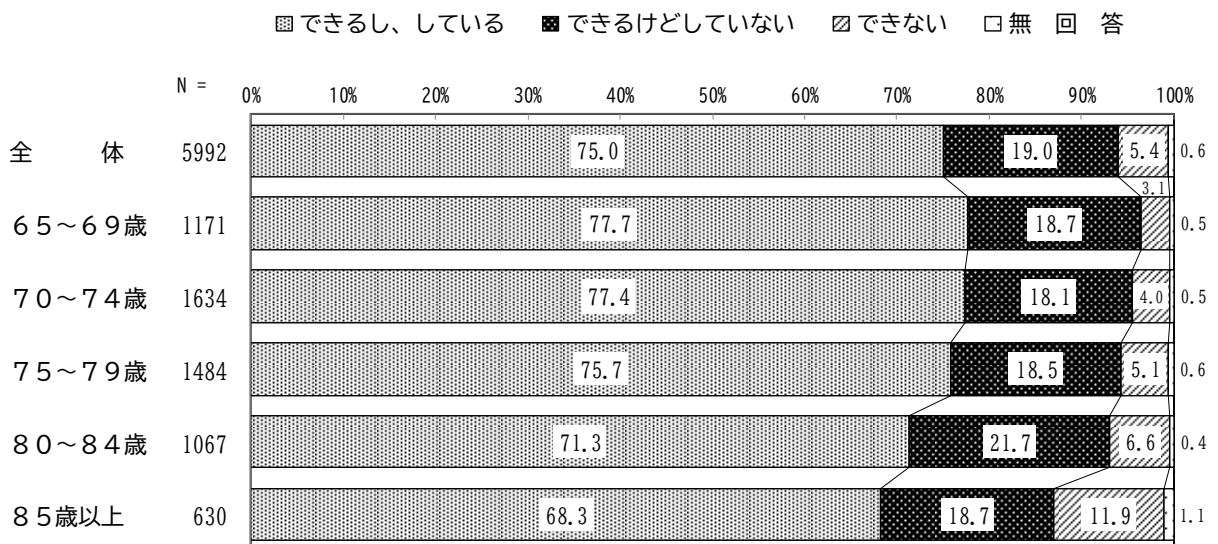
(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は一つ)

【全 体】

自分で食事の用意をしているかどうかについては、「できるし、している」が75.0%、「できるけどしていない」が19.0%、「できない」が5.4%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で11.9%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で68.3%となっています。



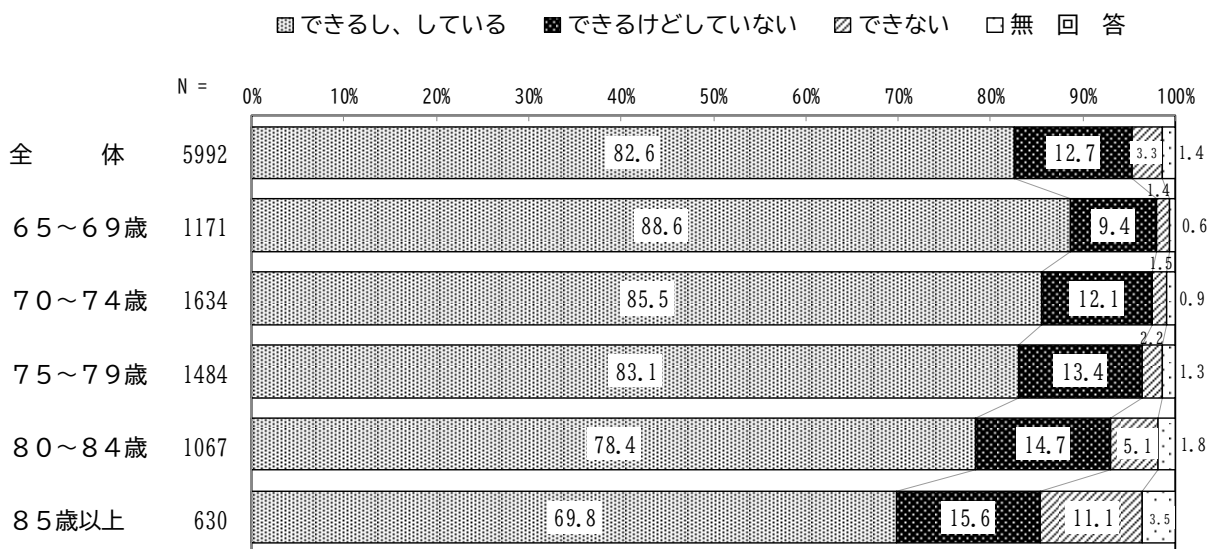
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は一つ)

【全 体】

自分で請求書の支払いをしているかどうかについては、「できるし、している」が82.6%、「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が3.3%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で11.1%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で69.8%となっています。



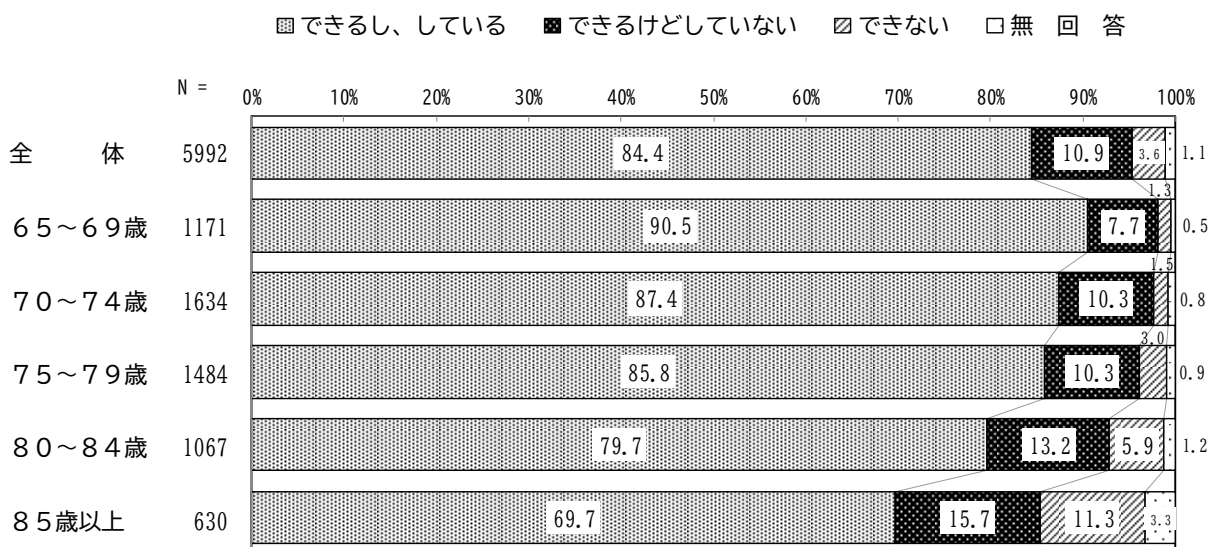
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は一つ)

【全 体】

自分で預貯金の出し入れをしているかどうかについては、「できるし、している」が84.4%、「できるけどしていない」が10.9%、「できない」が3.6%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「できない」が高くなり、「85歳以上」で11.3%となっています。一方、「できるし、している」は低くなり、「85歳以上」で69.7%となっています。



問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ○は一つ）

【全 体】

①～⑧のような会・グループ等への参加状況については、すべての項目で「参加していない」が最も高くなっています。特に「①ボランティアのグループ」、「④学習・教養サークル」、「⑤介護予防のための通いの場」、「⑥老人クラブ」は、6割を超え高くなっています。また、グループ別の活動頻度をみると、「①ボランティアのグループ」は、「年に数回」が3.2%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」は、「週2～3回」が6.5%、「③趣味関係のグループ」、「④学習・教養サークル」は、「月1～3回」がそれぞれ9.7%、2.8%、「⑤介護予防のための通いの場」は、「週1回」が0.9%、「⑥老人クラブ」、「⑦町内会・自治会」は、「年に数回」がそれぞれ1.2%、11.6%、「⑧収入のある仕事」は、「週4回以上」が14.1%と最も高くなっています。

(単位：%)

	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
① ボランティアのグループ	0.5	1.1	1.5	2.9	3.2	62.9	27.9
② スポーツ関係のグループやクラブ	3.6	6.5	5.8	2.8	2.0	55.6	23.7
③ 趣味関係のグループ	1.4	3.1	4.3	9.7	3.8	54.4	23.2
④ 学習・教養サークル	0.1	0.6	1.2	2.8	2.0	64.2	29.2
⑤ 介護予防のための通いの場	0.3	0.5	0.9	0.6	0.4	67.7	29.6
⑥ 老人クラブ	0.2	0.3	0.4	0.8	1.2	67.9	29.2
⑦ 町内会・自治会	0.4	0.4	0.4	2.7	11.6	57.0	27.5
⑧ 収入のある仕事	14.1	7.6	1.5	1.8	1.7	50.2	23.2

① ボランティアのグループ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が68.3%と「女性」の58.4%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	10	33	32	64	94	1824	613
	100.0	0.4	1.2	1.2	2.4	3.5	68.3	23.0
女性	3316	21	34	57	110	97	1937	1060
	100.0	0.6	1.0	1.7	3.3	2.9	58.4	32.0

② スポーツ関係のグループやクラブ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が60.2%と「女性」の51.9%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	75	140	117	93	93	1608	544
	100.0	2.8	5.2	4.4	3.5	3.5	60.2	20.4
女性	3316	140	246	233	76	24	1722	875
	100.0	4.2	7.4	7.0	2.3	0.7	51.9	26.4

③ 趣味関係のグループ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が60.3%と「女性」の49.7%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	43	64	87	219	125	1610	522
	100.0	1.6	2.4	3.3	8.2	4.7	60.3	19.6
女性	3316	42	122	170	360	104	1648	870
	100.0	1.3	3.7	5.1	10.9	3.1	49.7	26.2

④ 学習・教養サークル

【性別】

「男性」で、「参加していない」が71.1%と「女性」の58.6%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	-	10	19	46	48	1898	649
	100.0	-	0.4	0.7	1.7	1.8	71.1	24.3
女性	3316	3	27	50	123	72	1942	1099
	100.0	0.1	0.8	1.5	3.7	2.2	58.6	33.1

⑤ 介護予防のための通いの場

【性別】

「男性」で、「参加していない」が73.8%と「女性」の62.8%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	7	7	14	3	10	1971	658
	100.0	0.3	0.3	0.5	0.1	0.4	73.8	24.6
女性	3316	12	20	39	30	15	2083	1117
	100.0	0.4	0.6	1.2	0.9	0.5	62.8	33.7

⑥ 老人クラブ

【性別】

「男性」で、「参加していない」が73.4%と「女性」の63.4%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	5	10	8	17	32	1960	638
	100.0	0.2	0.4	0.3	0.6	1.2	73.4	23.9
女性	3316	9	7	16	29	39	2104	1112
	100.0	0.3	0.2	0.5	0.9	1.2	63.4	33.5

⑦ 町内会・自治会

【性別】

「男性」で、「参加していない」が61.8%と「女性」の53.1%より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	6	12	13	74	319	1651	595
	100.0	0.2	0.4	0.5	2.8	11.9	61.8	22.3
女性	3316	17	13	9	89	375	1762	1051
	100.0	0.5	0.4	0.3	2.7	11.3	53.1	31.7

⑧ 収入のある仕事

【性別】

①～⑦の参加状況とは違い、「女性」で、「参加していない」が51.3%と「男性」より高くなっています。また、「週4回以上」は「男性」の方が18.3%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
男性	2670	488	258	51	56	61	1300	456
	100.0	18.3	9.7	1.9	2.1	2.3	48.7	17.1
女性	3316	355	200	38	50	39	1702	932
	100.0	10.7	6.0	1.1	1.5	1.2	51.3	28.1

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は一つ）

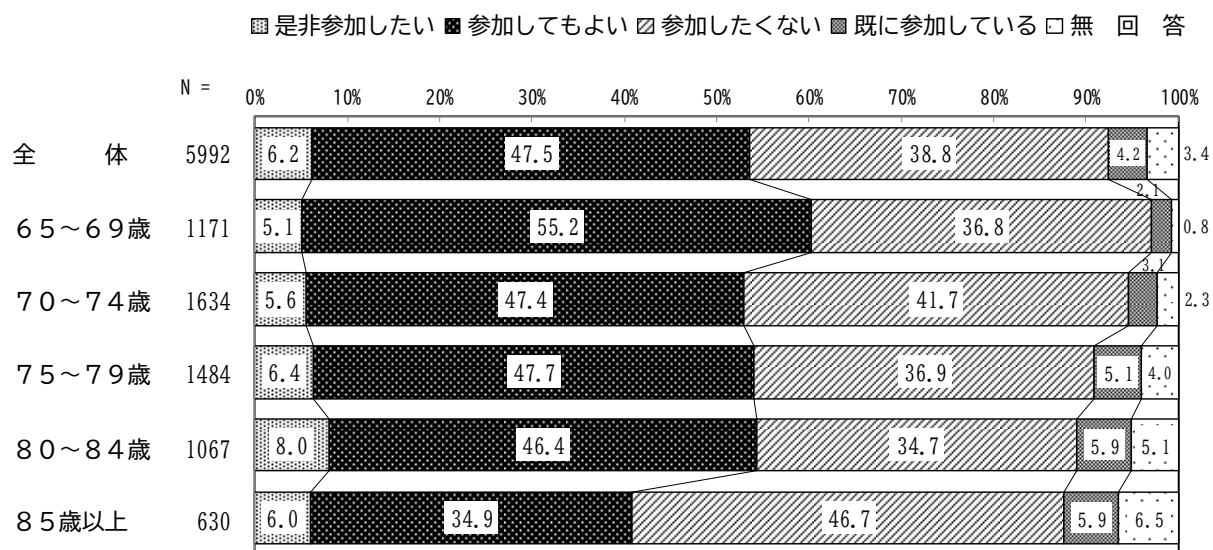
【全 体】

地域住民の有志による、いきいきした地域づくりを進める健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が47.5%と最も高く、次いで「参加したくない」が38.8%、「是非参加したい」が6.2%、「既に参加している」が4.2%となっています。

【年齢別】

「参加してもよい」は、「65～69歳」で55.2%と高く、「85歳以上」で34.9%と低くなっています。

一方、「参加したくない」は「85歳以上」で46.7%と高くなっています。



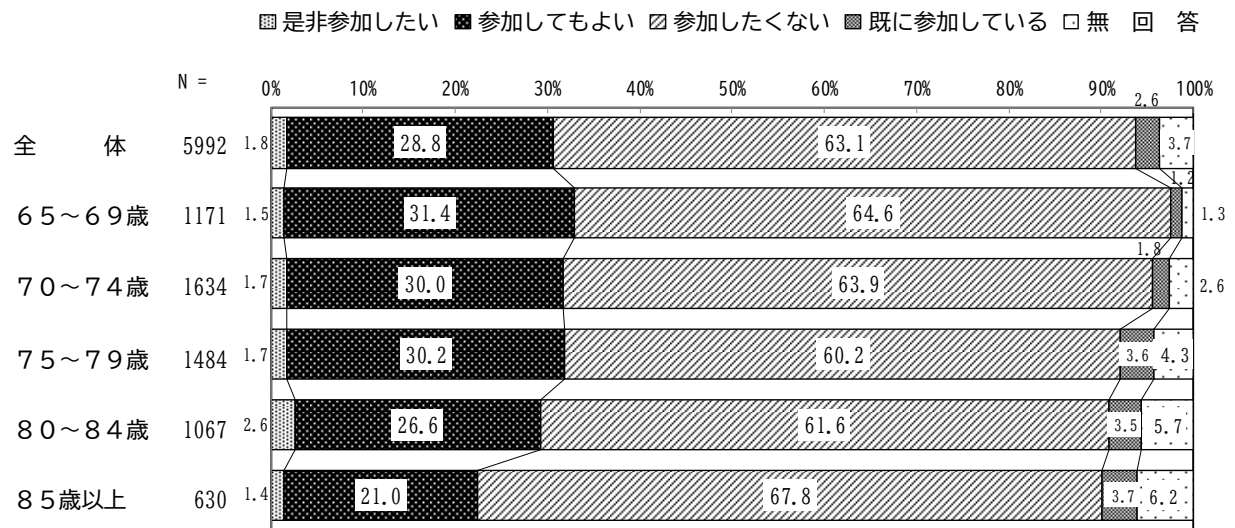
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は一つ）

【全 体】

地域住民の有志による、いきいきした地域づくりを進める健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「参加したくない」が 63.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 28.8%、「既に参加している」が 2.6%、「是非参加したい」が 1.8%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」で「参加してもよい」は21.0%と低く、「参加したくない」は67.8%と高くなっています。



問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

【全 体】

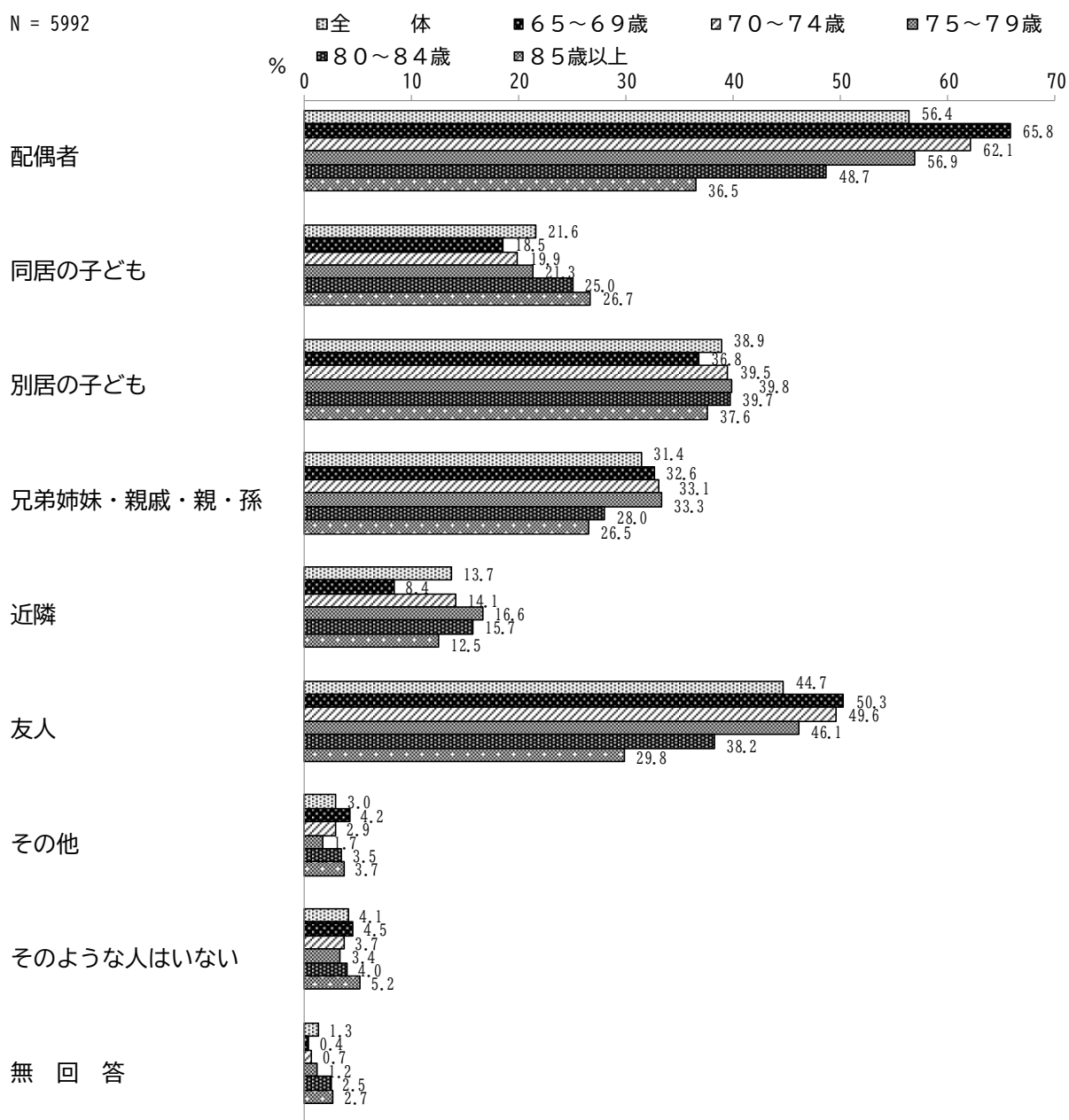
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が56.4%と最も高く、次いで「友人」が44.7%、「別居の子ども」が38.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.4%、「同居の子ども」が21.6%、「近隣」が13.7%となっています。

なお、「そのような人はいない」は4.1%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」を除くすべての年代で「配偶者」が最も高くなっています。「85歳以上」では、「別居の子ども」が37.6%と最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて、「友人」が低くなり、「85歳以上」で29.8%となっています。

N = 5992



【性別】

「男性」では、「配偶者」が70.8%と最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目で、「女性」が「男性」を上回っており、「友人」が56.9%、「別居の子ども」が47.6%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2670	1890	444	749	539	154	792	77	177	36
	100.0	70.8	16.6	28.1	20.2	5.8	29.7	2.9	6.6	1.3
女性	3316	1489	849	1579	1344	666	1887	104	64	43
	100.0	44.9	25.6	47.6	40.5	20.1	56.9	3.1	1.9	1.3

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

【全 体】

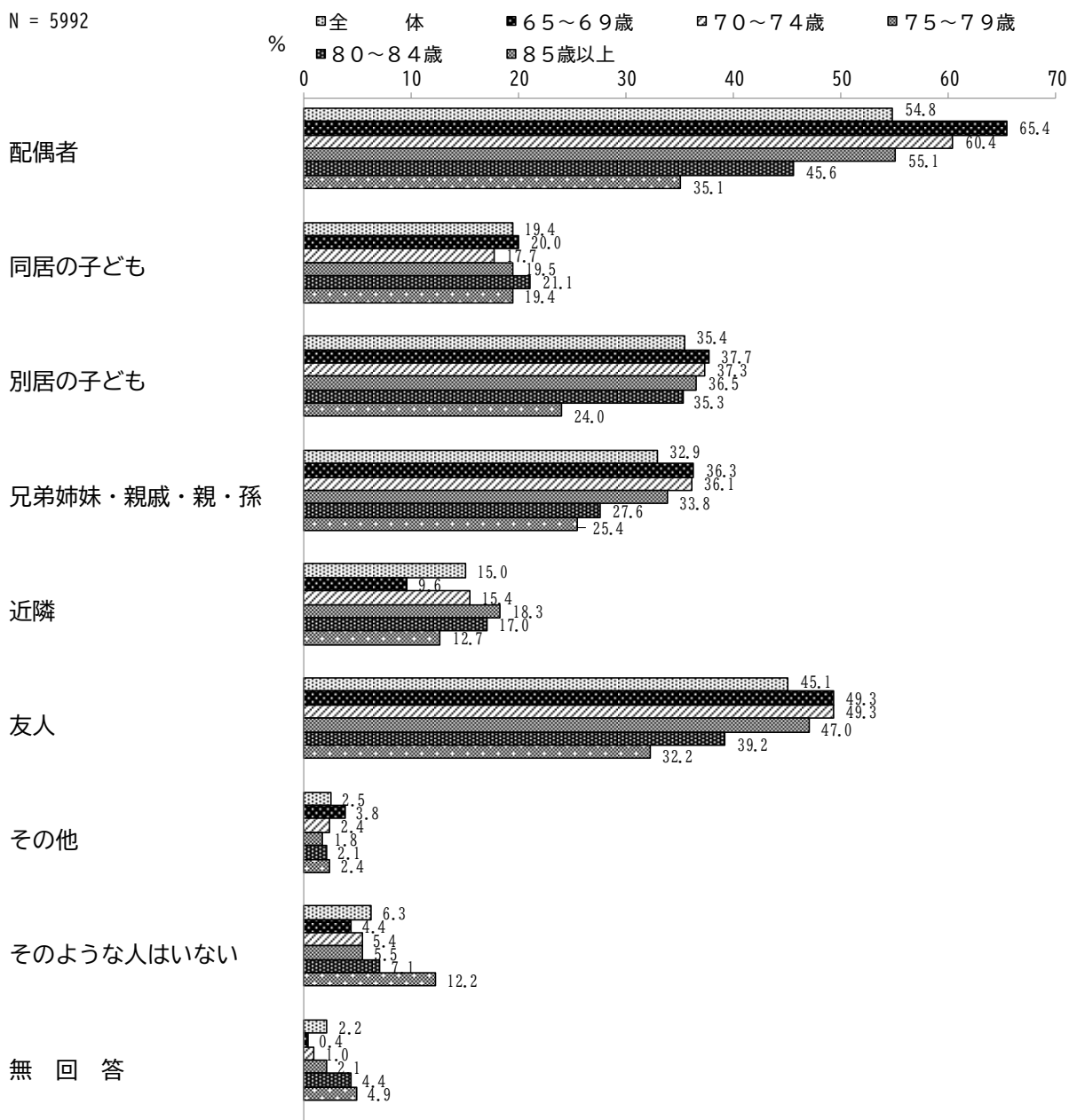
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が54.8%と最も高く、次いで「友人」が45.1%、「別居の子ども」が35.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.9%、「同居の子ども」が19.4%、「近隣」が15.0%となっています。

なお、「そのような人はいない」は6.3%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「配偶者」が最も高く、「65～69歳」では65.4%となっています。一方、「85歳以上」では「そのような人はいない」が12.2%と高くなっています。

N = 5992



【性別】

「男性」では、「配偶者」が69.5%と最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目で、「女性」が「男性」を上回っており、「友人」が58.2%、「別居の子ども」が41.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が40.3%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2670	1855	431	748	635	164	771	72	234	55
	100.0	69.5	16.1	28.0	23.8	6.1	28.9	2.7	8.8	2.1
女性	3316	1423	730	1372	1337	731	1929	76	140	75
	100.0	42.9	22.0	41.4	40.3	22.0	58.2	2.3	4.2	2.3

(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

【全 体】

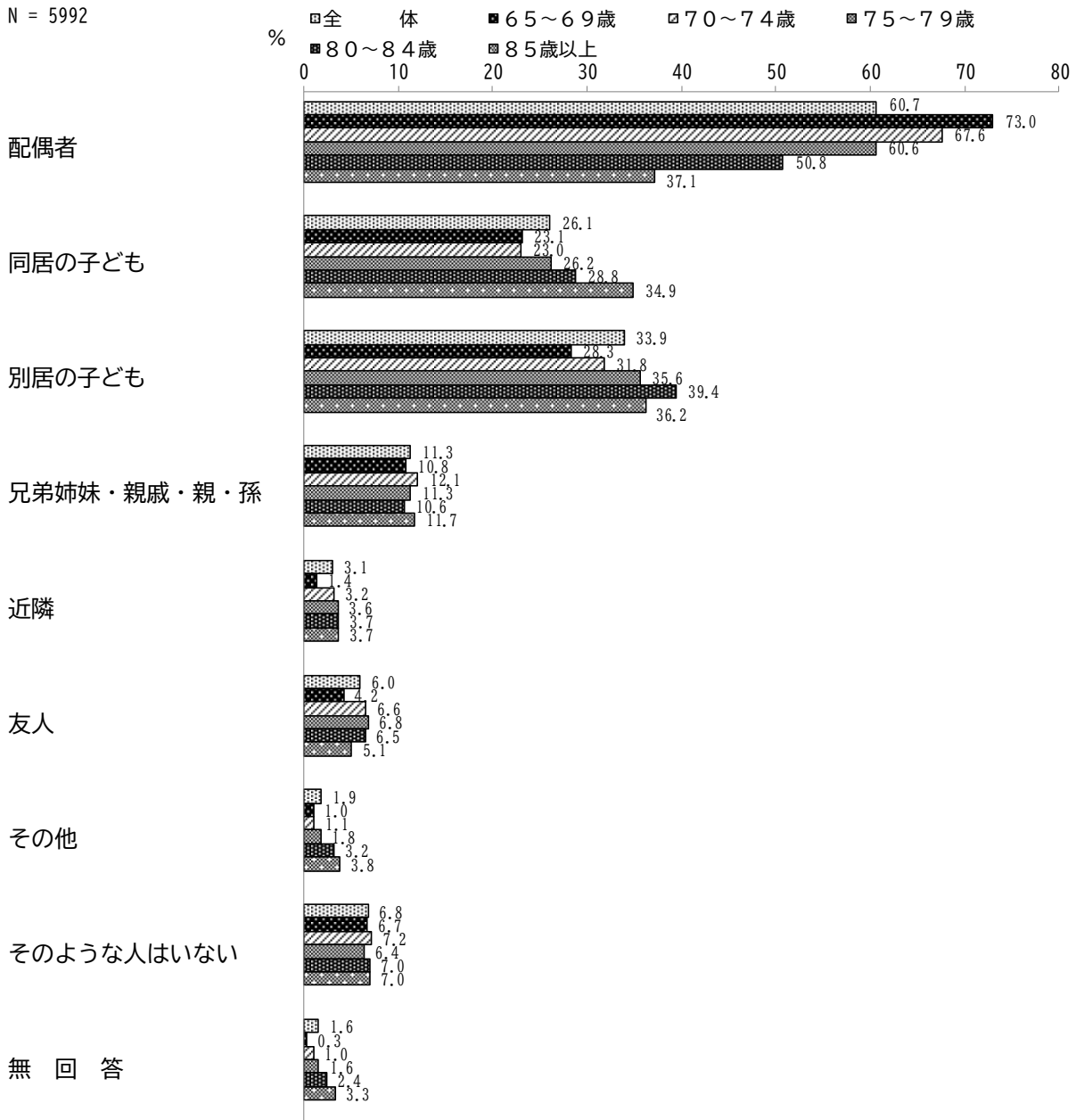
病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が60.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」が33.9%、「同居の子ども」が26.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が11.3%、「友人」が6.0%、「近隣」が3.1%となっています。

なお、「そのような人はいない」は6.8%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「配偶者」が最も高く、「65～69歳」では73.0%となっています。

N = 5992



【性別】

「男性」、「女性」とともに「配偶者」が最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目では、「女性」が「男性」を上回っており、「別居の子ども」が40.7%、「同居の子ども」が30.0%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2670	1999	568	680	249	31	71	37	206	34
	100.0	74.9	21.3	25.5	9.3	1.2	2.7	1.4	7.7	1.3
女性	3316	1637	995	1348	429	154	288	78	204	58
	100.0	49.4	30.0	40.7	12.9	4.6	8.7	2.4	6.2	1.7

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（〇はいくつでも）

【全 体】

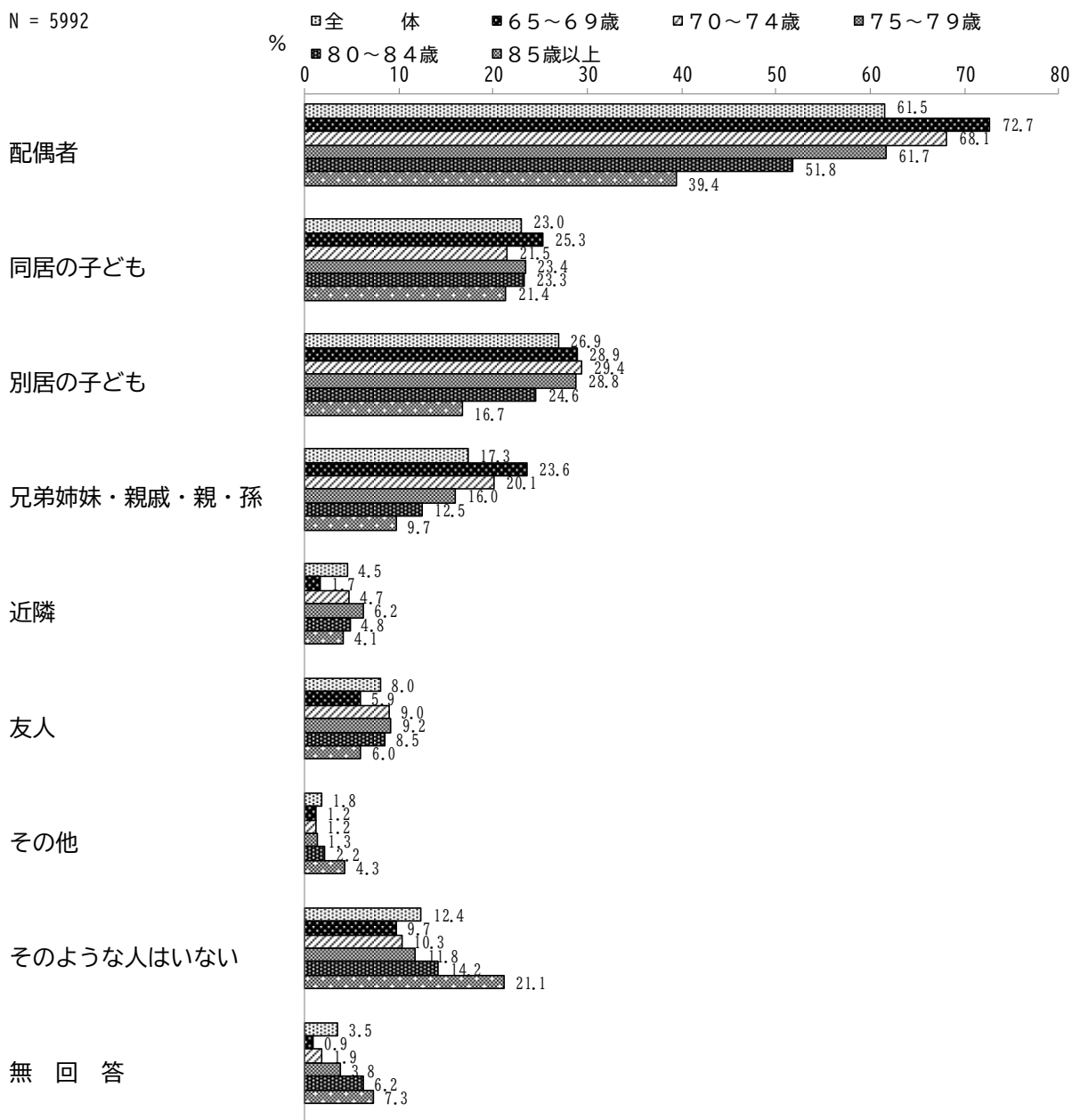
看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が61.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」が26.9%、「同居の子ども」が23.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が17.3%、「友人」が8.0%、「近隣」が4.5%となっています。

なお、「そのような人はいない」は12.4%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「配偶者」が最も高く、「65～69歳」では72.7%となっています。一方、「85歳以上」では「そのような人はいない」が21.1%と高くなっています。

N = 5992



【性別】

「男性」、「女性」とともに「配偶者」が最も高くなっています。また、「配偶者」、「そのような人はいない」を除く項目では、「女性」が「男性」を上回っており、「別居の子ども」が33.4%、「同居の子ども」が26.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.5%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人 はいない	無回答
男性	2670	1914	508	508	354	48	99	40	359	62
	100.0	71.7	19.0	19.0	13.3	1.8	3.7	1.5	13.4	2.3
女性	3316	1766	871	1106	681	218	382	65	383	148
	100.0	53.3	26.3	33.4	20.5	6.6	11.5	2.0	11.6	4.5

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手をお教えてください

(○はいくつでも)

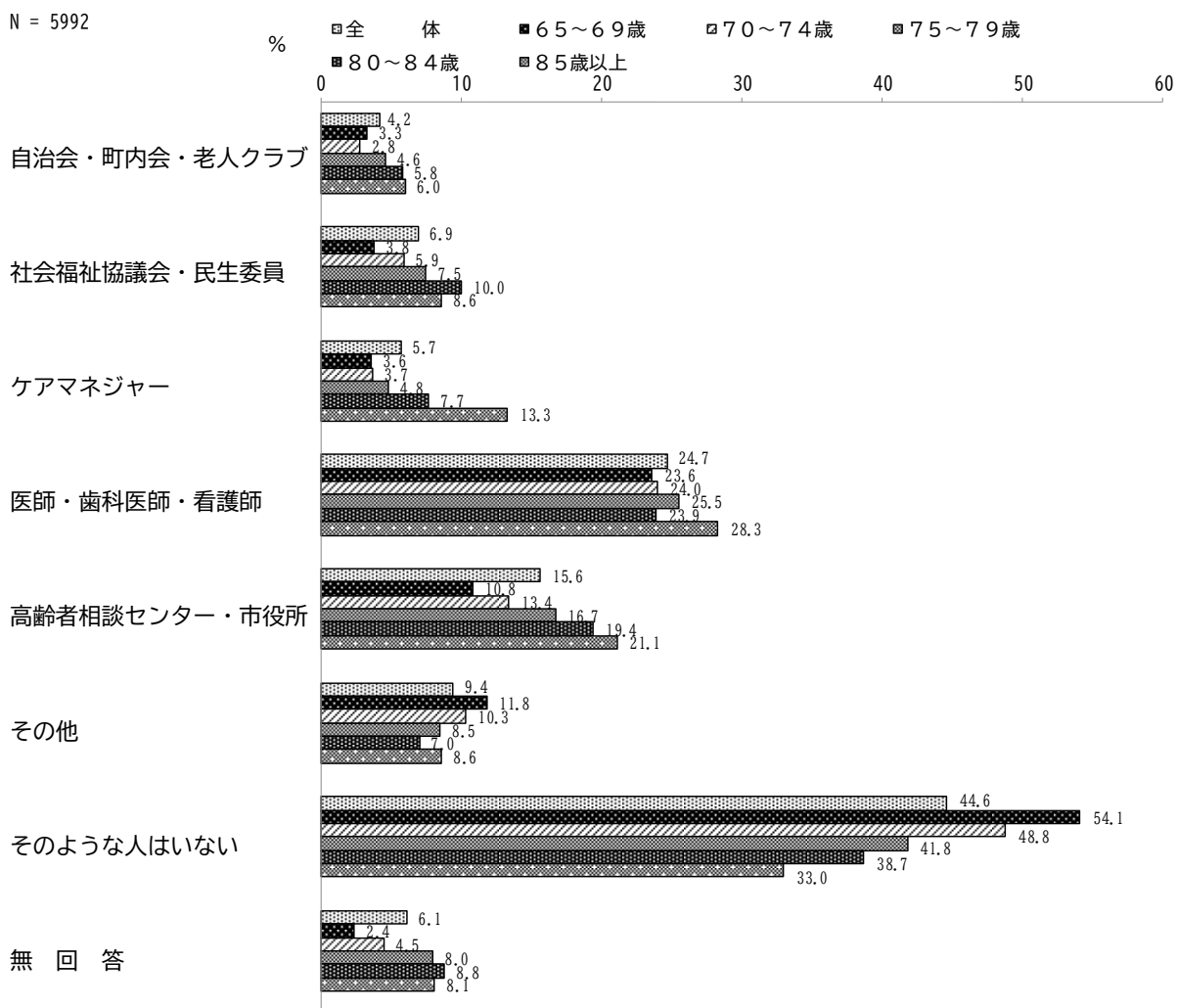
【全 体】

家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が24.7%と最も高く、次いで「高齢者相談センター・市役所」が15.6%、「社会福祉協議会・民生委員」が6.9%、「ケアマネジャー」が5.7%、「自治会・町内会・老人クラブ」が4.2%となっています。

なお、「そのような人はいない」は44.6%となっています。

【年齢別】

年齢が下がるにつれて「そのような人はいない」が高くなり、「65～69歳」で54.1%となっています。また、「ケアマネジャー」は「85歳以上」で13.3%となっています。



(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は一つ)

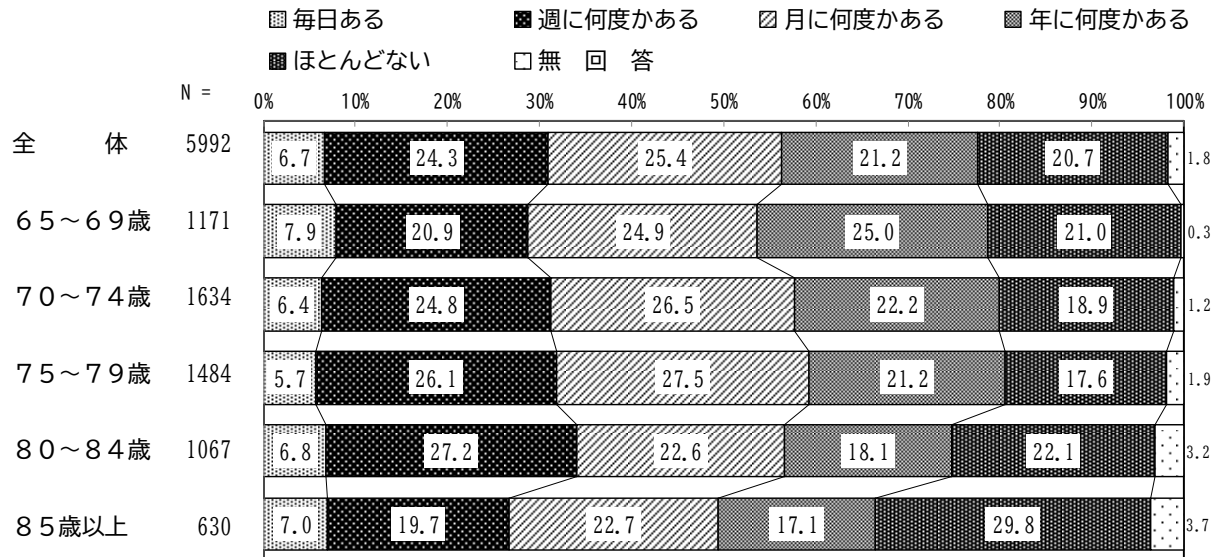
【全 体】

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が25.4%と最も高く、次いで「週に何度かある」が24.3%、「年に何度かある」が21.2%、「毎日ある」が6.7%となっています。

なお、「ほとんどない」は20.7%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」では、「ほとんどない」が29.8%と高くなっています。



【性 別】

「男性」で「年に何度かある」(23.8%)、「ほとんどない」(25.1%)が女性より高く、「女性」では、「週に何度かある」(27.7%)、「月に何度かある」(27.8%)が男性より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	毎日ある	週に 何度かある	月に 何度かある	年に 何度かある	ほとんどない	無回答
男性	2670	195	535	593	635	669	43
	100.0	7.3	20.0	22.2	23.8	25.1	1.6
女性	3316	204	918	923	636	571	64
	100.0	6.2	27.7	27.8	19.2	17.2	1.9

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (〇はいくつでも)

【全 体】

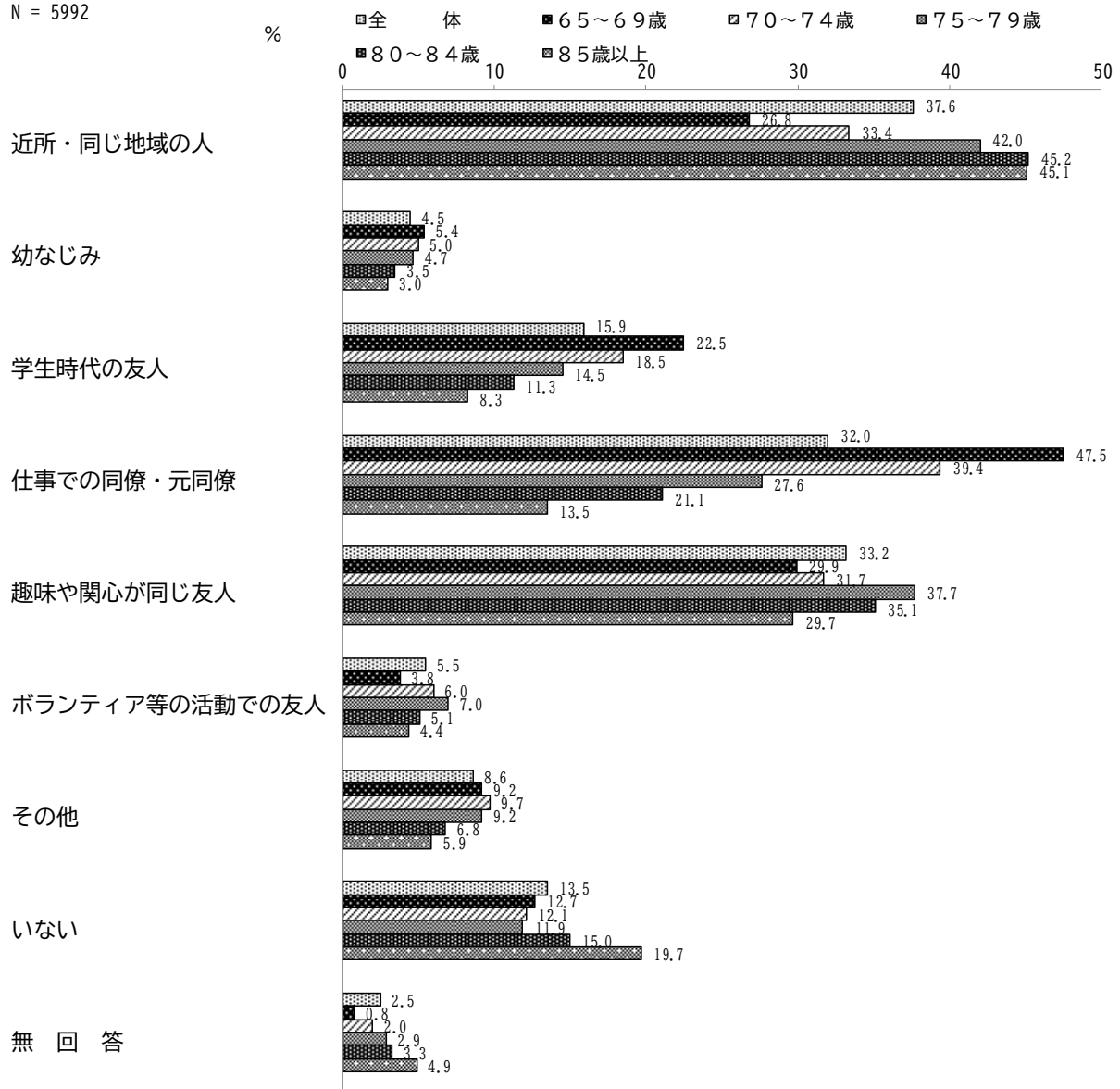
よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が37.6%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が33.2%、「仕事での同僚・元同僚」が32.0%、「学生時代の友人」が15.9%、「ボランティア等の活動での友人」が5.5%、「幼なじみ」が4.5%となっています。

なお、「いない」は13.5%となっています。

【年齢別】

「65～69歳」、「70～74歳」では「仕事での同僚・元同僚」、「75～79歳」、「80～84歳」、「85歳以上」では「近所・同じ地域の人」が最も高くなっています。

N = 5992



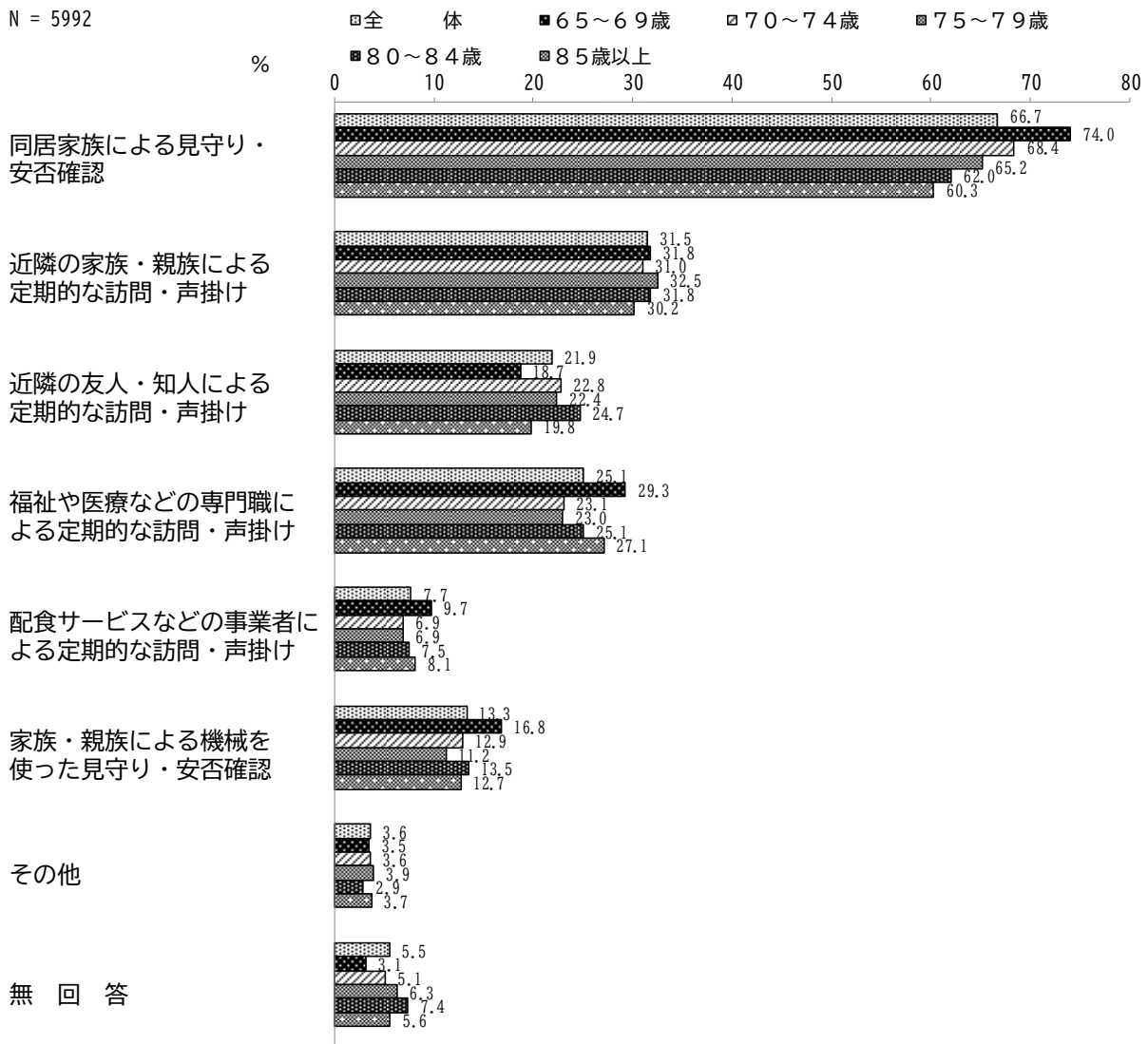
(8) 今後、あなたが安心して日常生活を送るためには、どのような見守りが必要だと思いますか (〇はいくつでも)

【全 体】

今後、安心して日常生活を送るために必要な見守りについては、「同居家族による見守り・安否確認」が66.7%と最も高く、次いで「近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け」が31.5%、「福祉や医療などの専門職による定期的な訪問・声掛け」が25.1%、「近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け」が21.9%と続いています。

【年齢別】

すべての年代で「同居家族による見守り・安否確認」が最も高く、「65～69歳」では74.0%となっています。



【性別】

「男性」、「女性」とともに「同居家族による見守り・安否確認」が最も高くなっています。また、「近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け」、「近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け」では、「女性」がそれぞれ34.7%、26.7%と「男性」を上回っています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	同居家族 による見守り・ 安否確認	近隣の家族・ 親族による 定期的な 訪問・声掛け	近隣の友人・ 知人による 定期的な 訪問・声掛け	福祉や医療などの 専門職による 定期的な 訪問・声掛け	配食サービスなどの 事業者による 定期的な 訪問・声掛け	家族・親族に よる機械を 使った見守り・ 安否確認	その他	無回答
男性	2670	1933	741	430	656	178	311	94	141
	100.0	72.4	27.8	16.1	24.6	6.7	11.6	3.5	5.3
女性	3316	2060	1149	884	844	282	487	118	187
	100.0	62.1	34.7	26.7	25.5	8.5	14.7	3.6	5.6

問7 健康について

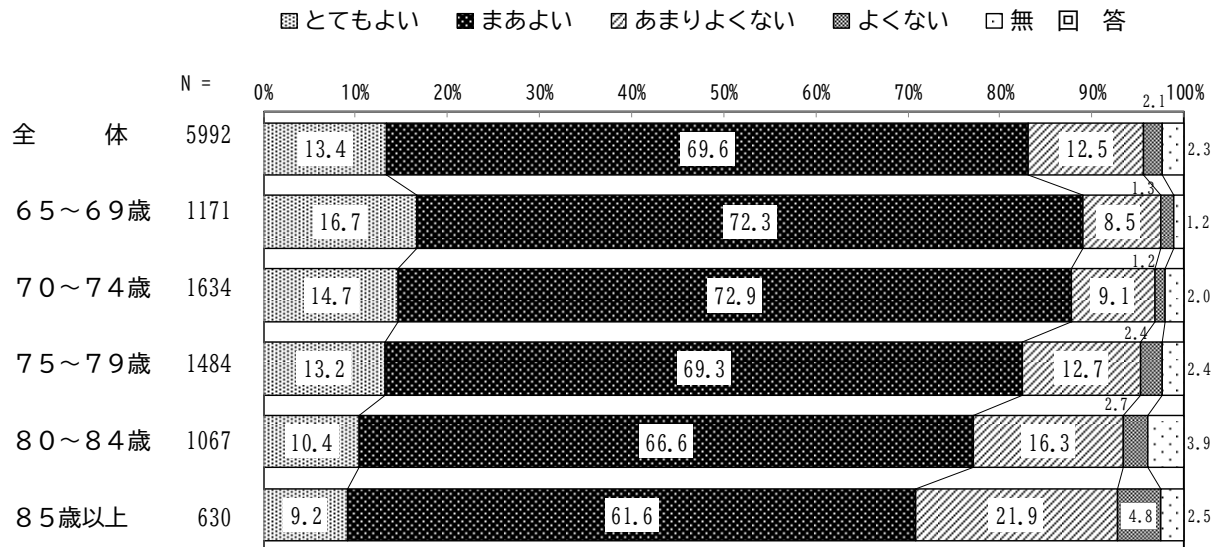
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は一つ)

【全体】

健康状態については、「とてもよい」(13.4%)と「まあよい」(69.6%)を合わせた『よい』が83.0%、「あまりよくない」(12.5%)と「よくない」(2.1%)を合わせた『よくない』が14.6%と『よい』の方が68.4ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて『よい』は低くなり、「85歳以上」で70.8%となっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (○は一つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

【全体】

幸福度については、10点満点中「8点」が23.6%と最も高く、次いで「5点」が17.7%、「7点」が15.9%、「10点」が12.0%、「9点」が10.1%、「6点」が10.0%と続いています。

なお、平均点は「7.1点」となっています。

【年齢別】

すべての年代で「8点」が最も高くなっています(「80~84歳」は「5点」も18.7%)。

なお、平均点は「65~69歳」、「70~74歳」、「85歳以上」で「7.1点」、「75~79歳」、「80~84歳」で「7.0点」となっています。

(単位: %)

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均点
全体	5992	0.4	0.5	0.7	2.6	3.0	17.7	10.0	15.9	23.6	10.1	12.0	7.1
65~69歳	1171	0.3	0.6	0.7	2.5	2.6	16.0	9.4	17.6	27.6	10.2	10.6	7.1
70~74歳	1634	0.1	0.4	0.4	2.7	3.2	17.0	10.0	15.9	25.3	10.5	12.1	7.1
75~79歳	1484	0.3	0.5	0.9	2.2	2.6	19.6	10.6	16.2	22.2	9.3	11.9	7.0
80~84歳	1067	0.6	0.5	0.8	2.6	4.3	18.7	9.5	14.9	18.7	11.6	11.7	7.0
85歳以上	630	0.8	1.0	0.8	3.5	2.2	16.7	10.0	14.0	22.9	8.6	15.4	7.1

※無回答を除く

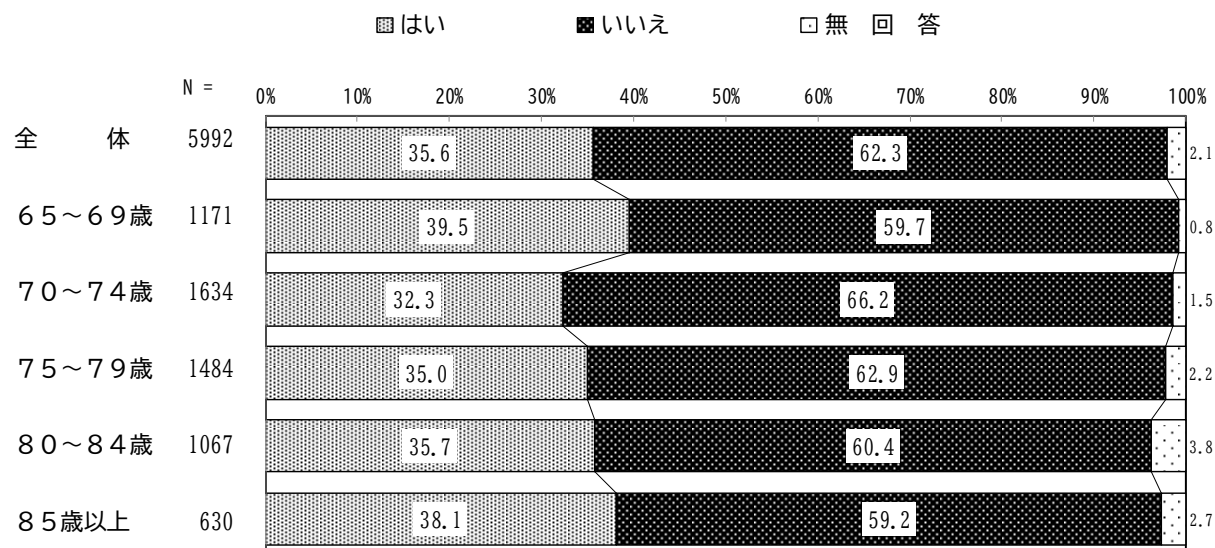
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は一つ)

【全 体】

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかどうかについては、「はい」が35.6%、「いいえ」が62.3%となっています。

【年齢別】

「70～74歳」で「はい」が32.3%とやや低くなっています。



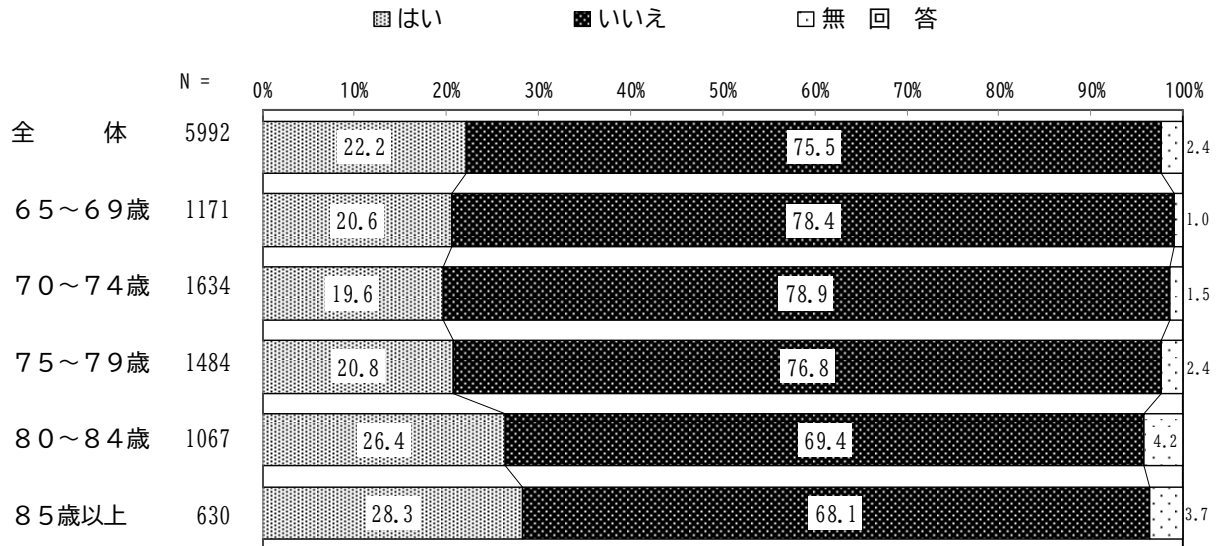
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は一つ)

【全 体】

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかどうかについては、「はい」が22.2%、「いいえ」が75.5%となっています。

【年齢別】

「80～84歳」、「85歳以上」で「はい」がそれぞれ26.4%、28.3%と高くなっています。



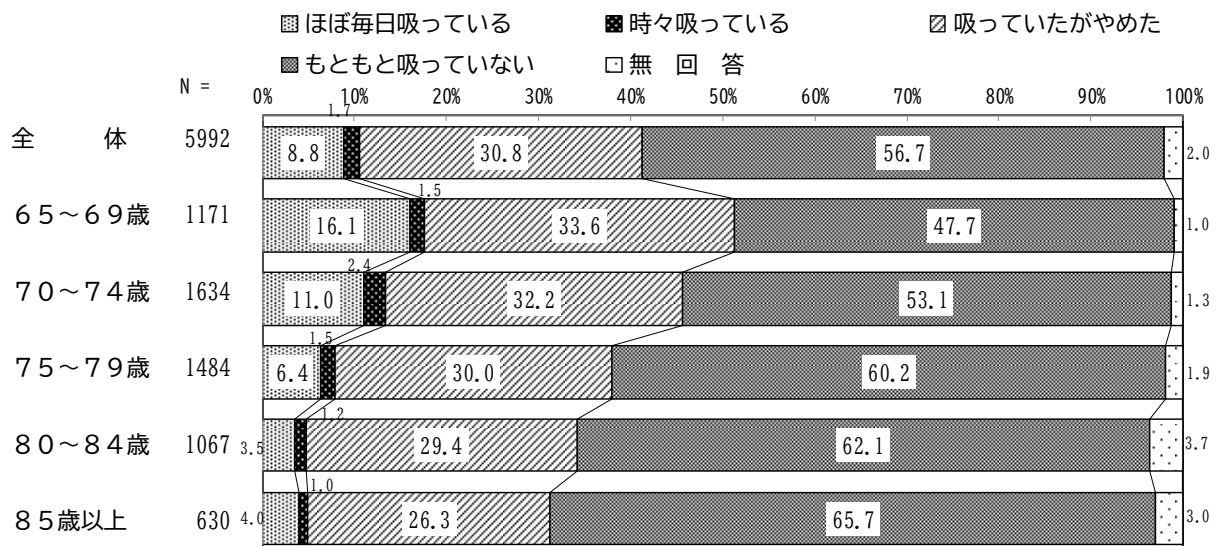
(5) タバコは吸っていますか (〇は一つ)

【全 体】

喫煙状況については、「ほぼ毎日吸っている」(8.8%)と「時々吸っている」(1.7%)を合わせた『吸っている』が10.5%、「吸っていたがやめた」(30.8%)と「もともと吸っていない」(56.7%)を合わせた『吸っていない』が87.5%となっており、『吸っていない』人の方が77.0ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢が下がるにつれて『吸っている』は高くなり、「65～69歳」で17.6%となっています。



(6) 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

【全 体】

現在治療中、又は後遺症のある病気については、「高血圧」が41.6%と最も高く、次いで「目の病気」が16.4%、「高脂血症(脂質異常)」が13.8%、「糖尿病」が13.2%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が11.3%、「心臓病」が10.0%、「腎臓・前立腺の病気」が7.8%と続いています。

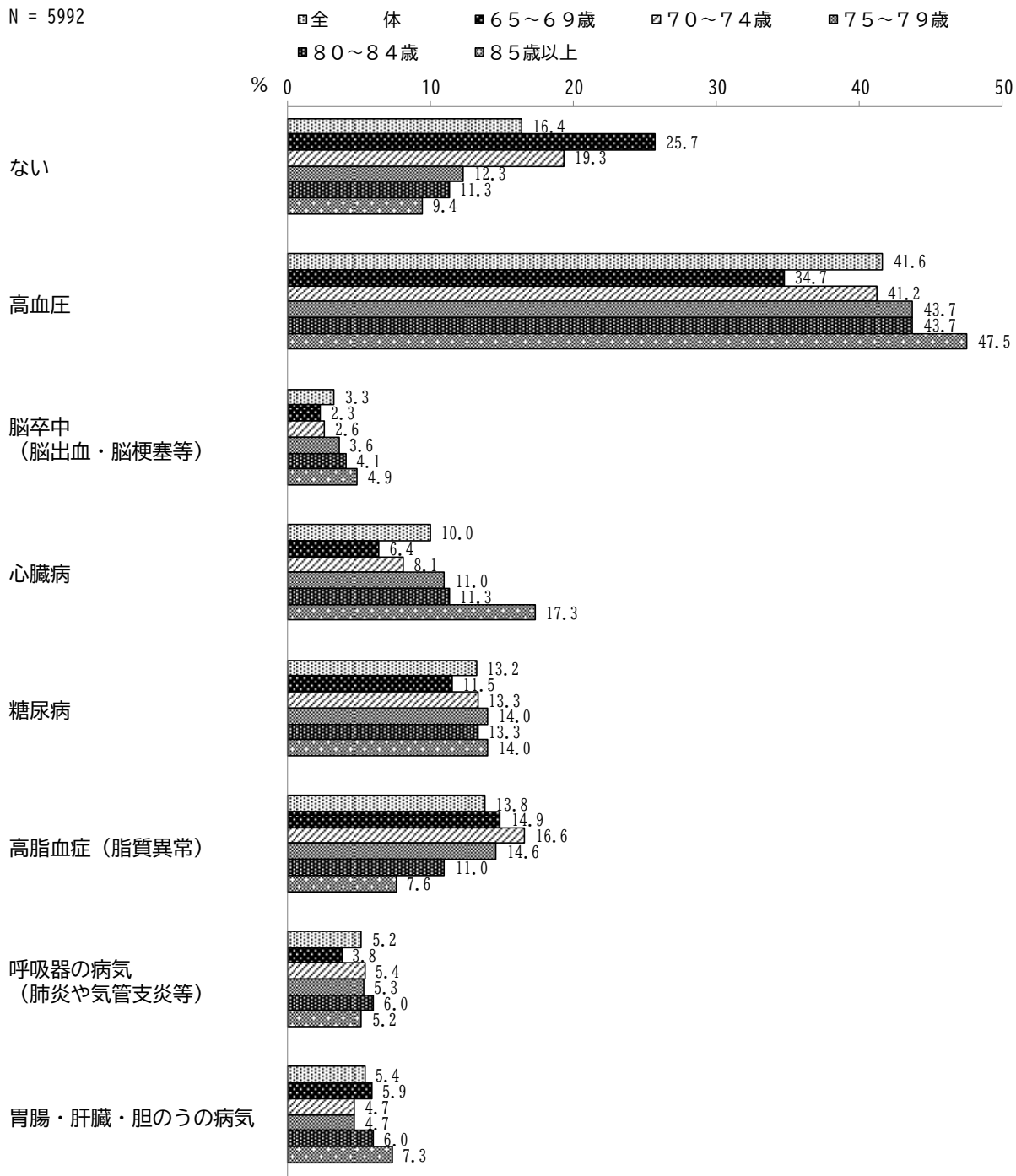
なお、「ない」は16.4%となっています。

【年齢別】

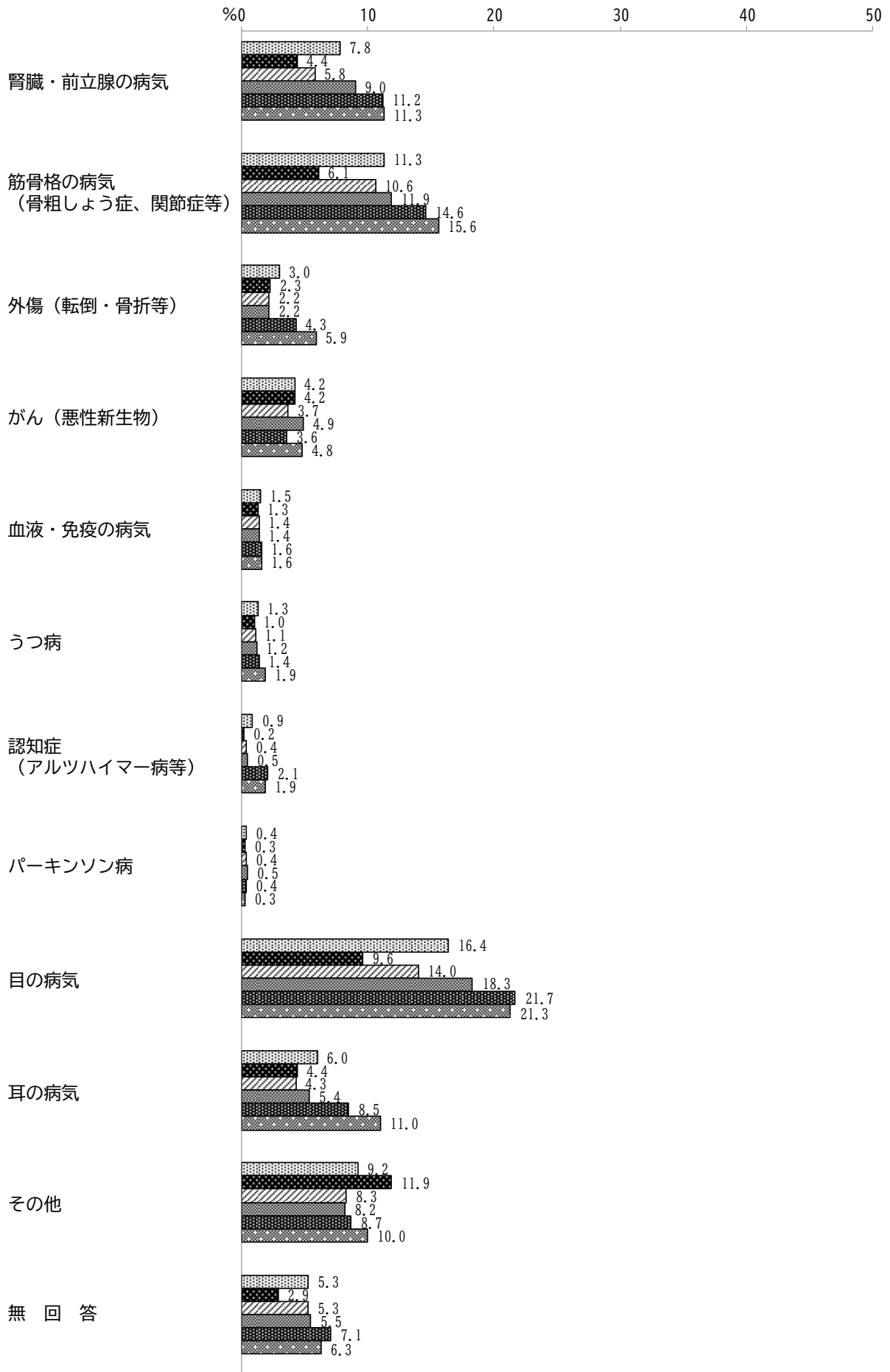
どの年代も「高血圧」が最も高くなっていますが、「85歳以上」で47.5%となっています。また、「80~84歳」、「85歳以上」で、「目の病気」がそれぞれ21.7%、21.3%と高くなっています。

一方、「ない」は年齢が上がるにつれて低くなり、「85歳以上」で9.4%となっています。

N = 5992



〈続き〉



問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

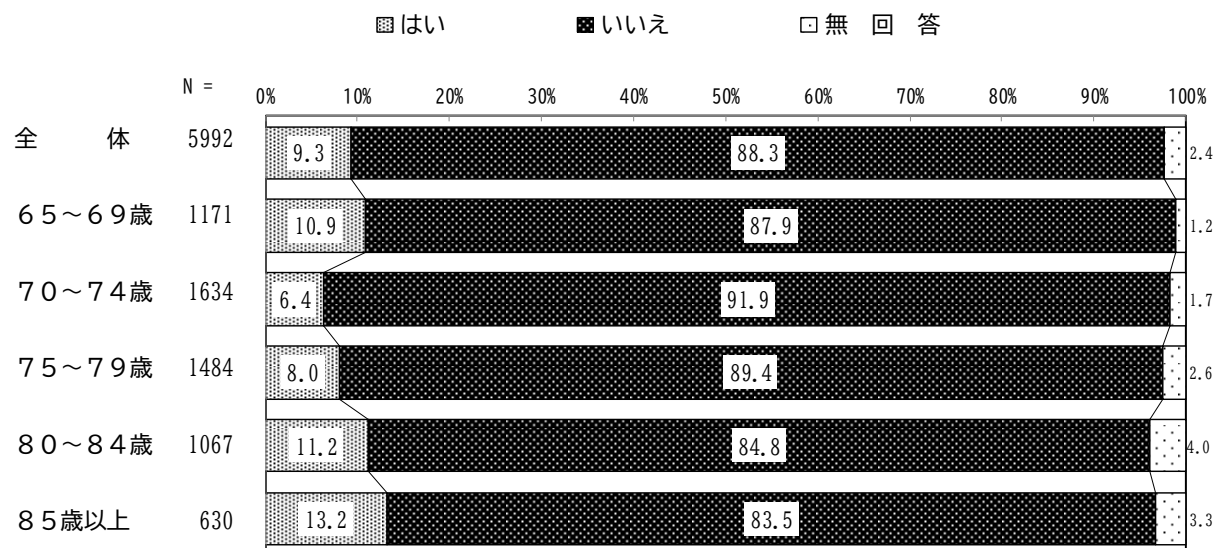
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は一つ)

【全 体】

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「はい」が9.3%、「いいえ」が88.3%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」では、「はい」が13.2%とやや高くなっています。



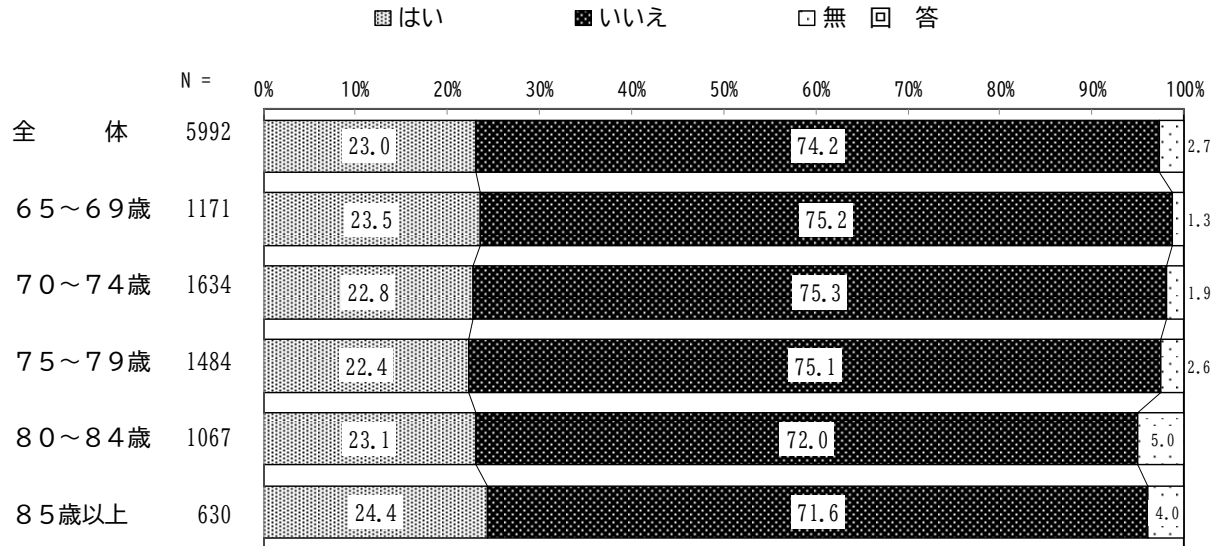
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は一つ)

【全 体】

認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が23.0%、「いいえ」が74.2%となっています。

【年齢別】

年代における違いはほとんどありません。



【性 別】

「男性」で「いいえ」が77.7%と「女性」より高く、「女性」で「はい」が25.8%と「男性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	はい	いいえ	無回答
男性	2670	524	2074	72
	100.0	19.6	77.7	2.7
女性	3316	856	2370	90
	100.0	25.8	71.5	2.7

問9 成年後見制度の把握について

(1) 成年後見制度について知っていますか (〇は一つ)

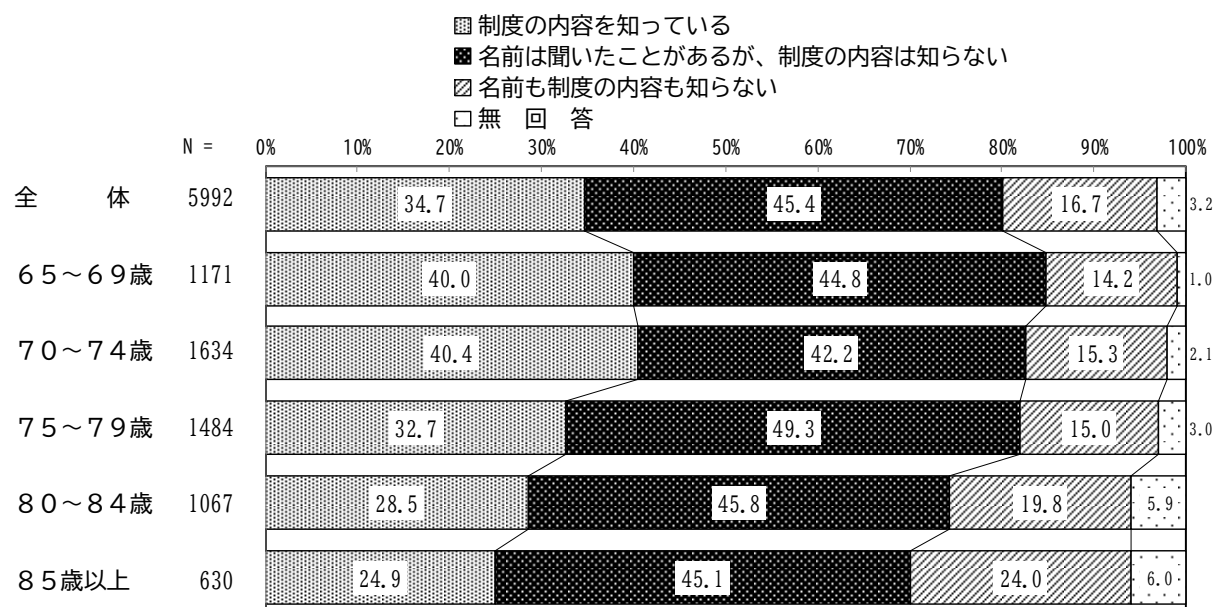
【全 体】

成年後見制度の認知度については、「制度の内容を知っている」が34.7%、「名前は聞いたことがあるが、制度の内容は知らない」が45.4%、「名前も制度の内容も知らない」が16.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「制度の内容を知っている」が低くなる傾向で、「85歳以上」で24.9%となっています。

一方、「名前も制度の内容も知らない」は高くなる傾向で、「85歳以上」で24.0%となっています。



【家族構成別】

「1人暮らし」で、「制度の内容を知っている」が32.8%とやや低く、「名前も制度の内容も知らない」が19.3%とやや高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	制度の内容を知っている	名前は聞いたことがあるが、 制度の内容は知らない	名前も制度の内容も 知らない	無回答
1人暮らし	1090	358	466	210	56
	100.0	32.8	42.8	19.3	5.1
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2486	892	1180	352	62
	100.0	35.9	47.5	14.2	2.5
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	282	102	126	45	9
	100.0	36.2	44.7	16.0	3.2
息子・娘との2世帯	970	346	444	156	24
	100.0	35.7	45.8	16.1	2.5
その他	1096	369	479	217	31
	100.0	33.7	43.7	19.8	2.8
無 回 答	68	10	25	22	11
	100.0	14.7	36.8	32.4	16.2

(2) あなたやあなたの家族・知人が次のような状態になった時、成年後見制度を「利用したい」あるいは「利用をすすめたい」と思いますか（〇はいくつでも）

【全 体】

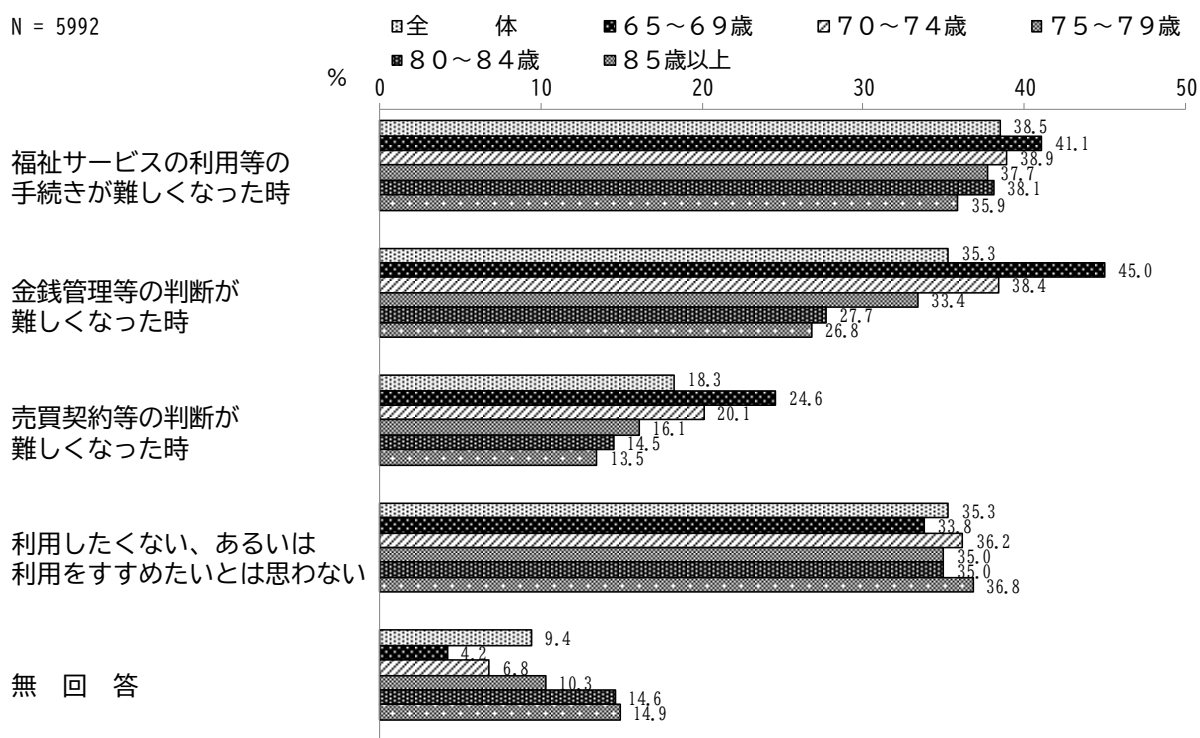
自分や家族・知人がどのような状態になった時、成年後見制度を「利用したい」あるいは「利用をすすめたい」と思うかどうかについては、「福祉サービスの利用等の手続きが難しくなった時」が38.5%と最も高く、次いで「金銭管理等の判断が難しくなった時」、「利用したくない、あるいは利用をすすめたいとは思わない」がともに35.3%、「売買契約等の判断が難しくなった時」が18.3%となっています。

【年齢別】

「65～69歳」で「金銭管理等の判断が難しくなった時」が45.0%と高くなっています。

なお、すべての年代で「利用したくない、あるいは利用をすすめたいとは思わない」は3割を超えています。

N = 5992



問10 在宅医療について

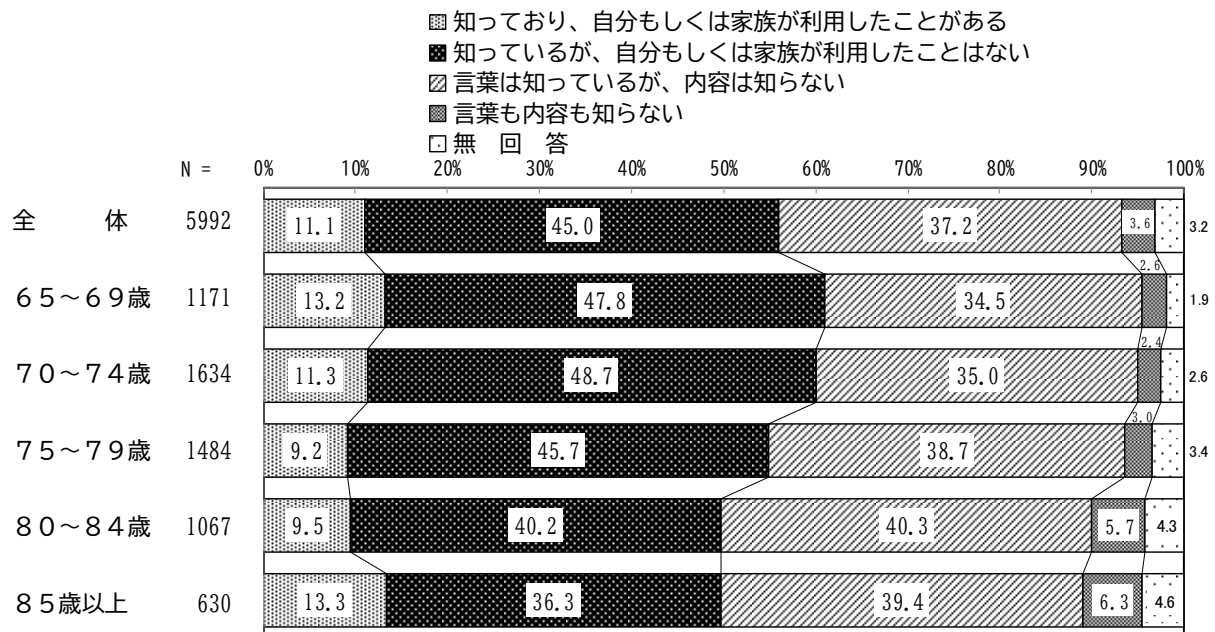
(1) 在宅医療について知っていますか (○は一つ)

【全体】

在宅医療の認知度については、「知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない」が45.0%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容は知らない」が37.2%、「知っており、自分もしくは家族が利用したことがある」が11.1%、「言葉も内容も知らない」が3.6%となっています。

【年齢別】

「65～69歳」、「70～74歳」、「75～79歳」では「知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない」が最も高くなっていますが、「80～84歳」、「85歳以上」では「言葉は知っているが、内容は知らない」が最も高くなっています。



【介護度別】

「一般高齢者」では、「知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない」が45.5%、「知っており、自分もしくは家族が利用したことがある」では、「要支援1」、「要支援2」でそれぞれ15.1%、15.7%と高くなっています。

なお、「言葉も内容も知らない」は、「要支援1」で10.6%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	知っており、自分もしくは家族が利用したことがある	知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	無回答
一般高齢者	5673	613	2580	2118	187	175
	100.0	10.8	45.5	37.3	3.3	3.1
要支援1	179	27	69	59	19	5
	100.0	15.1	38.5	33.0	10.6	2.8
要支援2	134	21	43	52	9	9
	100.0	15.7	32.1	38.8	6.7	6.7

【家族構成別】

「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」で、「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『知らない』が45.4%とやや高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	知っており、 自分もしくは 家族が利用した ことがある	知っているが、 自分もしくは 家族が利用した ことはない	言葉は 知っているが、 内容は知らない	言葉も内容も 知らない	無回答
1人暮らし	1090	195	387	402	63	43
	100.0	17.9	35.5	36.9	5.8	3.9
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2486	168	1226	961	59	72
	100.0	6.8	49.3	38.7	2.4	2.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	282	30	113	114	14	11
	100.0	10.6	40.1	40.4	5.0	3.9
息子・娘との2世帯	970	127	444	337	34	28
	100.0	13.1	45.8	34.7	3.5	2.9
その他	1096	136	500	392	40	28
	100.0	12.4	45.6	35.8	3.6	2.6
無 回 答	68	7	24	24	6	7
	100.0	10.3	35.3	35.3	8.8	10.3

(2) 在宅で医療・介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか

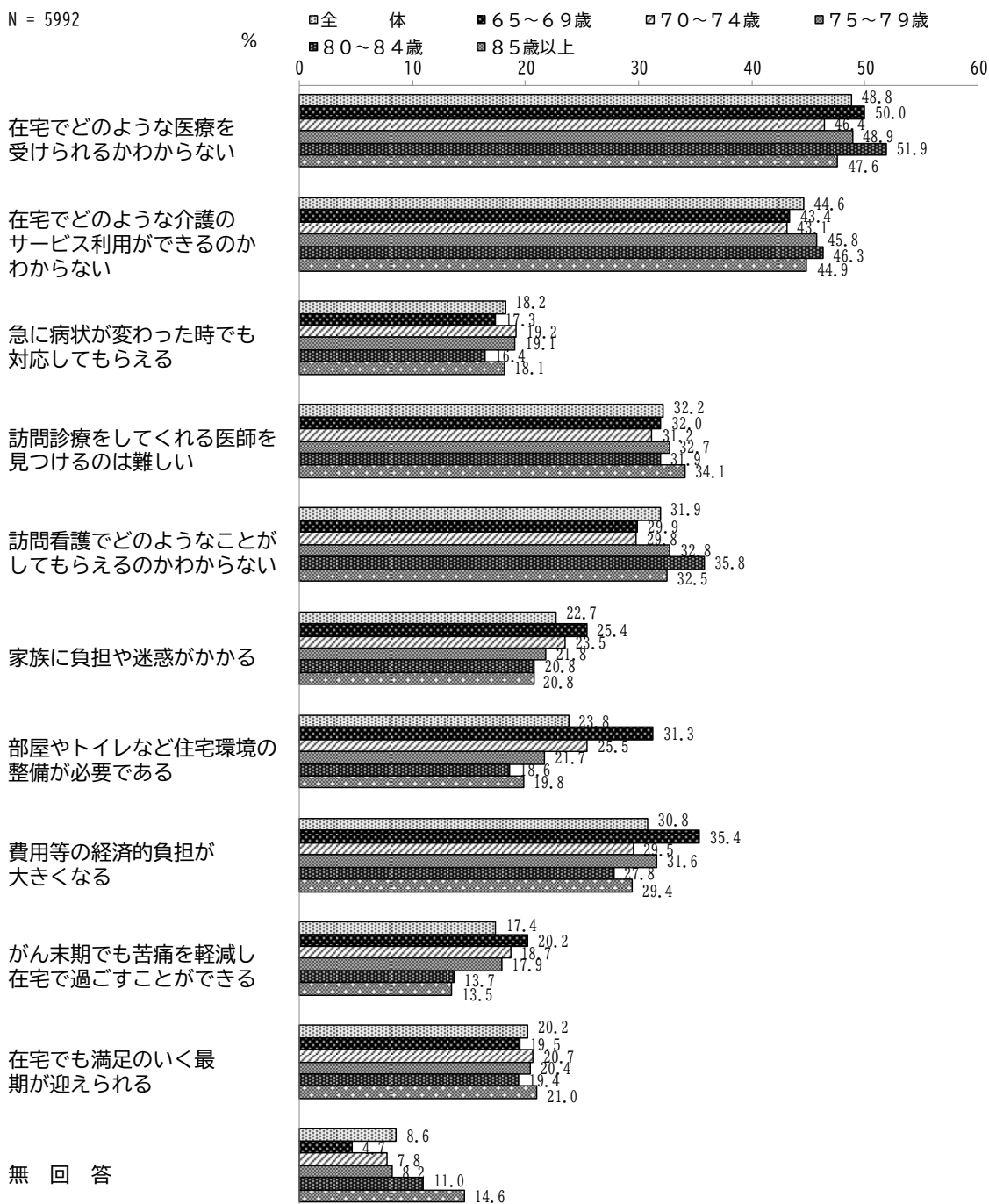
(○はいくつでも)

【全 体】

在宅で医療・介護を受けるイメージについては、「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」が48.8%と最も高く、次いで「在宅でどのような介護のサービス利用ができるのかわからない」が44.6%、「訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい」が32.2%、「訪問看護でどのようなことがしてもらえるのかわからない」が31.9%、「費用等の経済的負担が大きくなる」が30.8%と続いています。

【年齢別】

すべての年代で「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」が最も高く、次いで「在宅でどのような介護のサービス利用ができるのかわからない」となっています。また、「65～69歳」で、「部屋やトイレなど住宅環境の整備が必要である」(31.3%)、「費用等の経済的負担が大きくなる」(35.4%)が他の年代より高くなっています。



【性別】

「男性」で、「在宅でどのような医療を受けられるかわからない」(55.4%)、「在宅でどのような介護のサービス利用ができるのかわからない」(50.5%)と女性より高く、「女性」では、「急に病状が変わった時でも対応してもらえる」(21.7%)、「がん末期でも苦痛を軽減し在宅で過ごすことができる」(21.3%)、「在宅でも満足のいく最期を迎えられる」(23.3%)と男性より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	在宅でどのような医療を受けられるかわからない	在宅でどのような介護のサービス利用ができるのかわからない	急に病状が変わった時でも対応してもらえる	訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい	訪問看護でどのようなことができるかわからない
男性	2670	1478	1348	371	846	912
	100.0	55.4	50.5	13.9	31.7	34.2
女性	3316	1444	1321	719	1080	999
	100.0	43.5	39.8	21.7	32.6	30.1

	家族に負担や迷惑がかかる	部屋やトイレなど住宅環境の整備が必要である	費用等の経済的負担が大きくなる	がん末期でも苦痛を軽減し在宅で過ごすことができる	在宅でも満足のいく最期を迎えられる	無回答
男性	550	581	829	333	434	211
	20.6	21.8	31.0	12.5	16.3	7.9
女性	807	847	1018	706	774	303
	24.3	25.5	30.7	21.3	23.3	9.1

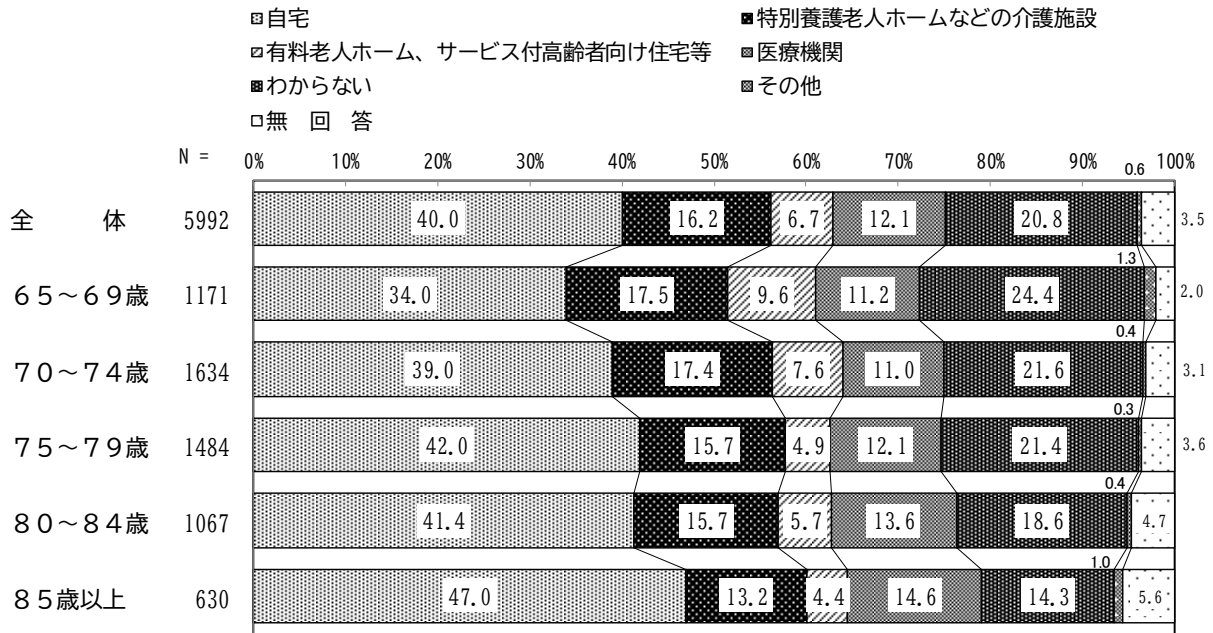
(3) あなたが加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいですか
(○は一つ)

【全 体】

加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、過ごしたい場所については、「自宅」が40.0%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設」が16.2%、「医療機関」が12.1%、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等」が6.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「自宅」が高くなる傾向で、「85歳以上」で47.0%となっています。



【性 別】

「男性」、「女性」ともに「自宅」が最も高くなっていますが、「男性」で44.5%と「女性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等	医療機関	わからない	その他	無回答
男性	2670	1188	413	167	280	511	13	98
	100.0	44.5	15.5	6.3	10.5	19.1	0.5	3.7
女性	3316	1208	559	232	447	733	23	114
	100.0	36.4	16.9	7.0	13.5	22.1	0.7	3.4

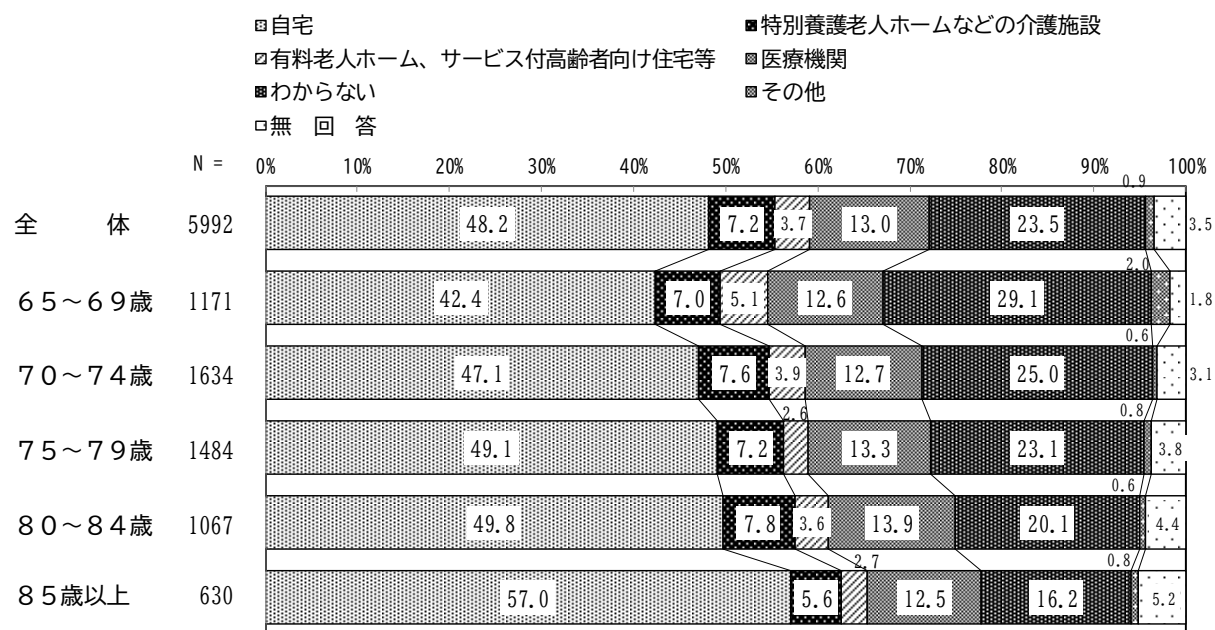
(4) 人生の最期をどこで迎えたいですか (○は一つ)

【全 体】

人生の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が48.2%と最も高く、次いで「医療機関」が13.0%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が7.2%、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等」が3.7%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「自宅」が高くなり、「85歳以上」で57.0%となっています。



【性 別】

「男性」、「女性」とともに「自宅」が最も高くなっていますが、「男性」で53.8%と「女性」より高くなっています。また、「女性」では、「医療機関」が15.2%と「男性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	自宅	特別養護老人ホーム などの介護施設	有料老人ホーム、 サービス付 高齢者向け住宅等	医療機関	わからない	その他	無回答
男性	2670	1437	164	80	277	593	22	97
	100.0	53.8	6.1	3.0	10.4	22.2	0.8	3.6
女性	3316	1446	268	138	503	815	34	112
	100.0	43.6	8.1	4.2	15.2	24.6	1.0	3.4

【家族構成別】

すべての家族構成で、「自宅」が最も高くなっていますが、「1人暮らし」では37.6%と低くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	自宅	特別養護老人ホーム などの介護施設	有料老人ホーム、 サービス付高齢者 向け住宅等	医療 機関	わから ない	その他	無回答
1人暮らし	1090	410	105	56	169	284	21	45
	100.0	37.6	9.6	5.1	15.5	26.1	1.9	4.1
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2486	1260	165	89	307	564	18	83
	100.0	50.7	6.6	3.6	12.3	22.7	0.7	3.3
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	282	146	21	10	26	69	1	9
	100.0	51.8	7.4	3.5	9.2	24.5	0.4	3.2
息子・娘との2世帯	970	479	59	31	136	223	9	33
	100.0	49.4	6.1	3.2	14.0	23.0	0.9	3.4
その他	1096	560	80	32	135	249	6	34
	100.0	51.1	7.3	2.9	12.3	22.7	0.5	3.1
無 回 答	68	31	2	1	7	21	1	5
	100.0	45.6	2.9	1.5	10.3	30.9	1.5	7.4

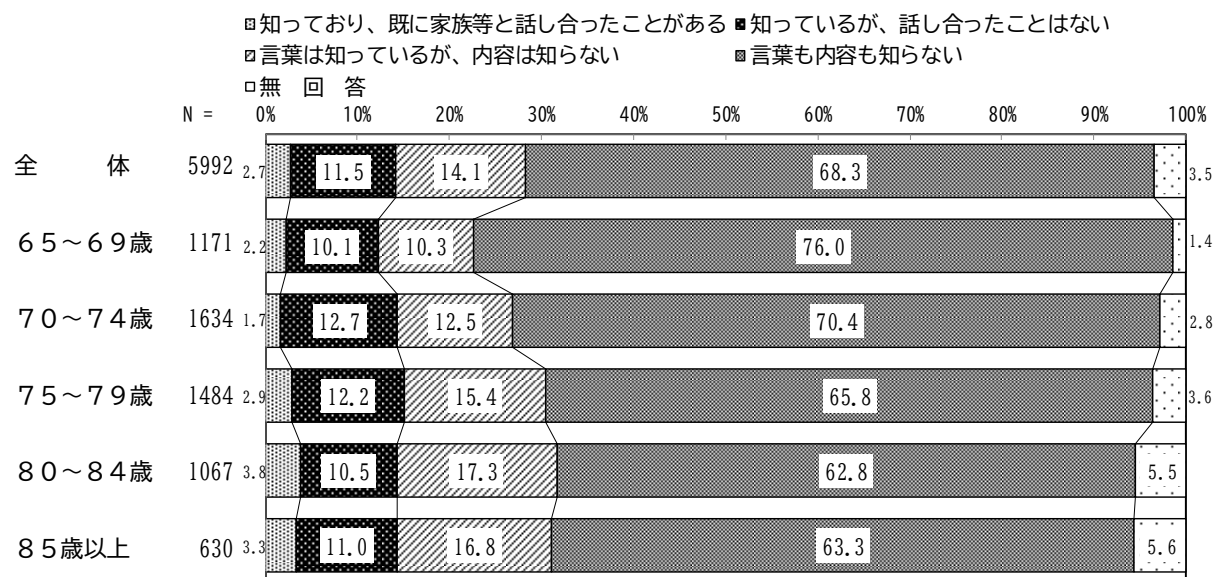
(5) 『人生会議(ACP)』について知っていますか (〇は一つ)

【全 体】

人生会議(ACP)の認知度については、「言葉も内容も知らない」が68.3%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容は知らない」が14.1%、「知っているが、話し合ったことはない」が11.5%、「知っており、既に家族等と話し合ったことがある」が2.7%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『知らない』が8割を超えています。



【家族構成別】

すべての家族構成で、「言葉は知っているが、内容は知らない」と「言葉も内容も知らない」を合わせた『知らない』は8割を超え高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	知っており、既に家族等と話し合ったことがある	知っているが、話し合ったことはない	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	無回答
1人暮らし	1090	40	132	145	728	45
	100.0	3.7	12.1	13.3	66.8	4.1
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	2486	55	287	376	1687	81
	100.0	2.2	11.5	15.1	67.9	3.3
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	282	7	27	32	205	11
	100.0	2.5	9.6	11.3	72.7	3.9
息子・娘との2世帯	970	29	129	140	642	30
	100.0	3.0	13.3	14.4	66.2	3.1
その他	1096	25	108	146	781	36
	100.0	2.3	9.9	13.3	71.3	3.3
無 回 答	68	3	4	6	49	6
	100.0	4.4	5.9	8.8	72.1	8.8

問11 介護予防について

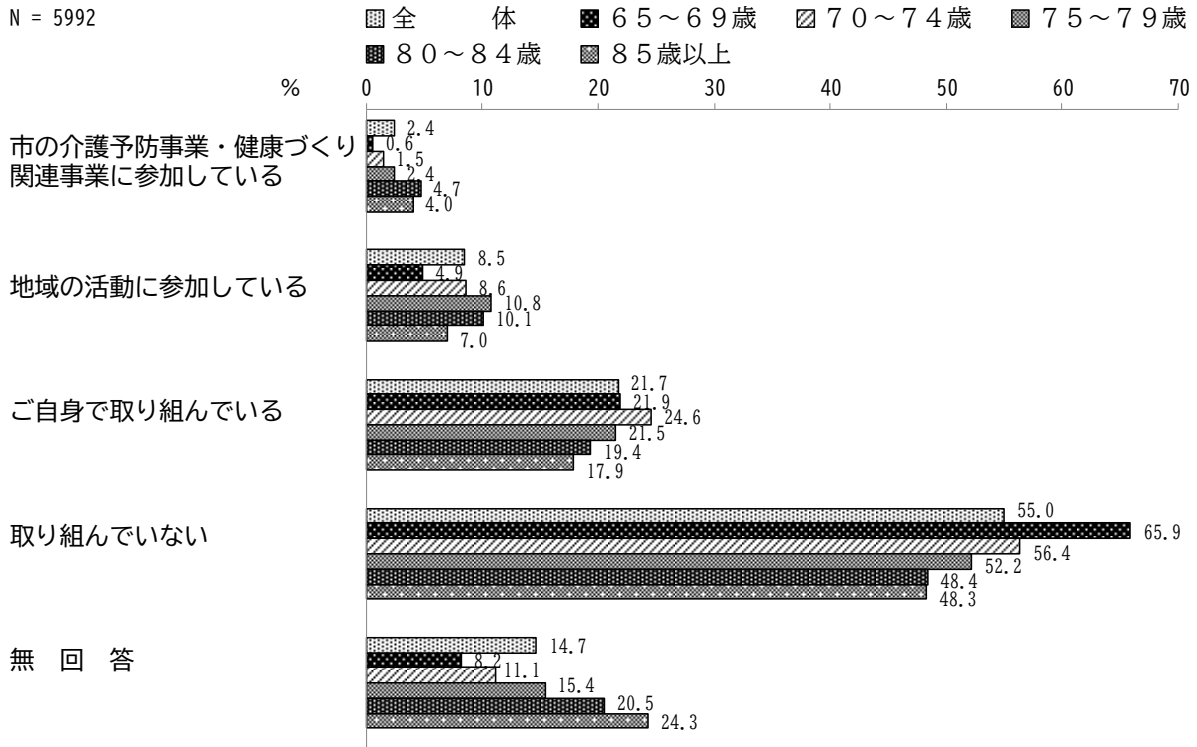
(1) 現在、どのように介護予防に取り組んでいますか (〇はいくつでも)

【全体】

介護予防に対する取組については、「取り組んでいない」が55.0%と最も高く、次いで「ご自身で取り組んでいる」が21.7%、「地域の活動に参加している」が8.5%、「市の介護予防事業・健康づくり関連事業に参加している」が2.4%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「取り組んでいない」が高く、「65～69歳」では65.9%となっています。



【性別】

「男性」、「女性」とともに「取り組んでいない」が最も高くなっていますが、「男性」で62.5%と「女性」を大きく上回っています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全体	市の介護予防事業・健康づくり関連事業に参加している	地域の活動に参加している	ご自身で取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
男性	2670 100.0	39 1.5	156 5.8	539 20.2	1670 62.5	313 11.7
女性	3316 100.0	103 3.1	354 10.7	758 22.9	1618 48.8	566 17.1

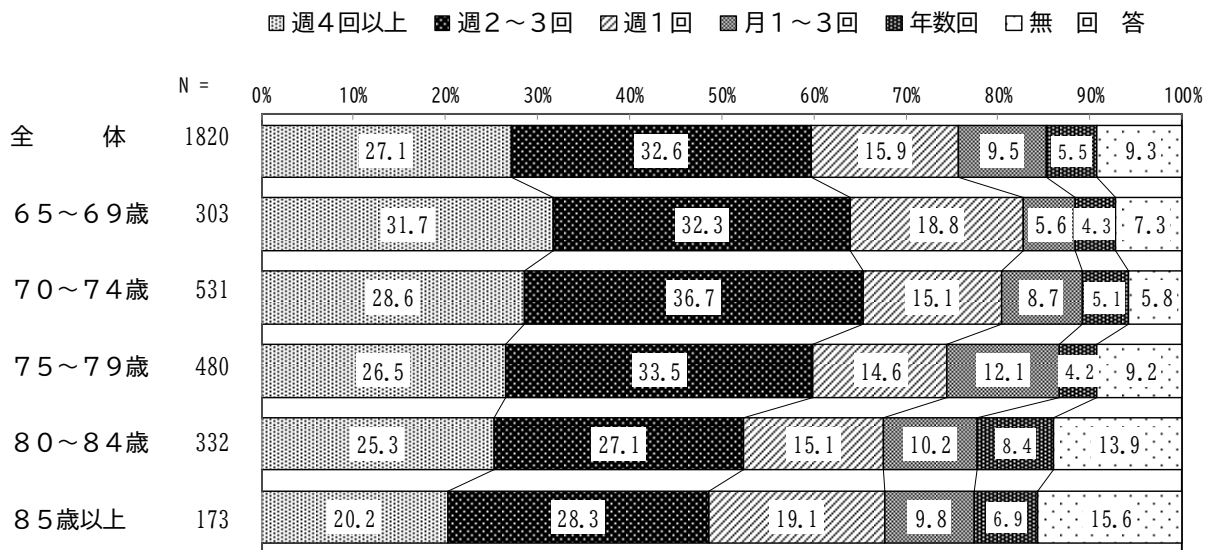
(1)① 頻度はどのくらいですか (〇は一つ)

【全 体】

「市の介護予防事業・健康づくり関連事業に参加している」、「地域の活動に参加している」、「ご自身で取り組んでいる」人の取組の頻度については、「週2～3回」が32.6%と最も高く、次いで「週4回以上」が27.1%、「週1回」が15.9%、「月1～3回」が9.5%、「年数回」が5.5%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「週4回以上」、「週2～3回」の頻度は低くなる傾向があり、「85歳以上」では「週4回以上」、「週2～3回」はそれぞれ20.2%、28.3%となっています。



【性 別】

「男性」では、「週4回以上」が32.6%、「女性」では、「週2～3回」が33.9%と最も高くなっています。また、「週4回以上」は、「男性」が「女性」より高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年数回	無回答
男性	687	224	209	92	63	43	56
	100.0	32.6	30.4	13.4	9.2	6.3	8.2
女性	1132	270	384	198	109	57	114
	100.0	23.9	33.9	17.5	9.6	5.0	10.1

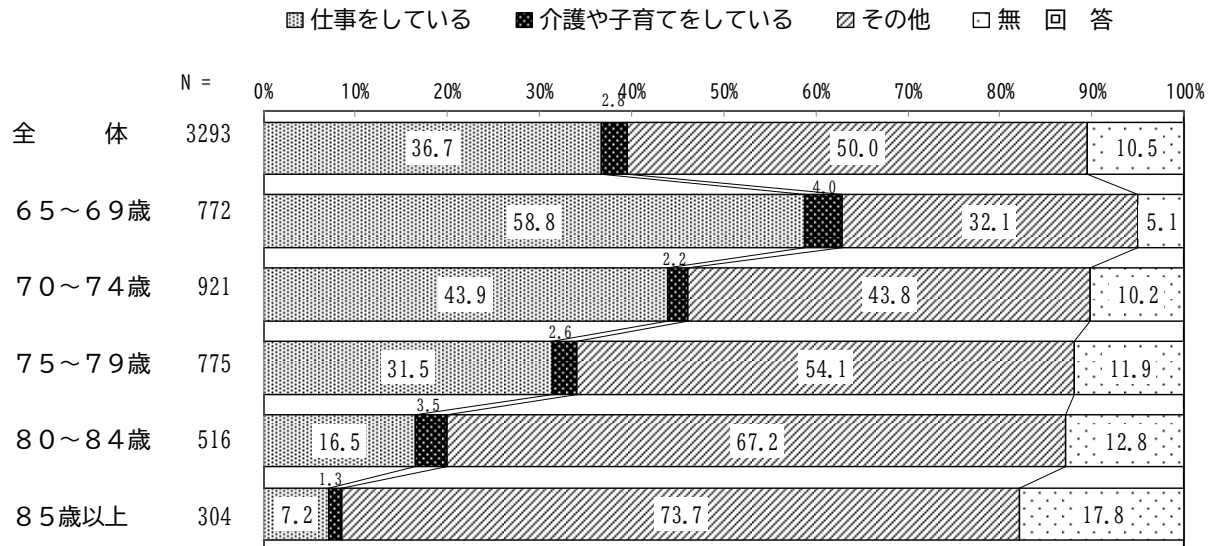
(1)② 取り組んでいない理由について教えてください (〇は一つ)

【全 体】

介護予防に取り組んでいない理由については、「仕事をしている」が36.7%、「介護や子育てをしている」が2.8%となっています。また、「その他」では、「元気なので必要性を感じない」、「健康上の問題」、「どのように取り組めばよいのかわからない」などの理由が多くなっています。

【年齢別】

年齢が下がるにつれて「仕事をしている」が高く、「65～69歳」で58.8%となっています。



(2) 市の介護予防事業で知っているものはありますか (〇はいくつでも)

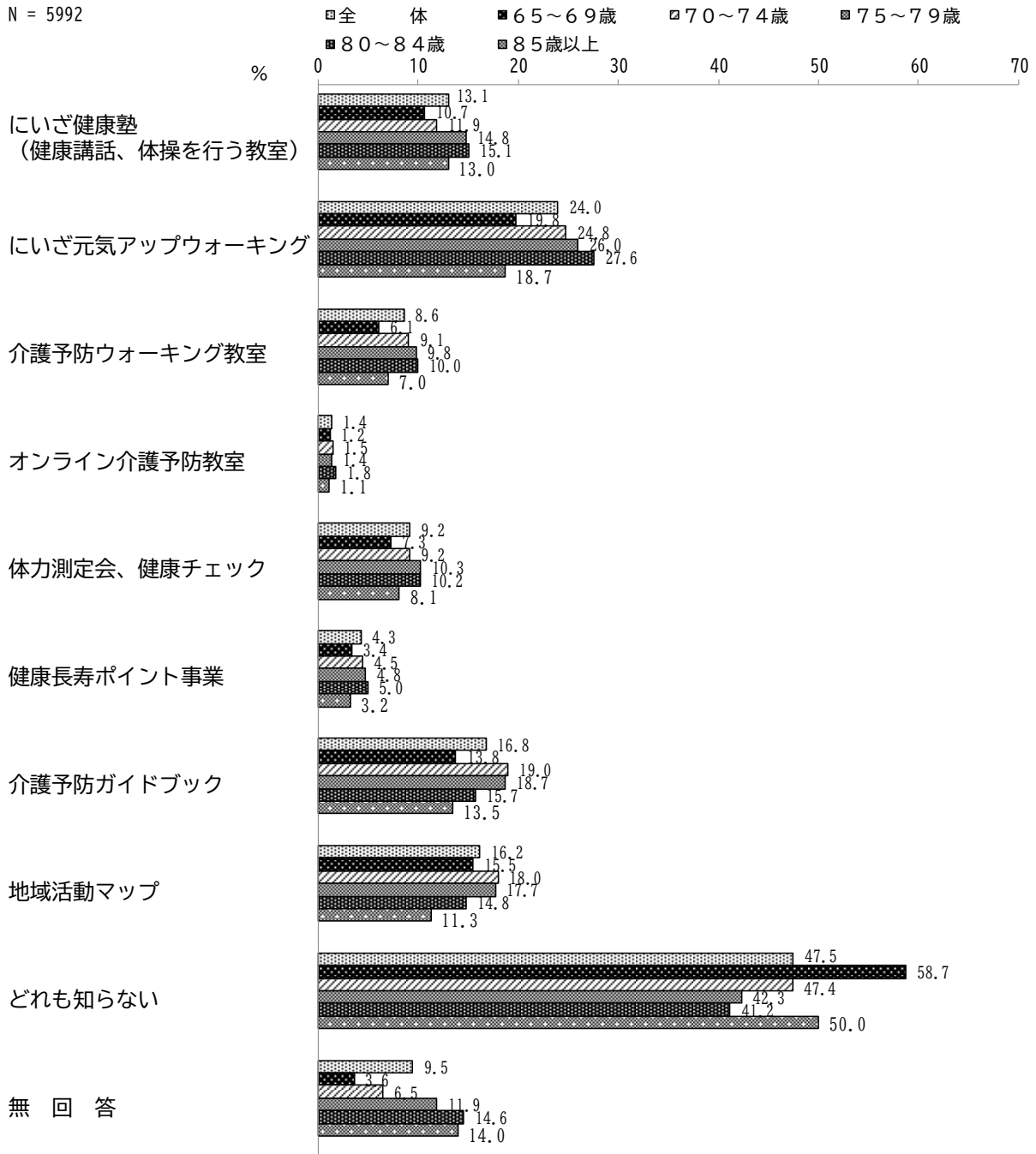
【全 体】

知っている市の介護予防事業については、「にいぎ元気アップウォーキング」が24.0%と最も高く、次いで「介護予防ガイドブック」が16.8%、「地域活動マップ」が16.2%、「にいぎ健康塾（健康講話、体操を行う教室）」が13.1%と続いています。

なお、「どれも知らない」は47.5%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「どれも知らない」が高く、「65～69歳」では58.7%となっています。



【性別】

「どれも知らない」を除くすべての項目で、「女性」が高く、特に「にいざ元気アップウォーキング」は、「女性」が29.4%と「男性」を大きく上回っています。

一方、「どれも知らない」は、「男性」で56.4%と特に高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	にいざ健康塾 (健康講話、体操を行う教室)	にいざ元気アップ ウォーキング	介護予防 ウォーキング教室	オンライン 介護予防教室	体力測定会、 健康チェック
男性	2670	219	461	163	25	195
	100.0	8.2	17.3	6.1	0.9	7.3
女性	3316	562	975	353	61	354
	100.0	16.9	29.4	10.6	1.8	10.7

	健康長寿ポイント事業	介護予防 ガイドブック	地域活動マップ	どれも知らない	無回答
男性	82	372	386	1507	236
	3.1	13.9	14.5	56.4	8.8
女性	176	631	582	1336	332
	5.3	19.0	17.6	40.3	10.0

(3) 次の項目の中で、日常的に困っていることはありますか (〇はいくつでも)

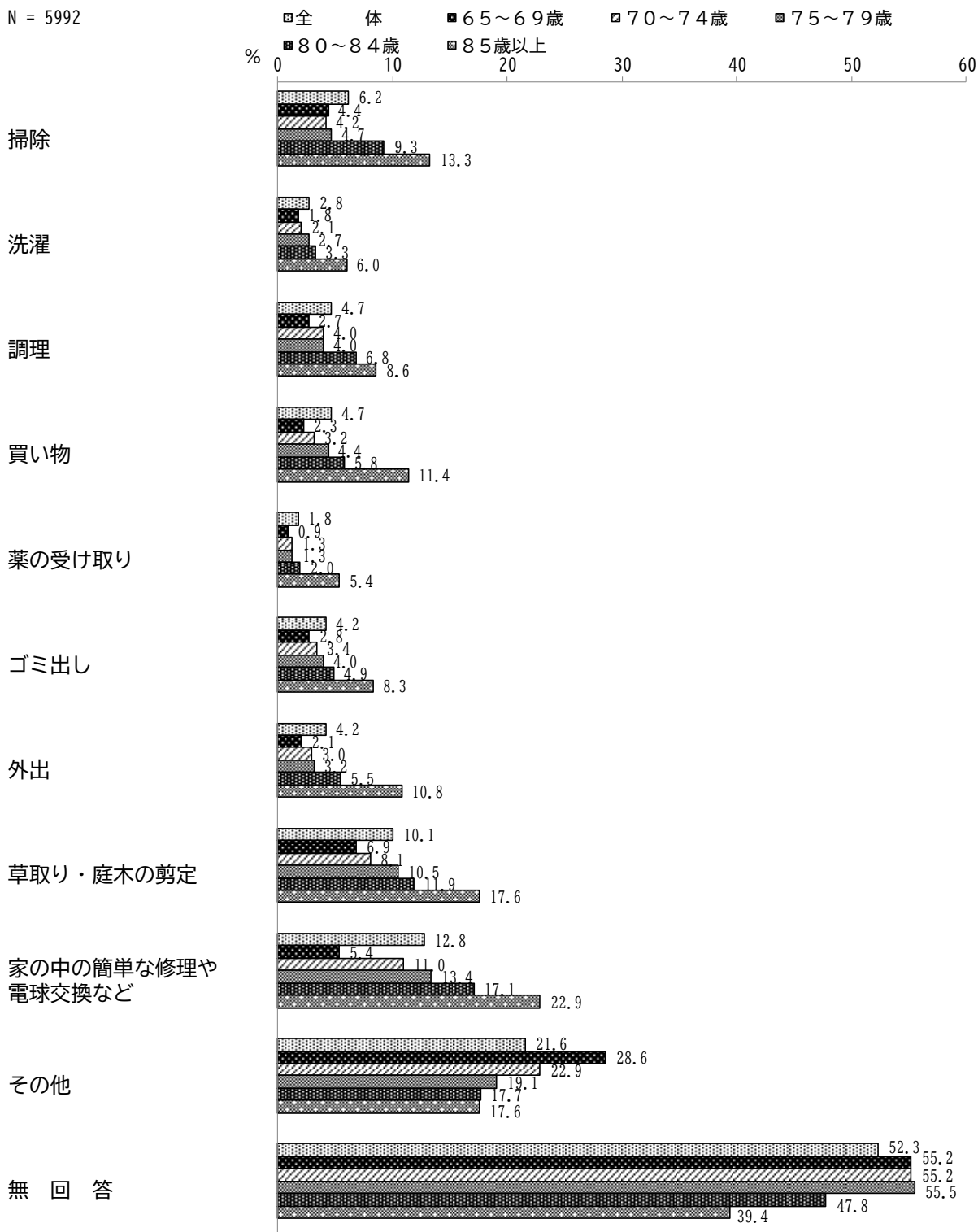
【全 体】

日常的に困っていることについては、「家の中の簡単な修理や電球交換など」が 12.8%と最も高く、次いで「草取り・庭木の剪定」が 10.1%、「掃除」が 6.2%と続いています。

【年齢別】

すべての項目で、「85歳以上」が高くなっており、「家の中の簡単な修理や電球交換など」、「草取り・庭木の剪定」はそれぞれ 22.9%、17.6%となっています。

N = 5992



【性別】

「女性」で、「家の中の簡単な修理や電球交換など」が17.7%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	掃除	洗濯	調理	買い物	薬の受け取り	ゴミ出し
男性	2670	180	93	174	112	52	114
	100.0	6.7	3.5	6.5	4.2	1.9	4.3
女性	3316	192	76	109	167	54	137
	100.0	5.8	2.3	3.3	5.0	1.6	4.1

	外出	草取り・庭木の 剪定	家の中の簡単な 修理や電球交換など	その他	無回答
男性	112	232	179	672	1397
	4.2	8.7	6.7	25.2	52.3
女性	137	375	588	621	1732
	4.1	11.3	17.7	18.7	52.2

【圏域別】

圏域による大きな違いはありません。

(単位 上段：人、下段：%)

		全 体	掃除	洗濯	調理	買い物	菓の受け取り
東部第一		904	65	38	54	48	19
		100.0	7.2	4.2	6.0	5.3	2.1
東部第二		930	70	29	51	51	26
		100.0	7.5	3.1	5.5	5.5	2.8
西 部	西部	605	40	20	26	30	10
		100.0	6.6	3.3	4.3	5.0	1.7
	西新	605	34	13	24	20	10
		100.0	5.6	2.1	4.0	3.3	1.7
南部		917	56	23	39	40	14
		100.0	6.1	2.5	4.3	4.4	1.5
北 部 第 一	東・東北	440	16	6	10	25	3
		100.0	3.6	1.4	2.3	5.7	0.7
	野火止五～ 八丁目	653	44	18	31	30	11
		100.0	6.7	2.8	4.7	4.6	1.7
北部第二		932	47	22	48	35	13
		100.0	5.0	2.4	5.2	3.8	1.4

		ゴミ出し	外出	草取り・庭木の 剪定	家の中の簡単な修理や 電球交換など	その他	無回答
東部第一		44	30	119	120	191	457
		4.9	3.3	13.2	13.3	21.1	50.6
東部第二		43	52	94	109	194	491
		4.6	5.6	10.1	11.7	20.9	52.8
西 部	西部	25	26	61	71	126	338
		4.1	4.3	10.1	11.7	20.8	55.9
	西新	21	29	73	76	128	316
		3.5	4.8	12.1	12.6	21.2	52.2
南部		39	36	107	134	215	443
		4.3	3.9	11.7	14.6	23.4	48.3
北 部 第 一	東・東北	16	17	38	65	105	223
		3.6	3.9	8.6	14.8	23.9	50.7
	野火止五 ～八丁目	25	22	47	59	145	364
		3.8	3.4	7.2	9.0	22.2	55.7
北部第二		38	37	68	133	189	497
		4.1	4.0	7.3	14.3	20.3	53.3

(4) 次の項目の中で、参加してみたいものはありますか (〇はいくつでも)

【全 体】

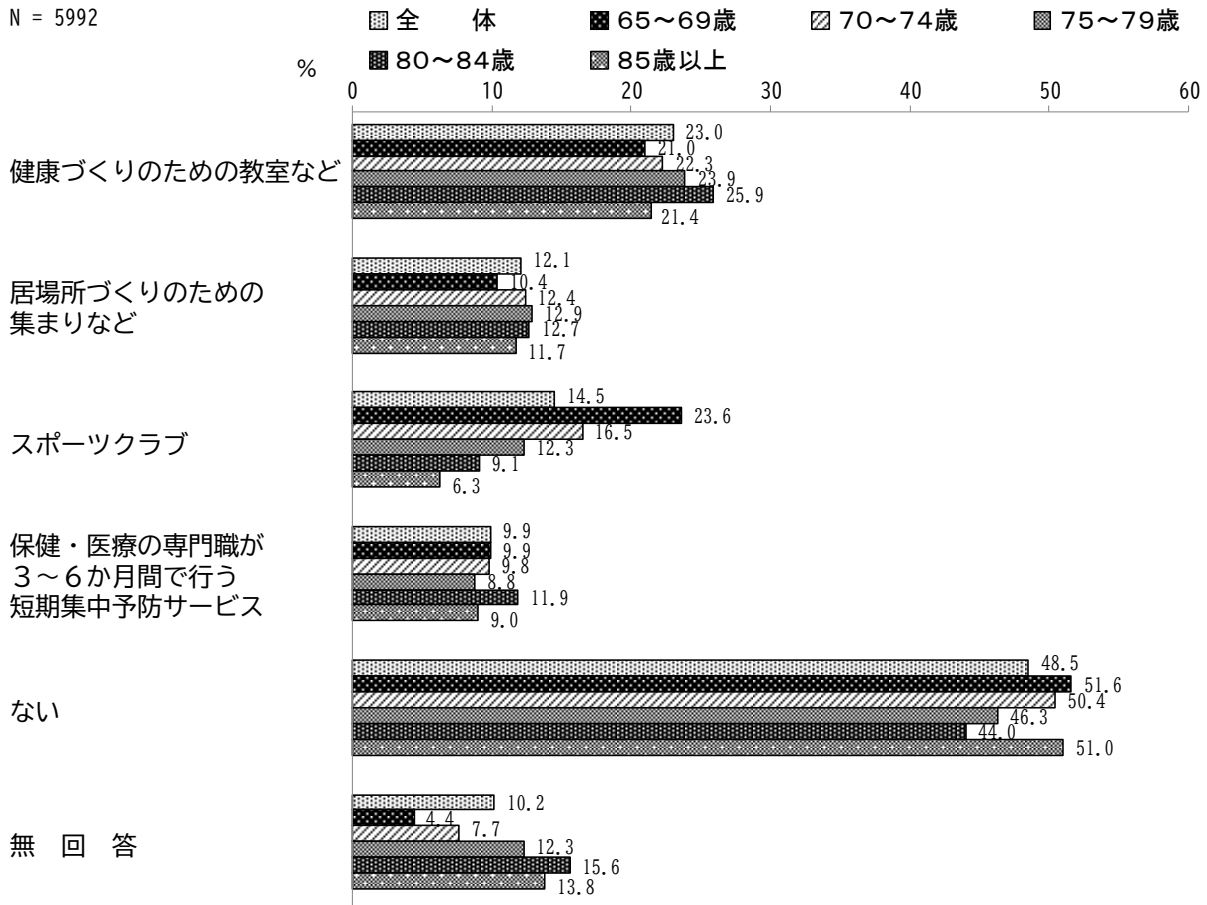
参加してみたいものについては、「健康づくりのための教室など」が23.0%と最も高く、次いで「スポーツクラブ」が14.5%、「居場所づくりのための集まりなど」が12.1%、「保健・医療の専門職が3～6か月間で行う短期集中予防サービス」が9.9%となっています。

なお、「ない」は48.5%となっています。

【年齢別】

すべての年代で「ない」が最も高くなっています。また、「65～69歳」では「スポーツクラブ」が23.6%と高くなっています。

N = 5992



【性 別】

「スポーツクラブ」は「男性」で17.2%と「女性」より高く、「健康づくりのための教室など」、「居場所づくりのための集まりなど」は「女性」でそれぞれ27.3%、14.0%と「男性」より高くなっています。

なお、「ない」は、「男性」で53.8%と高くなっています。

(単位 上段：人、下段：%)

	全 体	健康づくりのための教室など	居場所づくりのための集まりなど	スポーツクラブ	保健・医療専門職による短期集中予防サービス	ない	無回答
男性	2670	471	262	459	197	1436	258
	100.0	17.6	9.8	17.2	7.4	53.8	9.7
女性	3316	906	464	406	393	1469	355
	100.0	27.3	14.0	12.2	11.9	44.3	10.7

問 12 介護保険制度について

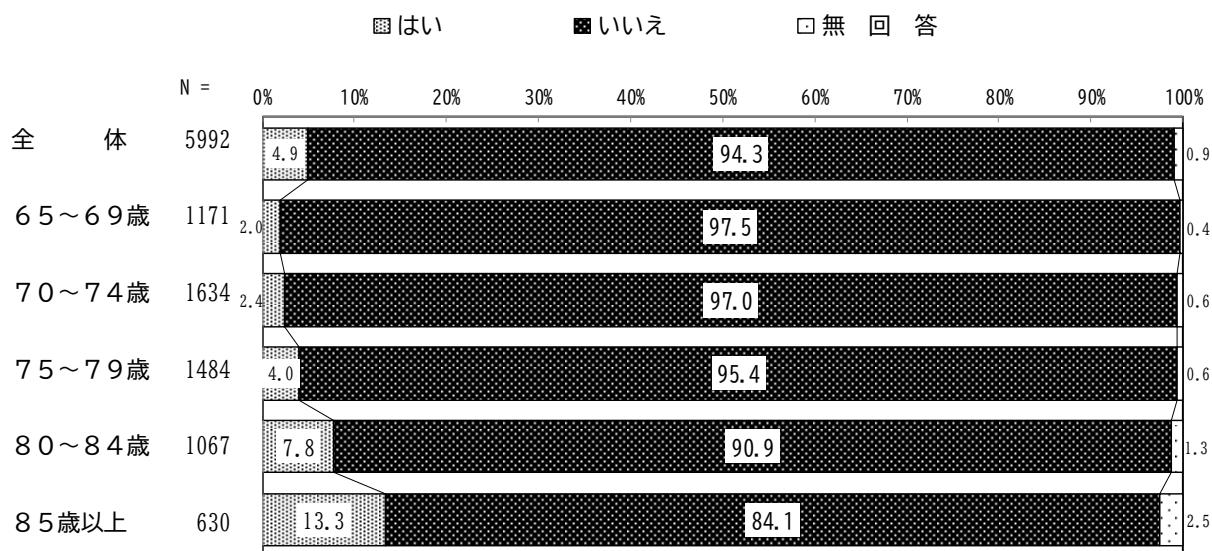
(1) 現在介護保険サービスを利用していますか (〇は一つ)

【全 体】

現在の介護保険サービスの利用状況については、「はい」が4.9%、「いいえ」が94.3%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「はい」が高くなり、「85歳以上」で13.3%となっています。



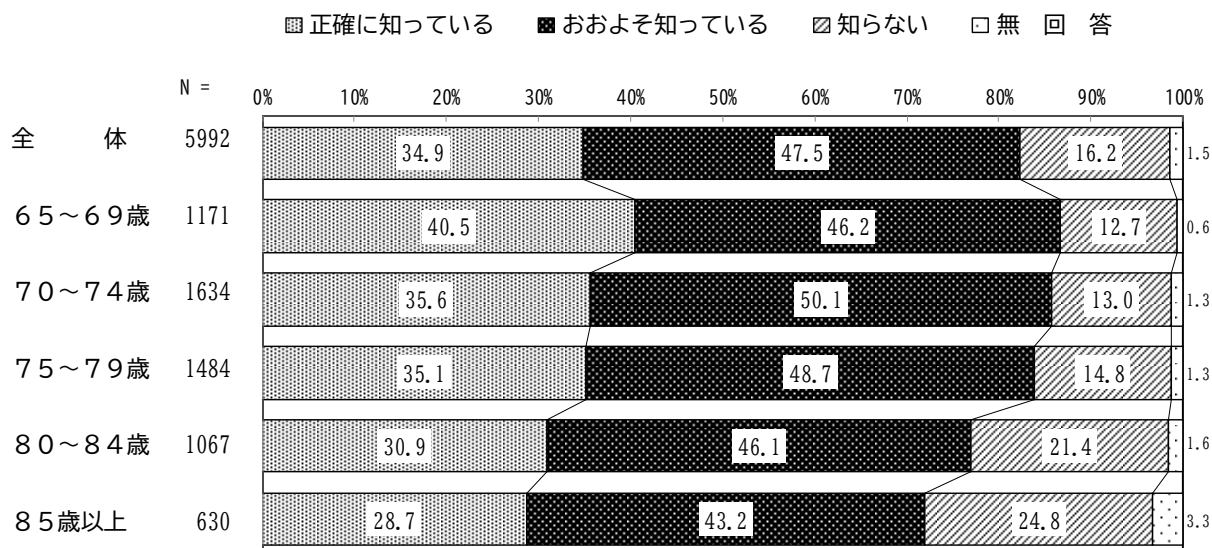
(2) あなたは、現在負担している介護保険料がいくらか知っていますか (〇は一つ)

【全 体】

現在負担している介護保険料を知っているかどうかについては、「正確に知っている」が34.9%、「おおよそ知っている」が47.5%、「知らない」が16.2%となっています。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて「知らない」が高くなり、「85歳以上」で24.8%となっています。



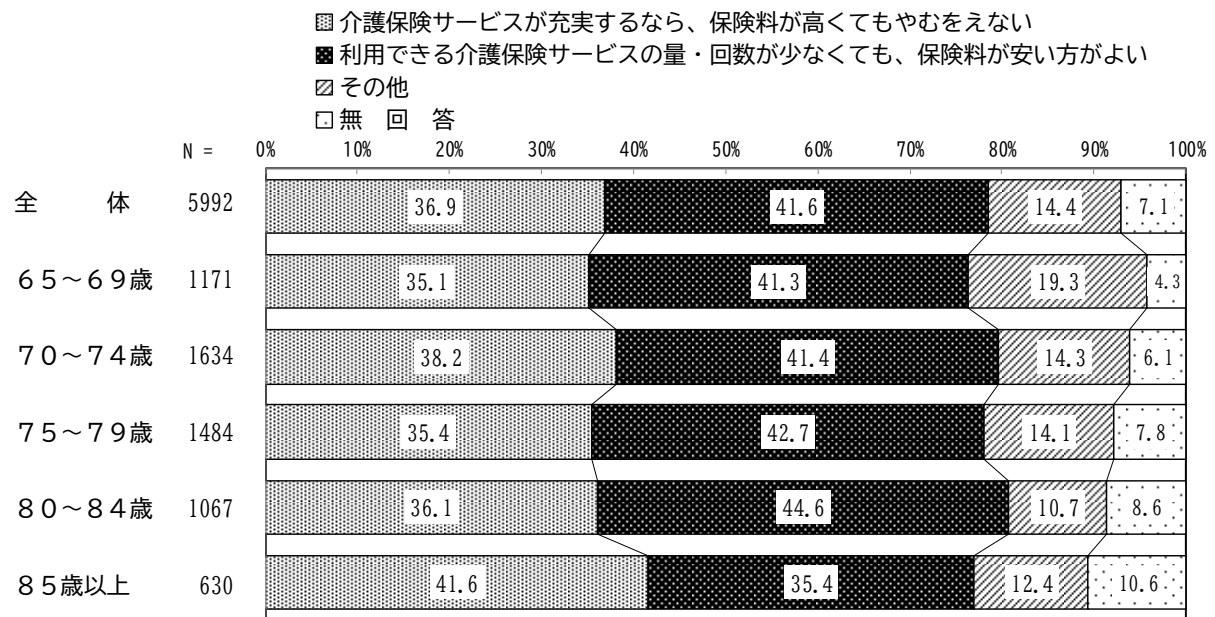
(3) 介護保険サービスと介護保険料の関係について、どのようにお考えですか(○は一つ)

【全 体】

介護保険サービスと介護保険料の関係についての考えについては、「介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてもやむをえない」が36.9%、「利用できる介護保険サービスの量・回数が少なくても、保険料が安い方がよい」が41.6%となっています。

【年齢別】

「85歳以上」で、「介護保険サービスが充実するなら、保険料が高くてもやむをえない」が41.6%と高く、「利用できる介護保険サービスの量・回数が少なくても、保険料が安い方がよい」が35.4%と低くなっています。



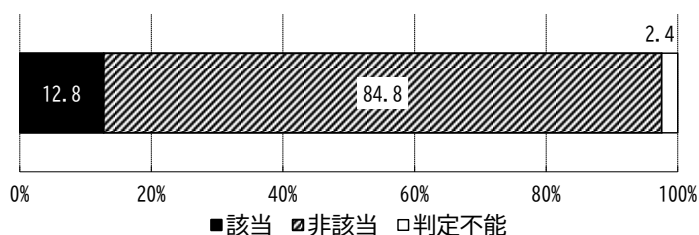
生活機能評価等について

本調査の設問項目は、「老研式活動能力指標」など、高齢者の生活機能等の状況を判定する項目が含まれています。これらの指標をもとに、生活機能等の分析を行います。

【生活機能評価について】

① 運動器機能低下

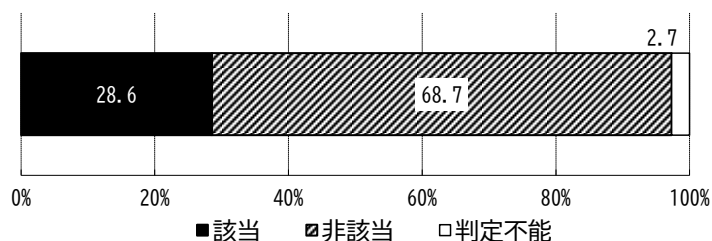
運動器機能低下については、「該当」が12.8%、「非該当」が84.8%となっています。



設問項目		回答				判定基準
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できるし、している	できるけどしていない	できない	3項目以上が該当	
		非該当		該当		
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できるし、している	できるけどしていない	できない		
		非該当		該当		
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか。	できるし、している	できるけどしていない	できない		
		非該当		該当		
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない		
		該当		非該当		
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	
		該当		非該当		

② 転倒リスク

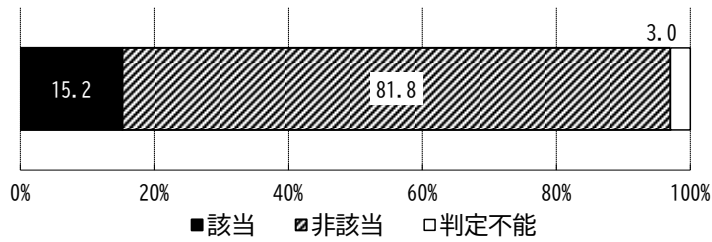
転倒リスクについては、「該当」が28.6%、「非該当」が68.7%となっています。



設問項目		回答			判定基準
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある	1度ある	ない	該当
		該当		非該当	

③ 閉じこもり傾向

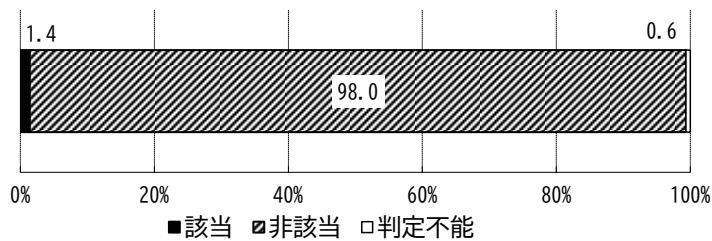
閉じこもり傾向については、「該当」が15.2%、「非該当」が81.8%となっています。



設問項目		回答				判定基準
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど 外出しない	週1回	週2~4回	週5回 以上	該当
		該当		非該当		

④ 低栄養状態

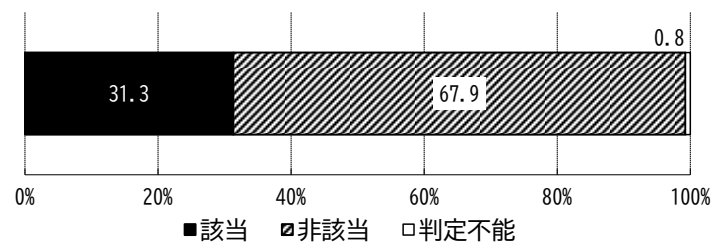
低栄養状態については、「該当」が1.4%、「非該当」が98.0%となっています。



設問項目		回答			判定基準
問3 (1)	BMI = 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))	18.5未満	18.5以上 25.0未満	25.0以上	2項目 ともに 該当
		該当	非該当	非該当	
問3 (7)	6か月間で2~3kg以上の体重 減少がありましたか。	はい	いいえ		
		該当	非該当		

⑤ 咀嚼機能低下

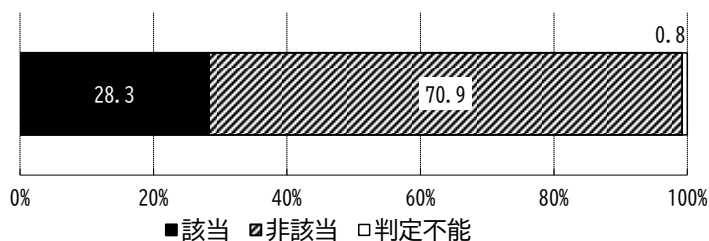
咀嚼機能低下については、「該当」が31.3%、「非該当」が67.9%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにく くなりましたか。	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

⑥ 嚥下機能低下

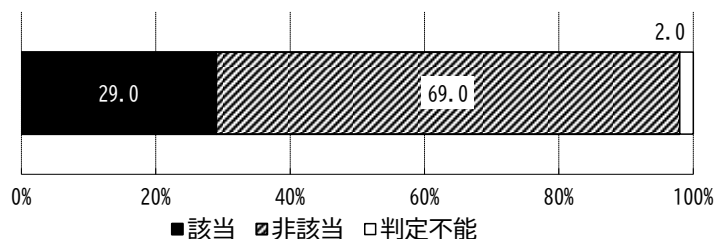
嚥下機能低下については、「該当」が28.3%、「非該当」が70.9%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

⑦ 肺炎リスク

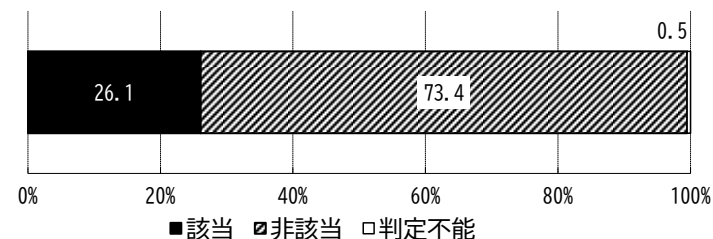
肺炎リスクについては、「該当」が29.0%、「非該当」が69.0%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3 (4)	口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ	該当
		該当	非該当	

⑧ 口腔機能低下

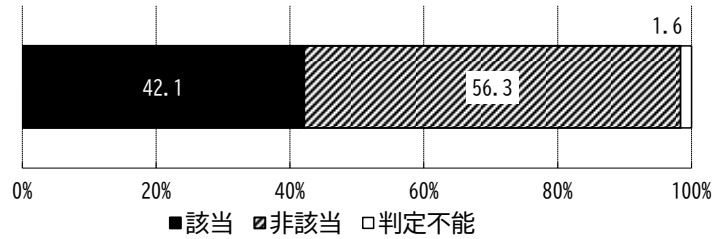
口腔機能低下については、「該当」が26.1%、「非該当」が73.4%となっています。



設問項目		回答		判定基準
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい	いいえ	2項目以上が該当
		該当	非該当	
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい	いいえ	
		該当	非該当	
問3 (4)	口の渇きが気になりますか。	はい	いいえ	
		該当	非該当	

⑨ 認知機能低下

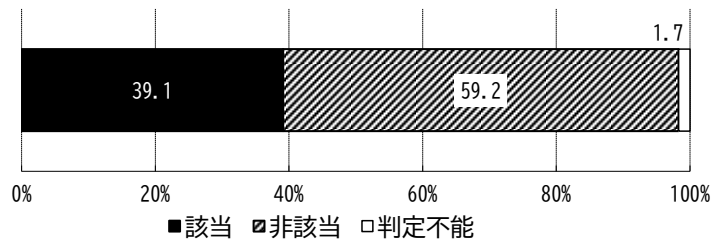
認知機能低下については、「該当」が42.1%、「非該当」が56.3%となっています。



設問項目		回答			判定基準
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか。	はい	いいえ		該当
		該当	非該当		

⑩ うつ傾向

うつ傾向については、「該当」が39.1%、「非該当」が59.2%となっています。



設問項目		回答			判定基準
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい	いいえ		1項目以上が該当
		該当	非該当		
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい	いいえ		
		該当	非該当		

◆性年齢別

性年齢別では、男性、女性の85歳以上で女性の「うつ傾向」を除くすべての項目で、該当率が高くなっています。また、85歳以上の性別でみると、すべての項目で女性が男性を上回っており、「運動器機能低下」(46.4%)、「閉じこもり傾向」(46.0%)、「咀嚼機能低下」(55.4%)、「肺炎リスク」(42.5%)は、男性を大きく上回っています。

性年齢別「該当率」

◆男性

(単位：%)

	運動器機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	咀嚼機能低下
男性全体	9.9	27.6	13.6	0.9	31.5
65～69歳	3.0	20.2	7.9	1.1	25.5
70～74歳	5.7	24.8	11.7	0.4	30.2
75～79歳	8.1	27.6	12.0	0.8	29.2
80～84歳	15.1	31.7	17.7	1.3	36.0
85歳以上	29.4	42.2	27.0	1.7	44.6
	嚥下機能低下	肺炎リスク	口腔機能低下	認知機能低下	うつ傾向
男性全体	27.3	27.1	25.5	40.0	36.4
65～69歳	23.9	25.0	20.7	32.3	40.1
70～74歳	24.7	25.7	23.4	38.3	33.6
75～79歳	28.7	27.6	25.2	40.2	33.5
80～84歳	28.2	28.9	26.9	44.4	36.9
85歳以上	36.0	30.8	38.8	52.2	42.2

※無回答を除く

◆女性

(単位：%)

	運動器機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養状態	咀嚼機能低下
女性全体	15.1	29.4	16.5	1.8	31.1
65～69歳	5.5	26.4	7.1	0.7	23.9
70～74歳	8.6	29.4	12.9	2.4	32.0
75～79歳	17.1	40.7	21.2	1.8	41.5
80～84歳	35.8	46.1	31.3	3.0	51.1
85歳以上	46.4	47.1	46.0	4.5	55.4
	嚥下機能低下	肺炎リスク	口腔機能低下	認知機能低下	うつ傾向
女性全体	29.2	30.5	26.6	43.8	41.3
65～69歳	26.7	27.1	21.4	38.9	45.0
70～74歳	26.7	26.2	21.8	37.3	36.8
75～79歳	29.1	29.1	25.2	39.9	40.4
80～84歳	30.0	36.0	32.0	53.9	43.9
85歳以上	39.0	42.5	42.2	61.6	44.6

※無回答を除く

【老研式活動能力指標による評価について】

「老研式活動能力指標」は、手段的自立(IADL)、知的能動性、社会的役割の3つの側面で構成された高次の生活機能評価指標です。本調査では、手段的自立評価を行いました。

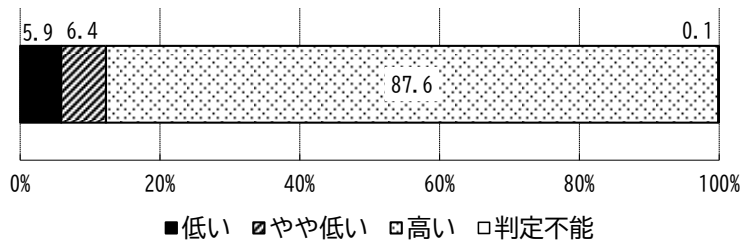
評価項目	設問項目		回答と点数					
	設問	内容	回答	点数	回答	点数	回答	点数
手段的自立評価	問4(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4(4)	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点
	問4(6)	自分で預貯金のお出し入れをしていますか	できるし、している	1点	できるけどしていない	1点	できない	0点

判定基準

評価項目	低い	やや低い	高い
手段的自立評価	3点以下	4点	5点

手段的自立評価の結果

手段的自立評価については、「該当」が12.3%（「低い」(5.9%)、「やや低い」(6.4%)）、「非該当」が87.6%（「高い」）となっています。



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査へのご協力について

皆さまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から新座市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、皆さまの日常生活の状況や保健、福祉、介護サービスに対するご要望やお考えをお伺いし、第9期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画策定のための重要な基礎資料及び介護予防や見守り事業に活用させていただくため、『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』を実施させていただくことになりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願いいたします。調査で収集した情報は健康情報という皆さまにとって大切な個人情報であるという認識に基づいて、新座市個人情報保護条例に基づく適正な取扱いをいたします。

令和5年1月 新座市

- 1 この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、65歳以上で、要介護1～5の認定を受けていない方です（要支援1・2の認定を受けている方は対象となります）。
- 2 この調査は、令和4年12月1日現在の状況でご回答ください。
- 3 ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族等がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
- 4 ご回答にあたっては、質問に従って、あてはまる回答の番号に○をつけてください。各設問に「○は一つ」、「○はいくつでも」など指定してありますので、それに従ってご回答ください。質問によっては、記述していただくものもあります。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに
1月31日（火）までにご投函ください。

〔お問合せ先〕

新座市 いきいき健康部 介護保険課

電話：048-424-5361（直通）

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきますので、予めご了承ください。

【個人情報の保護および活用目的について】

○この調査は、新座市の介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報を基に、無作為に抽出した対象者の方へ送付しています。

○本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定、効果的な介護予防政策の立案、効果評価の基礎資料として利用いたします。また、当該情報については、市で適切に管理いたします。

○上記の基礎資料利用時には、市が保有する介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報とともに利用・分析させていただきます。

○介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

記 入 日	令和 5 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄：_____）	
3. その他	

問1 あなたのご家族や生活状況について

（1）家族構成をお教えてください（○は一つ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は一つ）

- | |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない [(3)へ] |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない [①へ] |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている [①・②へ]
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（〇はいくつでも）

1. 脳卒中（ <small>のうそっちゅう</small> 脳出血・ <small>のうしゅつけつ</small> 脳梗塞等）	2. 心臓病	3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（ <small>はいきしゆ</small> 肺気腫・肺炎等）	5. 関節の病気（リウマチ等）	
6. 認知症（ <small>にんちしやう</small> アルツハイマー病等）	7. パーキンソン病	
8. 糖尿病（ <small>とうにようびやう</small> ）	9. 腎疾患（ <small>じんしつかん</small> 透析）	10. 視覚・聴覚障がい（ <small>しかく ちやうかく</small> ）
11. 骨折・転倒（ <small>こっせつ てんとう</small> ）	12. 脊椎損傷（ <small>せきついそんしやう</small> ）	13. 高齢による衰弱（ <small>すいじやく</small> ）
14. その他（		）15. 不明

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか（〇はいくつでも）

1. 配偶者（夫・妻）	2. 息子	3. 娘	4. 子の配偶者
5. 孫	6. 兄弟・姉妹	7. 介護サービスのヘルパー	
8. その他（			）

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（〇は一つ）

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(3) 15分位続けて歩いていますか（〇は一つ）

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか（〇は一つ）

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

(5) 転倒に対する不安は大きいですか（〇は一つ）

1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は一つ)

1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2~4回	4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は一つ)

1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○は一つ)

1. はい	2. いいえ [(9)へ]
-------	---------------

① 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

1. 病気	2. 障 <small>しょう</small> がい (脳卒中 <small>のうそっちゅう</small> の後遺症 <small>こういししょう</small> など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障がい (聞こえの問題など)	6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. 感染症等の不安
11. その他 ()	

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	
12. タクシー	13. その他 ()	

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 _____ cm	体重 _____ kg
-------------	-------------

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は一つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は一つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) 口の渇きが気になりますか (○は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は一つ)

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。
※インプラントや差し歯は、自分の歯として数えてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(6) 歯科健診をどのくらいの頻度で受けていますか (○は一つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 半年に1回以上受けている | 2. 1年に1回程度受けている |
| 3. 数年に1回受けている | 4. 受けていない |

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は一つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は一つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は一つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は一つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は一つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は一つ)

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください (それぞれ○は一つ)

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場※	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

※「⑤ 介護予防のための通いの場」とは、月1回以上の頻度で、健康づくりを目的として、住民が主体的に取り組んでいる活動のことです。

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は一つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している
------------	------------	------------	-------------

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか (○は一つ)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している
------------	------------	------------	-------------

問6 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手をお教えてください
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 高齢者相談センター・市役所 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(〇は一つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6. ボランティア等の活動での友人 | 7. その他 | 8. いない |

(8) 今後、あなたが安心して日常生活を送るためには、どのような見守りが必要だと思いますか (〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 同居家族による見守り・安否確認 |
| 2. 近隣の家族・親族による定期的な訪問・声掛け |
| 3. 近隣の友人・知人による定期的な訪問・声掛け |
| 4. 福祉や医療などの専門職による定期的な訪問・声掛け |
| 5. 配食サービスなどの事業者による定期的な訪問・声掛け |
| 6. 家族・親族による機械 (ドアセンサー等) を使った見守り・安否確認 |
| 7. その他 () |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は一つ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (〇は一つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸 ←—————→ とても幸せ										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は一つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか (〇は一つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病	
15. 認知症 (アルツハイマー病など)	16. パーキンソン病	
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (〇は一つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (〇は一つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問9 成年後見制度の把握について

(1) 成年後見制度について知っていますか (〇は一つ)

※ 成年後見制度とは、認知症や知的障がいなどの理由で、判断能力が不十分な方の財産の管理や契約などを行う時、家庭裁判所に選任された成年後見人などが、援助する制度です。

1. 制度の内容を知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、制度の内容は知らない
3. 名前も制度の内容も知らない

(2) あなたやあなたの家族・知人が次のような状態になった時、成年後見制度を「利用したい」あるいは「利用をすすめたい」と思いますか (〇はいくつでも)

1. 福祉サービスの利用等の手続きが難しくなった時
2. 金銭管理等の判断が難しくなった時
3. 売買契約等の判断が難しくなった時
4. 利用したくない、あるいは利用をすすめたいとは思わない

問10 在宅医療について

(1) 在宅医療について知っていますか (〇は一つ)

1. 知っており、自分もしくは家族が利用したことがある
2. 知っているが、自分もしくは家族が利用したことはない
3. 言葉は知っているが、内容は知らない
4. 言葉も内容も知らない

(2) 在宅で医療・介護を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか (〇はいくつでも)

1. 在宅でどのような医療を受けられるかわからない
2. 在宅でどのような介護のサービス利用ができるかわからない
3. 急に病状が変わった時でも対応してもらえる
4. 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい
5. 訪問看護でどのようなことがしてもらえるかわからない
6. 家族に負担や迷惑がかかる
7. 療養できる部屋や風呂・トイレなど住宅環境の整備が必要である
8. 費用等の経済的負担が大きくなる
9. がん末期でも痛みなどの苦痛を軽減しながら在宅で過ごすことができる
10. 在宅でも満足のいく最期を迎えられる

(3) あなたが加齢や病気によって医療や介護が必要になった時、どこで過ごしたいですか (〇は一つ)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 自宅 | 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 | |
| 4. 医療機関 | 5. わからない 6. その他 () |

(4) 人生の最期をどこで迎えたいですか (〇は一つ)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 自宅 | 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 |
| 3. 有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等 | |
| 4. 医療機関 | 5. わからない 6. その他 () |

(5) 『人生会議(ACP)』について知っていますか (〇は一つ)

※『人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)』とは、もしもの時のために、あなたが望む医療・ケアについて、前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組みです。

1. 知っており、既に家族等と話し合ったことがある
2. 知っているが、話し合ったことはない
3. 言葉は知っているが、内容は知らない
4. 言葉も内容も知らない

問11 介護予防について

(1) 現在、どのように介護予防に取り組んでいますか (〇はいくつでも)

1. 市の介護予防事業・健康づくり関連事業に参加している [①へ]
2. 地域の活動に参加している (例: 町内会、サークル活動、サロン等) [①へ]
3. ご自身で取り組んでいる [①へ]
4. 取り組んでいない [②へ]

① 頻度(複数の活動に取り組んでいる場合は合計)はどのくらいですか (〇は一つ)

1. 週4回以上
2. 週2~3回
3. 週1回
4. 月1~3回
5. 年数回

② 取り組んでいない理由についてお教えてください (〇は一つ)

1. 仕事をしている
2. 介護や子育てをしている
3. その他 ()

(2) 市の介護予防事業で知っているものはありますか (〇はいくつでも)

1. にいざ健康塾 (健康講話、体操を行う教室)
2. にいざ元気アップウォーキング
3. 介護予防ウォーキング教室
4. オンライン介護予防教室 (タブレットやパソコン等を使用して、自宅で受講する教室)
5. 体力測定会、健康チェック
6. 健康長寿ポイント事業
7. 介護予防ガイドブック
8. 地域活動マップ (サークルや町内会等の地域で活動する団体を掲載した冊子)
9. どれも知らない

(3) 次の項目の中で、日常的に困っていることはありますか (〇はいくつでも)

1. 掃除
2. 洗濯
3. 調理
4. 買い物
5. 薬の受け取り
6. ゴミ出し
7. 外出
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他 ()

(4) 次の項目の中で、参加してみたいものはありますか (〇はいくつでも)

1. 健康づくりのための教室など
2. 居場所づくりのための集まり (サロン、サークル) など
3. スポーツクラブ
4. 保健・医療の専門職が3~6か月間で行う短期集中予防サービス
5. ない

第2章

在宅介護実態調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、要介護認定を受けている高齢者の方々の日常生活の状況や介護サービスに対するご要望や今後の意向、介護者の介護の状況をお伺いし、第9期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画の策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査対象者

在宅で生活している要介護・要支援認定を受けている方のうち、更新申請及び区分変更申請に伴う認定調査を受けた方とその主な介護者の方

3. 調査方法

- ①認定調査員による聞き取り調査
- ②郵送による配布・回収

4. 実施期間

- ①令和4年 7月4日 ～ 令和4年12月28日
- ②令和4年12月2日 ～ 令和4年12月19日

5. 回収結果

調査方法	有効回収数
認定調査員による聞き取り調査	289
郵送による配布・回収	154
合 計	443

6. 報告書を読むにあたっての留意点

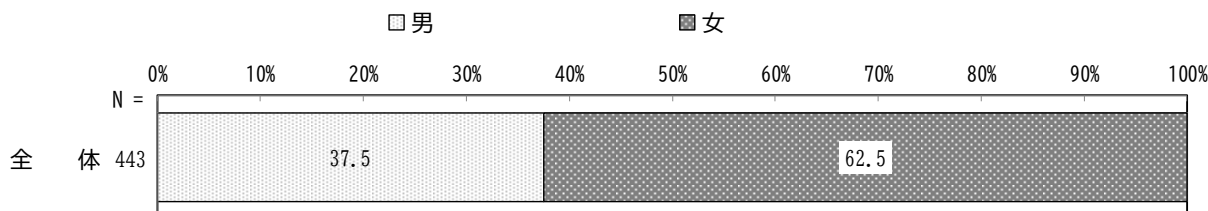
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表しています。
- 「N」は、症例数のことで、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
また、複数回答（2つ以上選択）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

Ⅱ 調査結果

1. 対象者の基本属性

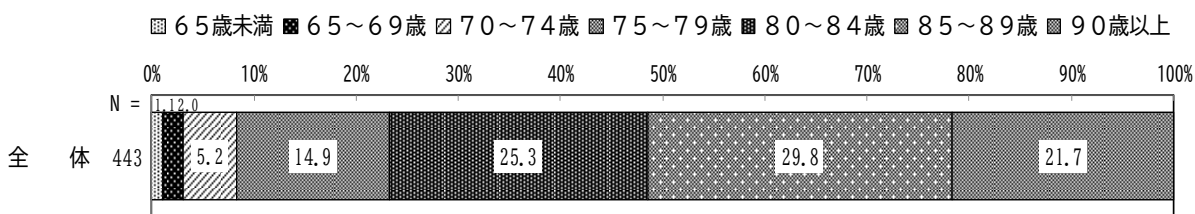
【性別】

「男性」が37.5%、「女性」が62.5%となっています。



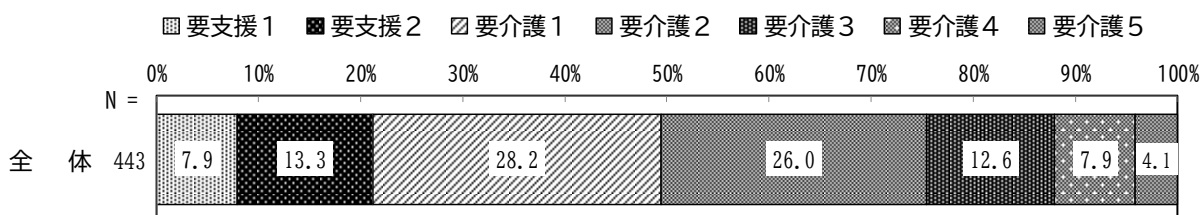
【年齢別】

「85～89歳」が29.8%と最も高く、次いで「80～84歳」が25.3%、「90歳以上」が21.7%、「75～79歳」が14.9%と続いています。



【介護度別】

「要介護1」が28.2%と最も高く、次いで「要介護2」が26.0%、「要支援2」が13.3%、「要介護3」が12.6%と続いています。



2. ご本人に回答していただいた項目

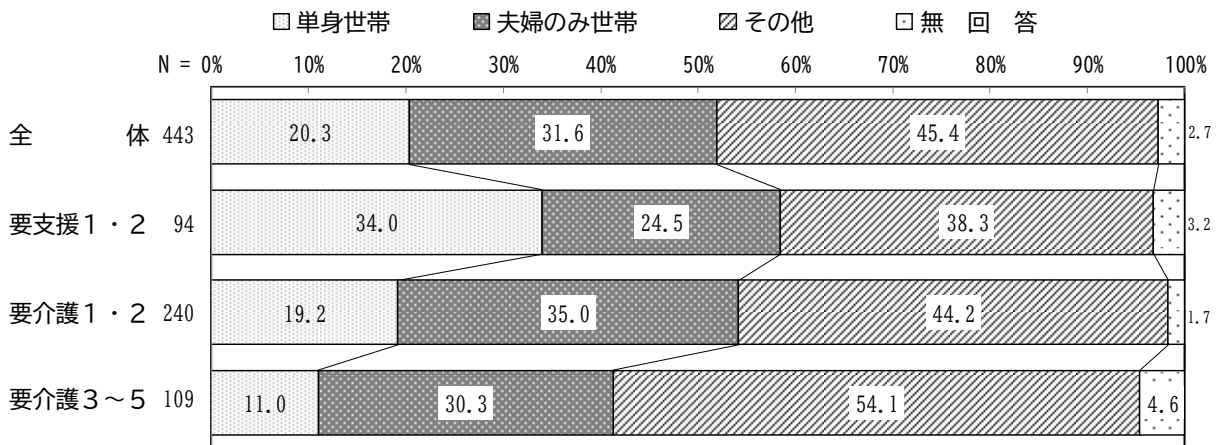
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

【全 体】

世帯類型については、「単身世帯」が20.3%、「夫婦のみ世帯」が31.6%、「その他」が45.4%となっています。

【要介護度別】

「要支援1・2」では、「単身世帯」が34.0%、「要介護1・2」では、「夫婦のみ世帯」が35.0%と高くなっています。



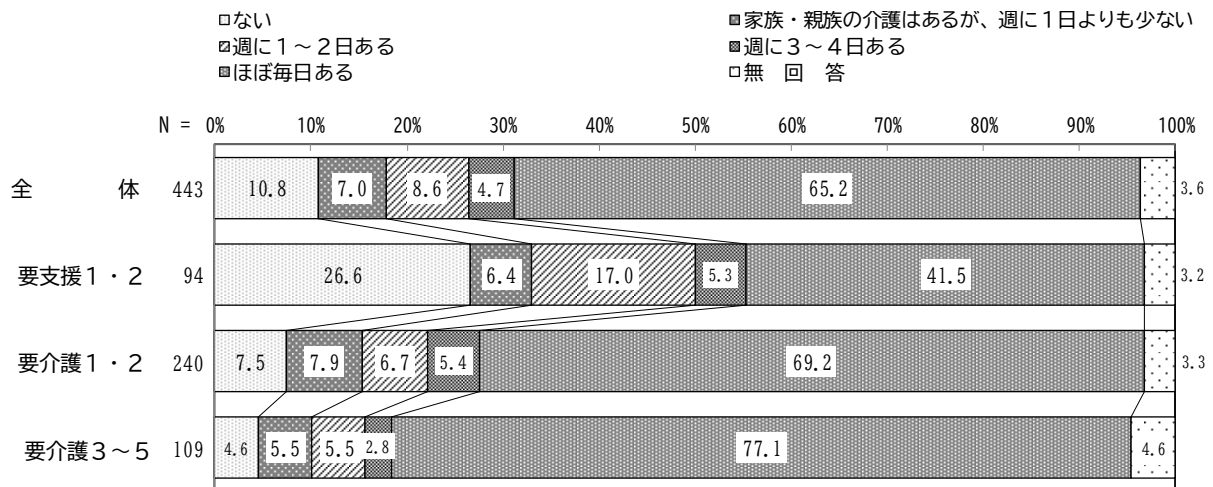
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

【全 体】

家族や親族による介護(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)の頻度については、「ほぼ毎日ある」が65.2%と最も高く、次いで「週に1~2日ある」が8.6%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が7.0%、「週に3~4日ある」が4.7%となっています。
なお、「ない」は10.8%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「ほぼ毎日ある」が高くなり、「要介護3~5」では77.1%となっています。また、「要支援1・2」では、「ない」が26.6%、「週に1~2日ある」が17.0%と高くなっています。



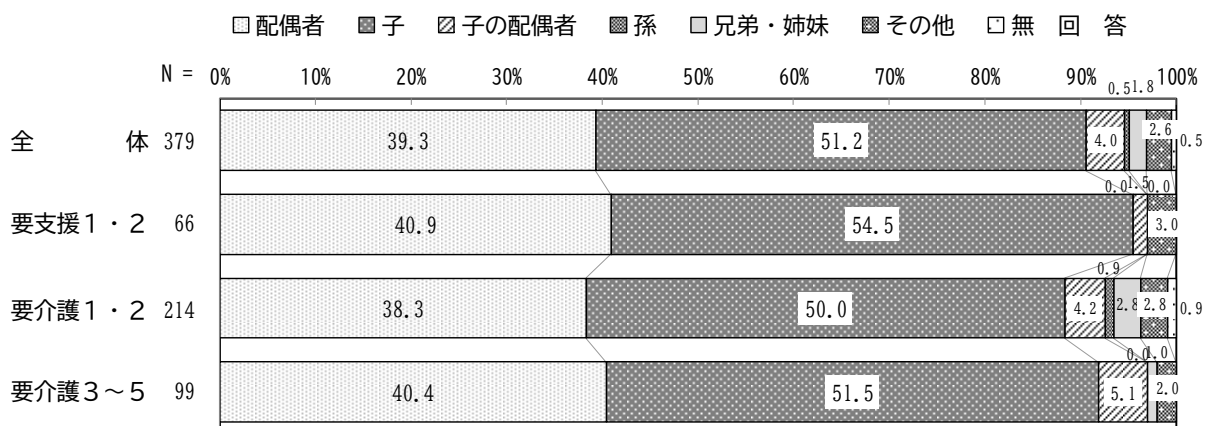
問3 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)

【全 体】

主な介護者との関係については、「子」が51.2%と最も高く、次いで「配偶者」が39.3%、「子の配偶者」が4.0%、「兄弟・姉妹」が1.8%、「孫」が0.5%となっています。

【要介護度別】

すべての介護度で、「配偶者」が4割前後、「子」が5割台となっています。



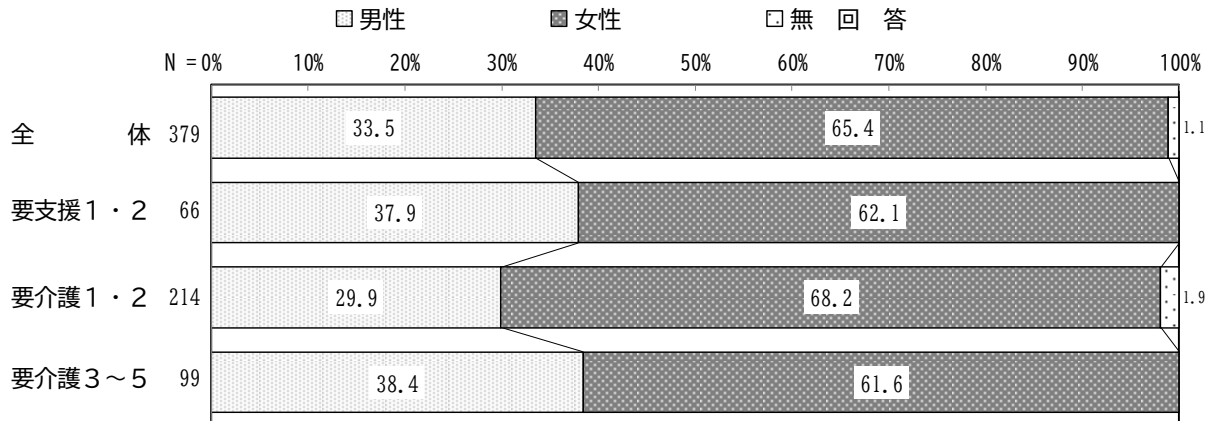
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

【全 体】

主な介護者の性別については、「男性」が33.5%、「女性」が65.4%となっています。

【要介護度別】

すべての介護度で「男性」より「女性」が高くなっていますが、「要介護1・2」では、「女性」が68.2%と特に高くなっています。



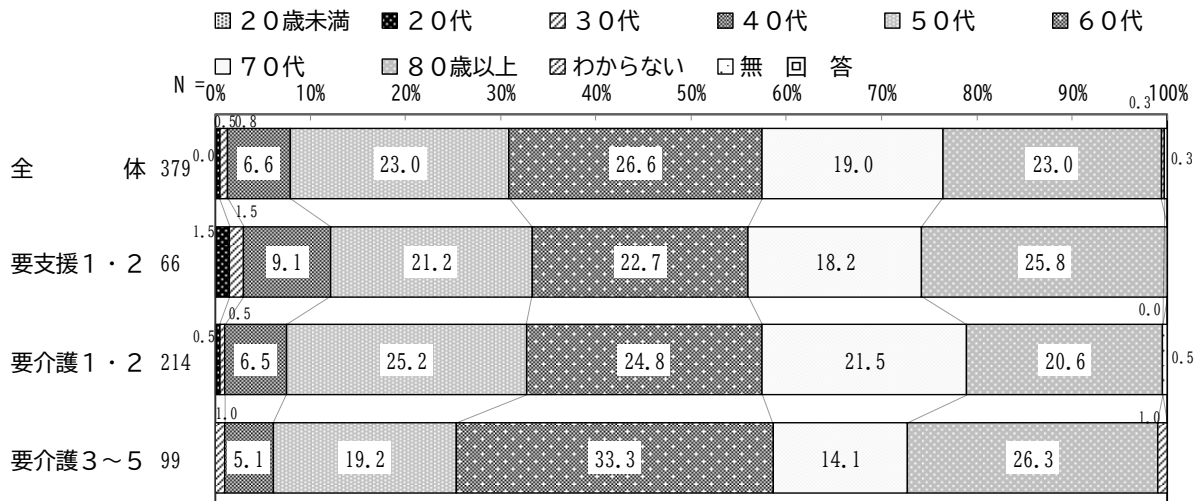
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

【全 体】

主な介護者の年齢については、「60代」が26.6%と最も高く、次いで「50代」、「80歳以上」がともに23.0%、「70代」が19.0%、「40代」が6.6%と続いています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「60代」が高くなり、「要介護3～5」では33.3%となっています。また、「80歳以上」では、「要支援1・2」、「要介護3～5」でそれぞれ25.8%、26.3%と高くなっています。



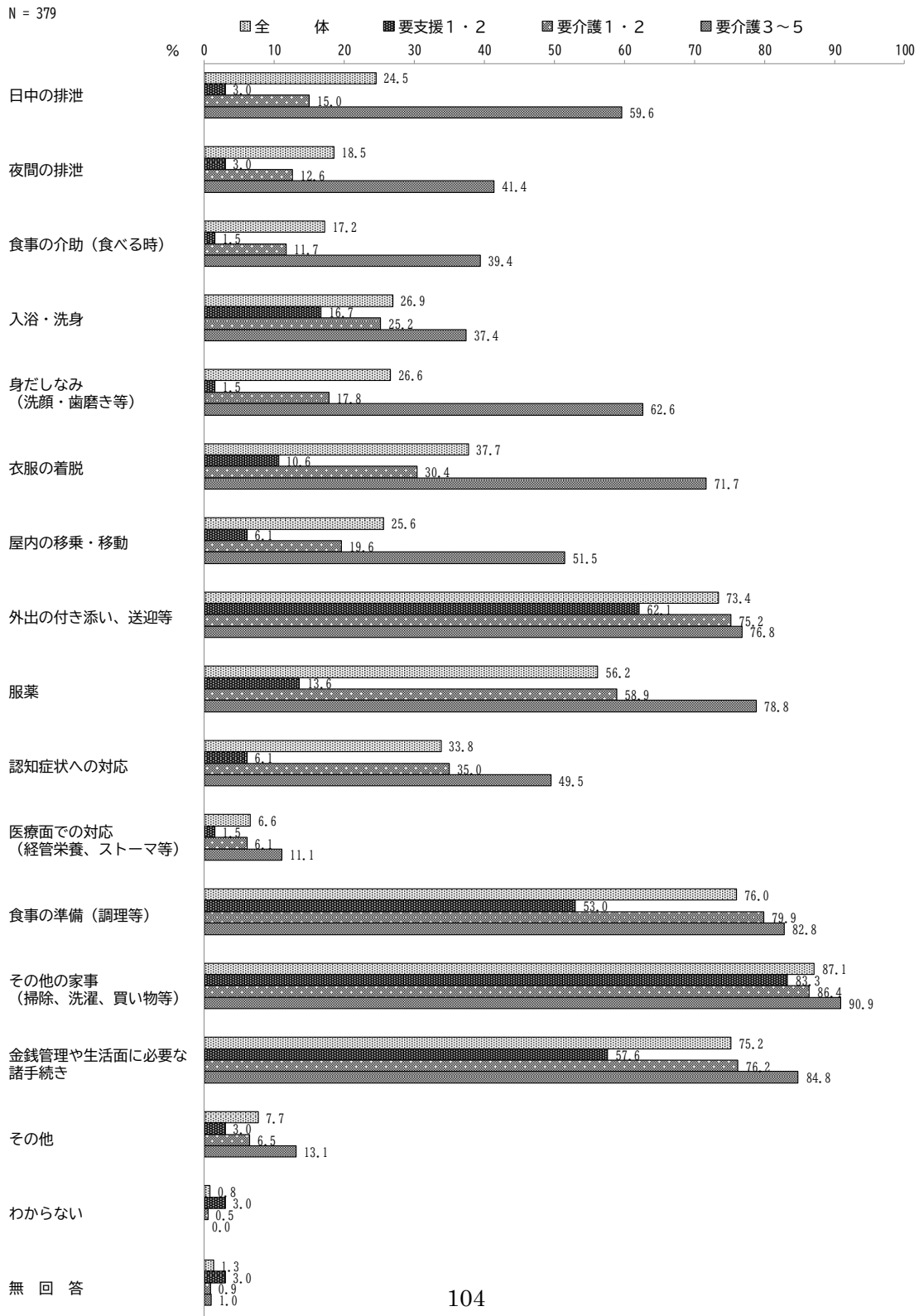
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

【全 体】

主な介護者が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が87.1%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」が76.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.2%、「外出の付き添い、送迎等」が73.4%、「服薬」が56.2%と続いています。

【要介護度別】

すべての項目で「要介護3～5」が高くなっています。特に、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「身だしなみ（洗顔、歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「服薬」、「認知症状への対応」は、「要支援1・2」、「要介護1・2」に比べ特に高くなっています。



【勤務形態別】

すべての勤務形態で、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備(調理等)」、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」がほぼ7割以上と高くなっています。また、ほとんどの項目で「働いていない」が高くなっています。

(単位：%)

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱
フルタイムで働いている	99	18.2	13.1	15.2	26.3	22.2	33.3
パートタイムで働いている	68	17.6	11.8	11.8	23.5	27.9	32.4
働いていない	187	33.2	25.7	21.4	31.0	31.6	45.5

	屋内の移乗・ 移動	外出の 付き添い、送迎等	服薬	認知症状 への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)
フルタイムで働いている	25.3	74.7	51.5	33.3	3.0	69.7
パートタイムで働いている	22.1	75.0	55.9	38.2	5.9	75.0
働いていない	28.9	72.7	65.2	36.4	7.5	83.4

	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
フルタイムで働いている	84.8	71.7	8.1	2.0	1.0
パートタイムで働いている	86.8	77.9	-	-	2.9
働いていない	90.9	82.4	10.2	0.5	-

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

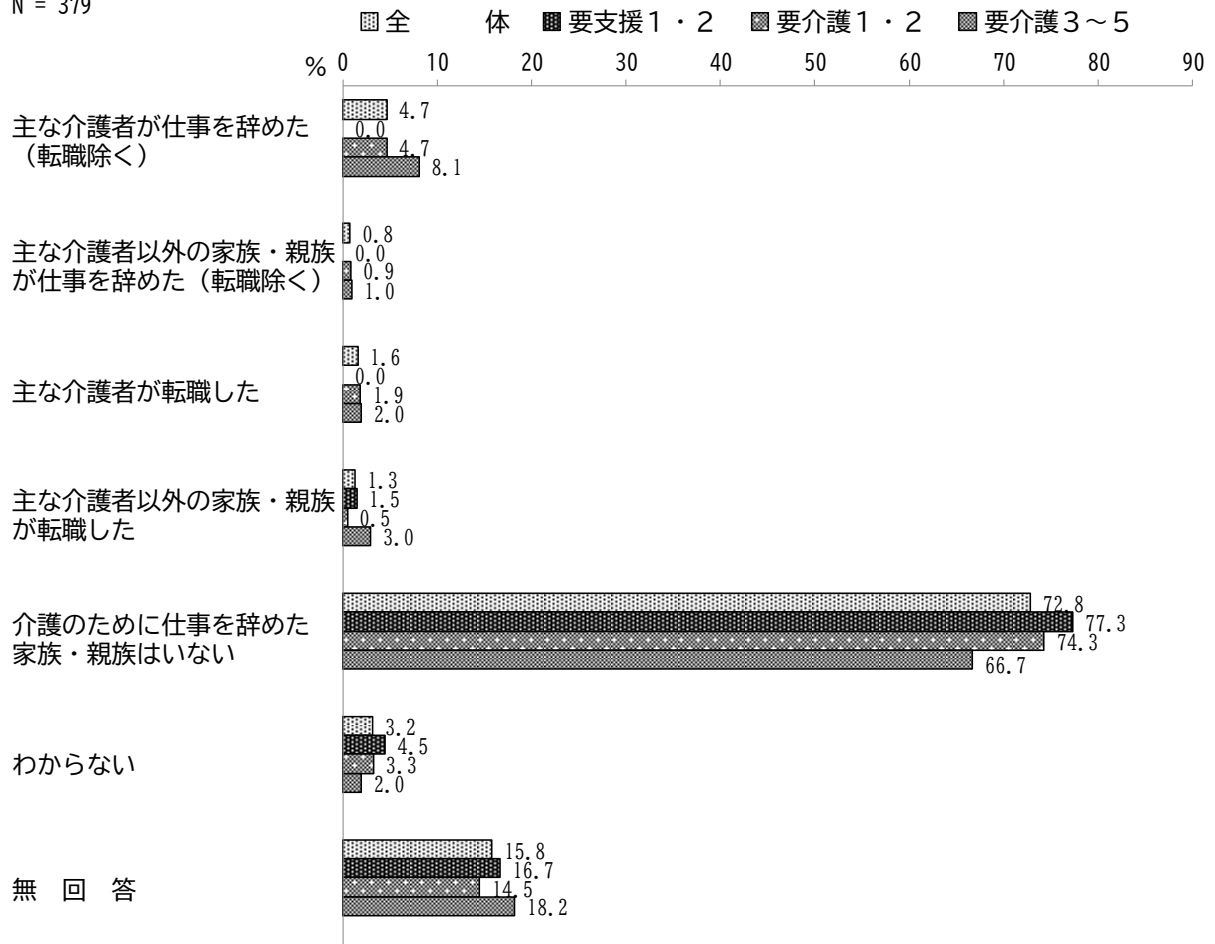
【全 体】

介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が72.8%と最も高くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は4.7%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」は0.8%となっています。

【要介護度別】

すべての介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が高くなっていますが、「要介護3～5」では「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が8.1%と高くなっています。
なお、「要支援1・2」では「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」、「主な介護者が転職した」はいません。

N = 379



【勤務形態別】

「働いていない」で、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」を合わせると、9.1%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
フルタイムで働いている	99	-	1.0	1.0	4.0	78.8	2.0	14.1
パートタイムで働いている	68	2.9	1.5	5.9	-	70.6	1.5	17.6
働いていない	187	8.6	0.5	-	0.5	73.3	3.2	13.9

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答
 ください（複数選択可）

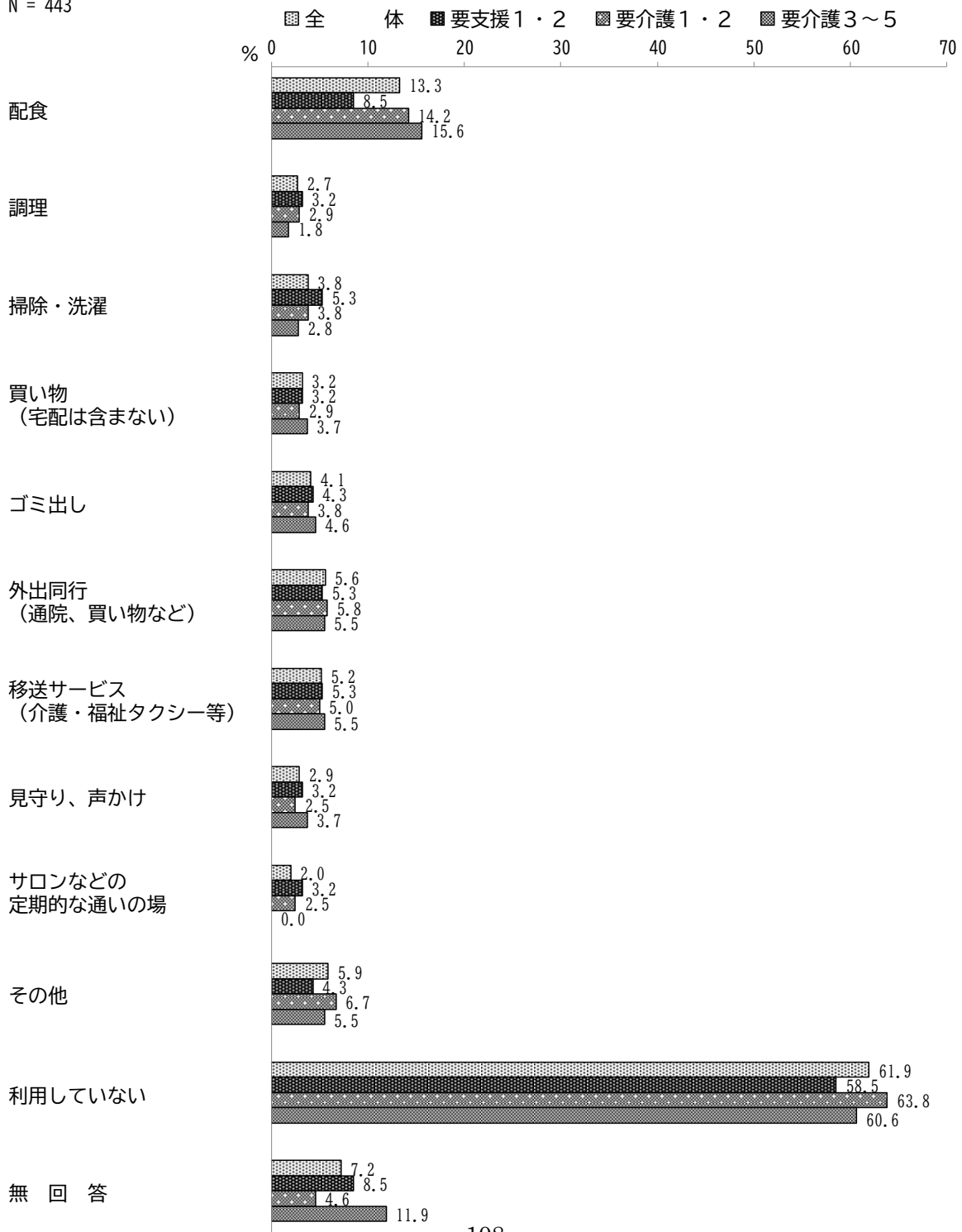
【全 体】

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が61.9%と特に高くなっていますが、利用しているサービスでは、「配食」が13.3%と最も高く、次いで「外出同行(通院・買い物など)」が5.6%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が5.2%、「ゴミ出し」が4.1%と続いています。

【要介護度別】

すべての介護度で「利用していない」が6割前後と高くなっていますが、「要介護1・2」、「要介護3～5」では「配食」がそれぞれ14.2%、15.6%と高くなっています。

N = 443



【家族構成別】

「利用していない」を除くすべての項目で、「単身世帯」が高く、特に「配食」は、28.9%と「夫婦のみ世帯」を大きく上回っています。

一方、「利用していない」は、「夫婦のみ世帯」で60.7%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)
単身世帯	90	28.9	4.4	5.6	8.9	5.6	7.8
夫婦のみ世帯	140	13.6	2.9	3.6	2.1	5.0	7.1
その他	201	6.5	2.0	3.5	1.5	2.5	3.5

	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、 声かけ	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
単身世帯	7.8	7.8	4.4	3.3	43.3	6.7
夫婦のみ世帯	2.1	1.4	1.4	7.1	60.7	9.3
その他	6.0	2.0	1.5	6.5	72.6	4.0

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください

（複数選択可）

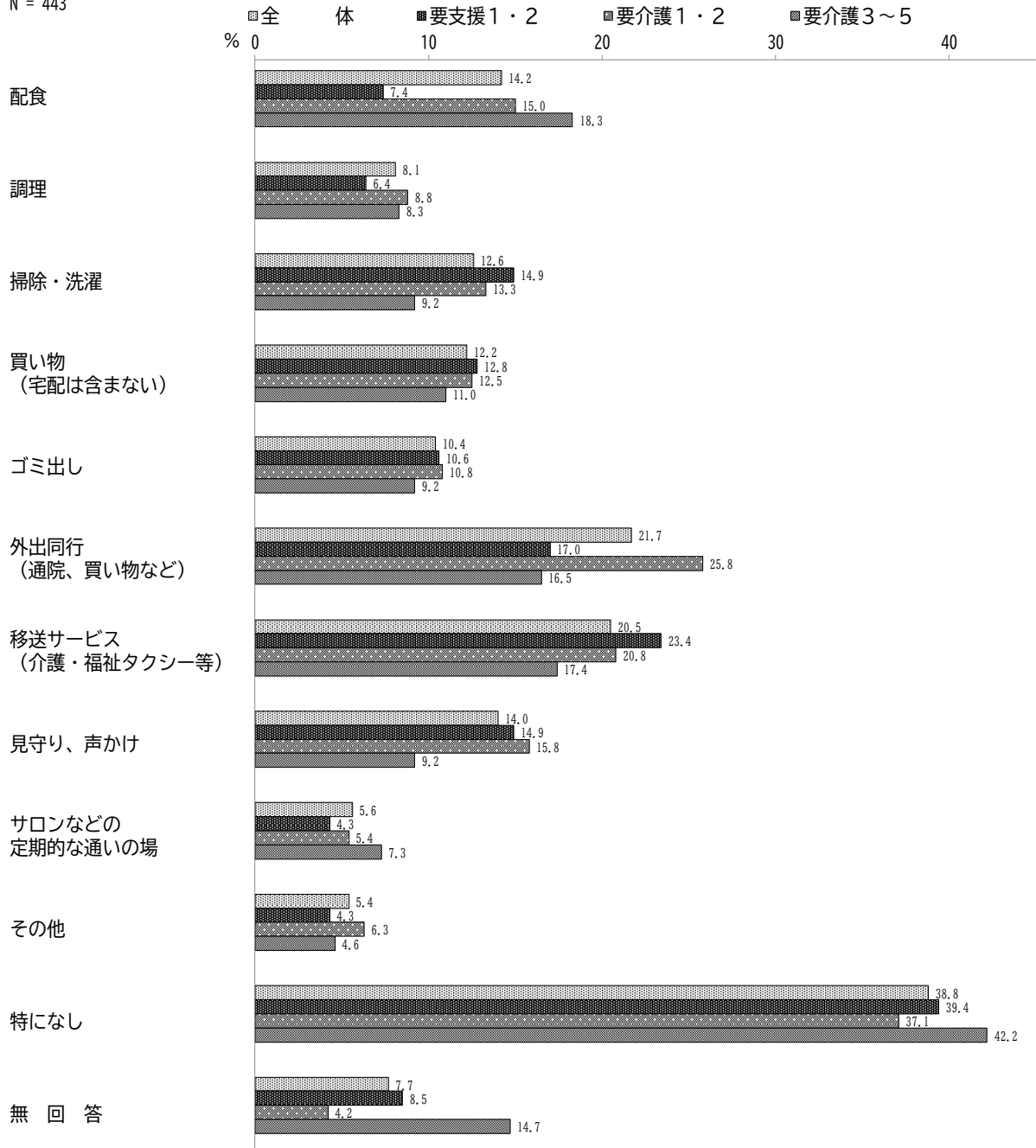
【全 体】

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が38.8%と高くなっていますが、必要と感じる支援・サービスでは、「外出同行(通院・買い物など)」が21.7%と最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が20.5%、「配食」が14.2%、「見守り、声かけ」が14.0%、「掃除・洗濯」が12.6%、「買い物(宅配は含まない)」が12.2%、「ゴミ出し」が10.4%と続いています。

【要介護度別】

すべての介護度で「特になし」が4割前後と高くなっていますが、「要支援1・2」では、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(23.4%)、「要介護1・2」では、「外出同行(通院・買い物など)」(25.8%)、「要介護3～5」では「配食」(18.3%)が高くなっています。

N = 443



【家族構成別】

「移送サービス(介護・福祉サービス等)」、「特になし」を除くすべての項目で、「単身世帯」が高く、特に「掃除・洗濯」、「外出同行(通院・買い物など)」、「見守り、声かけ」は、3割前後と高くなっています。また、「夫婦のみ世帯」では、「移送サービス(介護・福祉サービス等)」が25.7%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院・買い物など)
単身世帯	90	22.2	15.6	28.9	22.2	21.1	34.4
夫婦のみ世帯	140	15.7	10.0	10.0	15.7	12.1	20.0
その他	201	10.0	4.0	8.0	6.0	5.0	17.9

	移送サービス (介護・福祉サービス等)	見守り、声かけ	サロンなどの 定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
単身世帯	18.9	31.1	6.7	7.8	21.1	4.4
夫婦のみ世帯	25.7	9.3	4.3	5.7	35.0	10.0
その他	18.9	10.0	6.5	4.5	50.2	5.0

問 10 ご本人は現在、在宅医療(病院ではなくご自宅で治療を受けること)を受けていますか(1つを選択)

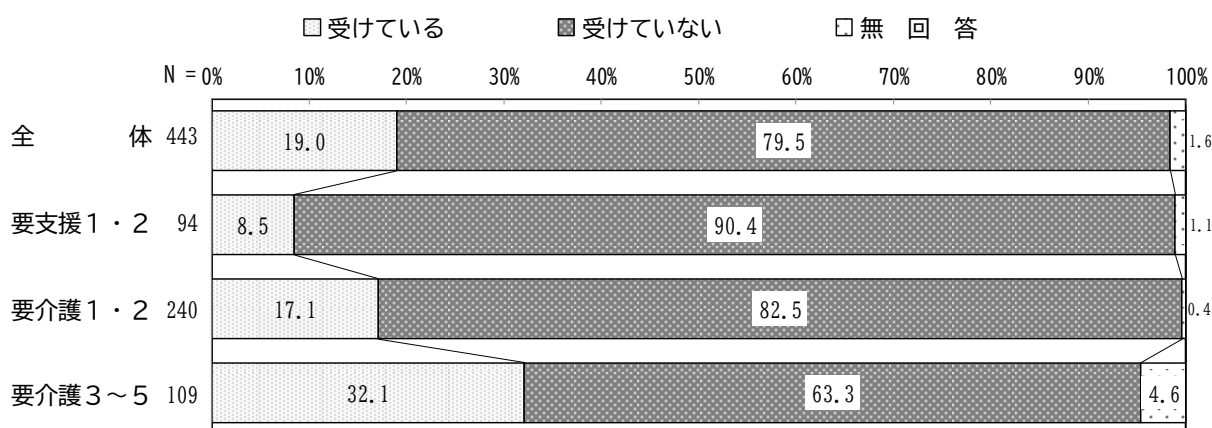
【全 体】

現在、在宅医療を受けているかどうかについては、「受けていない」が79.5%、「受けている」が19.0%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「受けている」が高くなり、「要介護3～5」では32.1%となっています。

一方、「受けていない」は、「要介護3～5」で63.3%と低くなっています。



問 11 あなたは在宅医療について知っていますか(1つを選択)

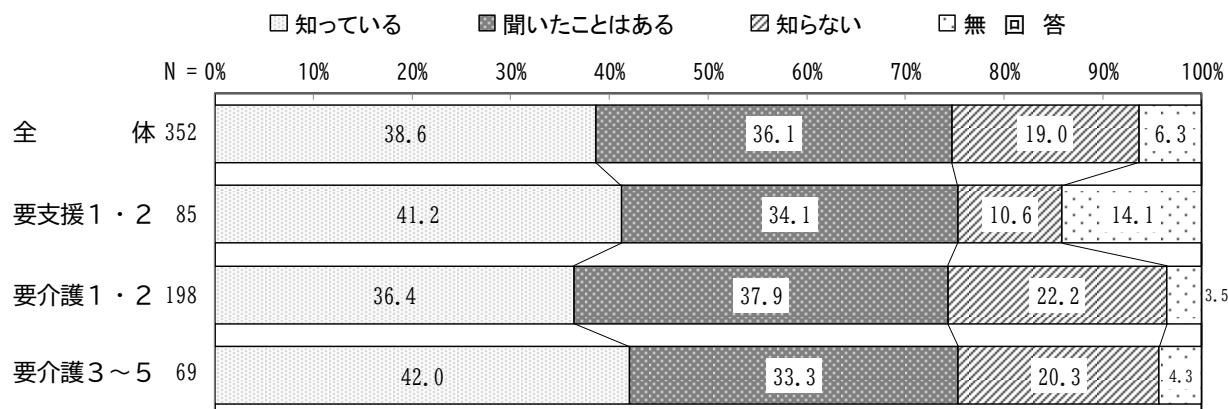
※問10で在宅医療を「受けていない」と回答した方にお伺いします。

【全 体】

在宅医療の認知度については、「知っている」が38.6%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が36.1%、「知らない」が19.0%となっています。

【要介護度別】

「要支援1・2」では、「知らない」が10.6%と低くなっています。



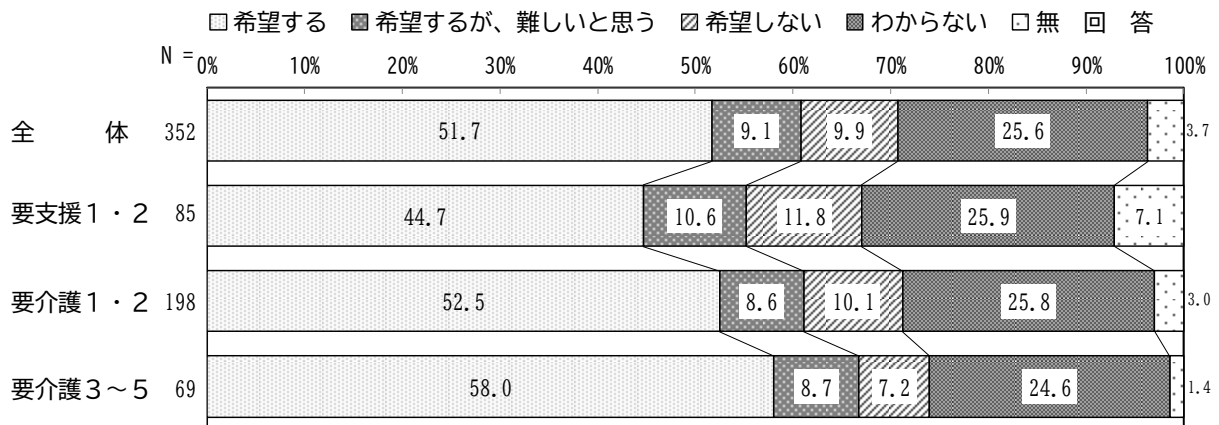
問12 あなたは寝たきりなどで在宅医療が必要になった場合、在宅医療を希望しますか
(1つを選択)

【全 体】

在宅医療が必要になった場合、在宅医療の希望については、「希望する」が51.7%と最も高く、次いで「わからない」が25.6%、「希望しない」が9.9%、「希望するが、難しいと思う」が9.1%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「希望する」が高くなり、「要介護3～5」では58.0%となっています。



問13 実現が難しい又は希望しない、わからないと思う理由は何ですか (自由記載)

※「★」印は、ご本人の回答ではなく、介護者によるものです。

在宅医療を希望するが、難しいと思う理由

理由	性別	年齢
★ 妻が仕事に行かなくなる。	男性	70～74歳
本人の感覚の病気と第三者がみる感覚の違いで、判断は本人の立場にならないとわからない。	女性	70～74歳
子どもとか兄妹がいるため。	女性	70～74歳
現在は不明。	男性	75～79歳
おむつ代などがかかるから。	女性	75～79歳
★ 兄弟3人の家族宅で交代で預かっているから。医療が必要になったら入院が好ましい。	女性	75～79歳
★ 重度認知症で指示が通りにくいので利用できるかよくわからない。	女性	75～79歳
★ 認知症に対する対応が難しい。在宅での看取りに不安がある。	女性	75～79歳
★ 一人暮らしなので、難しいと思う。	女性	75～79歳
現在は自立しているが、それができなくなった時単身なので難しいのではないかと考えています。(長女が市内にいますが、フルタイムで働いているため)	女性	75～79歳
現在の年金収入では難しいと思うから。	男性	80～84歳
★ 肝機能疾患の悪化があり、入院になるのではないかと。ペースメーカー留置。	男性	80～84歳
★ そうなったら施設に入りたいから。	男性	80～84歳
★ 認知症が悪化していて会話が難しいため。ただし、料金面で施設等に入居できるのか不安はある。	女性	80～84歳

	他人が家に入るのが嫌。	女性	80～84 歳
★	耳がほぼ聞こえないため。現在緩和ケアを受診しているため。	女性	80～84 歳
★	主介護者である妻が足腰が弱く、継続的介護ができないため。	男性	85～89 歳
	スケジュール管理が難しい。	男性	85～89 歳
	介護者への負担。	女性	85～89 歳
	子どもは仕事に出なければならないため。	女性	85～89 歳
	家の間取りなどで。	女性	85～89 歳
	子ども等は老人ホームへ入れたいと希望を口にしています。自分としては自宅で生活したがる。	男性	90 歳以上
★	寝たきりで医療はいいですが、介護で身の回りの世話は体力的に難しい。	男性	90 歳以上
★	施設や病院利用希望のため。	女性	90 歳以上
★	介護に慣れてない。難しそう。	女性	90 歳以上
★	病院の方が安心ではある。	女性	90 歳以上
	みんなに迷惑をかけるから。	女性	90 歳以上

在宅医療を希望しない理由

	理由	性別	年齢
	他人が自宅を訪問することに抵抗があるから。	女性	65 歳未満
★	かかりつけ医の方がいいから。	男性	75～79 歳
★	自殺	女性	75～79 歳
	子どもたちの生活もあるので。	女性	75～79 歳
	来てもらうのが煩わしい(人が来ることに気が進まない)。	男性	80～84 歳
	パーキンソン病のため	男性	80～84 歳
★	自分も年を取って家では見てあげられない。	男性	80～84 歳
★	認知症が進んでいるため在宅で見るのは難しい。	男性	80～84 歳
★	家族に負担がかからないようにするため。	女性	80～84 歳
★	施設入所希望のため。	女性	80～84 歳
	心細い。病院での看護がいい。	女性	80～84 歳
	病気によるのでわからない。想像できない。	女性	80～84 歳
	夫婦ともにパーキンソン病で、二人とも進行しているのでパーキンソン病患者がパーキンソン病患者を介護するのは無理なこと。病院に行くのもタクシーなので経済的に困っています。	女性	80～84 歳
★	仕事ができなくなり、生活できなくなる。	女性	80～84 歳
★	身体介護の全般に当たる介護は困難。特に老老介護の立場にとっては過酷です。	男性	85～89 歳
	一人暮らしなので。	女性	85～89 歳
★	在宅支援が困難だから。	女性	85～89 歳
	独り住まいで子どもたちもそれぞれの生活に大変で自宅では無理。	女性	85～89 歳
	お世話をしてくれる人がいない。	女性	85～89 歳
	介護してくれる人がいないので、自宅での生活はできない。施設に入ろうと思っている。	女性	85～89 歳
	気が進まない。	男性	90 歳以上
	動けなくなったら一人暮らしなので家で生活することができないと思うから。	男性	90 歳以上
★	現状で家族が病院に付き添っているため	男性	90 歳以上
	介護は近親者が行うよりも業務として第三者が行う方が、する方もされる方も助かると思います。私は老化も病気だと思ようになりました。	女性	90 歳以上

在宅医療を希望するかないかわからない理由

	理由	性別	年齢
	考えたことがないのでわからない。	女性	65歳未満
	現状は考えられない。	女性	65歳未満
	医師が変わるから。	男性	65～69歳
★	今の時点では、入院か在宅か決められないから。	男性	70～74歳
	在宅医療の必要性が現在ないため。	男性	70～74歳
	介護者の年齢が5歳上です。現在は頼っています。	女性	70～74歳
★	今の先生が来てくれるか、その時になってみないとわからない。	男性	75～79歳
	自宅での療養に不安を感じるから。	男性	75～79歳
	介護者にも持病があり、意識消失頻度が増えれば入院若しくは施設を検討したい。	男性	75～79歳
	制度自体が不明。何をやってもらえるのかわからない。	女性	75～79歳
★	介護人が仕事をしているため。	女性	75～79歳
★	理解できていないため。	女性	75～79歳
	その時の状況による。	女性	75～79歳
★	身体的に大きく支障がないため。	女性	75～79歳
	在宅介護は難しいと思う。	女性	75～79歳
	その時の病気によって。	女性	75～79歳
	どんな病気か、どんな症状か、妻と娘が元気かなどによって変わるから。	男性	80～84歳
★	必要になる状況の時は施設に入所させる。	男性	80～84歳
★	寝たきりになったら施設に入る。そこで医療も任せるから。	男性	80～84歳
★	からだは元気。認知症の進行に応じて相談したい。	男性	80～84歳
★	在宅生活が続けていけるかが疑問	女性	80～84歳
★	認知症に対する介護継続中で、体は元気。	女性	80～84歳
	その時になってみないと。	女性	80～84歳
★	現状自宅内、身の回りのことは自分でできている。もしかしたら利用するかもしれない。	女性	80～84歳
	想像できないため。	女性	80～84歳
★	きちんとできてれば。	女性	80～84歳
	現状では判断できないため。	女性	80～84歳
	介護が必要になった時に考え判断する。	女性	80～84歳
★	その時にならないとわからないため。	男性	85～89歳
★	動けなくなったら施設入所も考えている。	女性	85～89歳
	在宅で終日介護をするのは難しい。	女性	85～89歳
★	本当に必要な医療が受けられるのかわからないから。	女性	85～89歳
★	費用面で考えると通院を選ばざるを得ない。デイ以外外出もないので今は、気分転換で通院を選ぶ。	女性	85～89歳
	自分がどうなるか？ リハビリでよくなるかもしれないし、夫に迷惑をかけたくないから努力する気持ちはある。	女性	85～89歳
★	重度認知症だが、身体的には健康。どのように変化していくか想像がつかない。	女性	85～89歳
★	自分で判断できない。	女性	85～89歳
	どのような対応をするかよくわからないため。	女性	85～89歳
	子どもと相談してから。	女性	85～89歳
	まだ実感が無い。	男性	90歳以上
	まだ、本人が身の回りのことができている。	男性	90歳以上

	どの程度のことをしてもらえないかわからないから。	男性	90歳以上
	理解ができないので。	男性	90歳以上
★	まだ、必要な状態ではない。	女性	90歳以上
★	今、ケアマネから提案されて検討しているところ。	女性	90歳以上
★	在宅介護で生活できており、通院も今のところ問題ない。	女性	90歳以上
★	車いすで連れていけるなら、不要だがわからない。	女性	90歳以上
	医師が変わるのが不安。主治医が勧めるなら利用する。	女性	90歳以上
	精神科の在宅医療は少ないから。施設入所を希望しているから	女性	90歳以上
★	何もわからないから	女性	90歳以上
★	そうになったら施設に入ってほしい。	女性	90歳以上
	内容が理解できていないため。	女性	90歳以上
★	その時にならないと状況がわからないと思うため。	女性	90歳以上
	実際にならないと現実考えられない。	女性	90歳以上
	病状の程度で対応が違ってくる。	女性	90歳以上

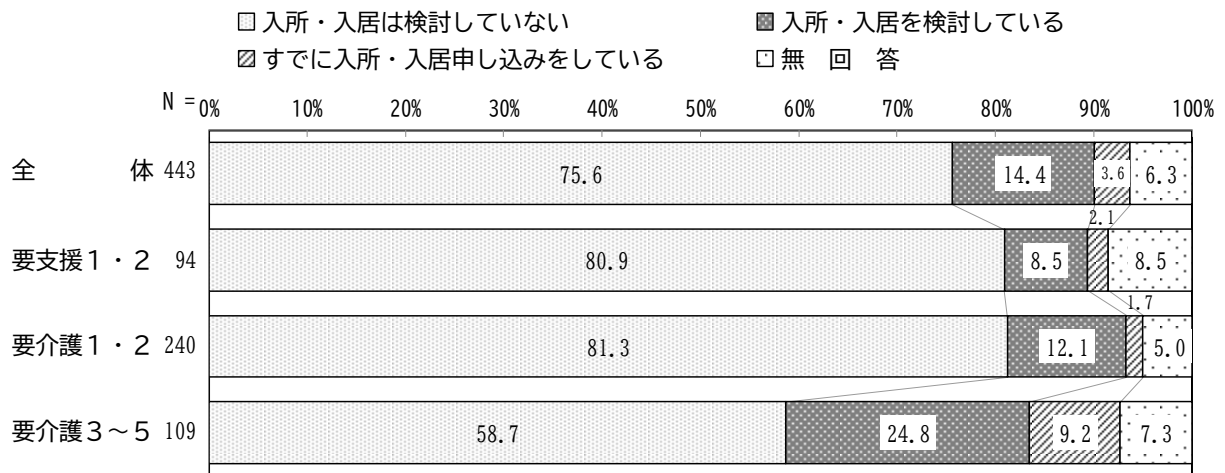
問14 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

【全 体】

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が75.6%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が3.6%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「入所・入居を検討している」が高くなり、「要介護3～5」では24.8%となっています。また、「要介護3～5」では、「すでに入所・入居申し込みをしている」も9.2%と高くなっています。



【家族構成別】

「単身世帯」では、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.6%とやや高くなっています。一方、「夫婦のみ世帯」では、「入所・入居を検討している」が15.0%とやや高くなっています。

(単位：%)

	人数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
単身世帯	90	76.7	12.2	5.6	5.6
夫婦のみ世帯	140	73.6	15.0	3.6	7.9
その他	201	77.6	15.4	3.0	4.0

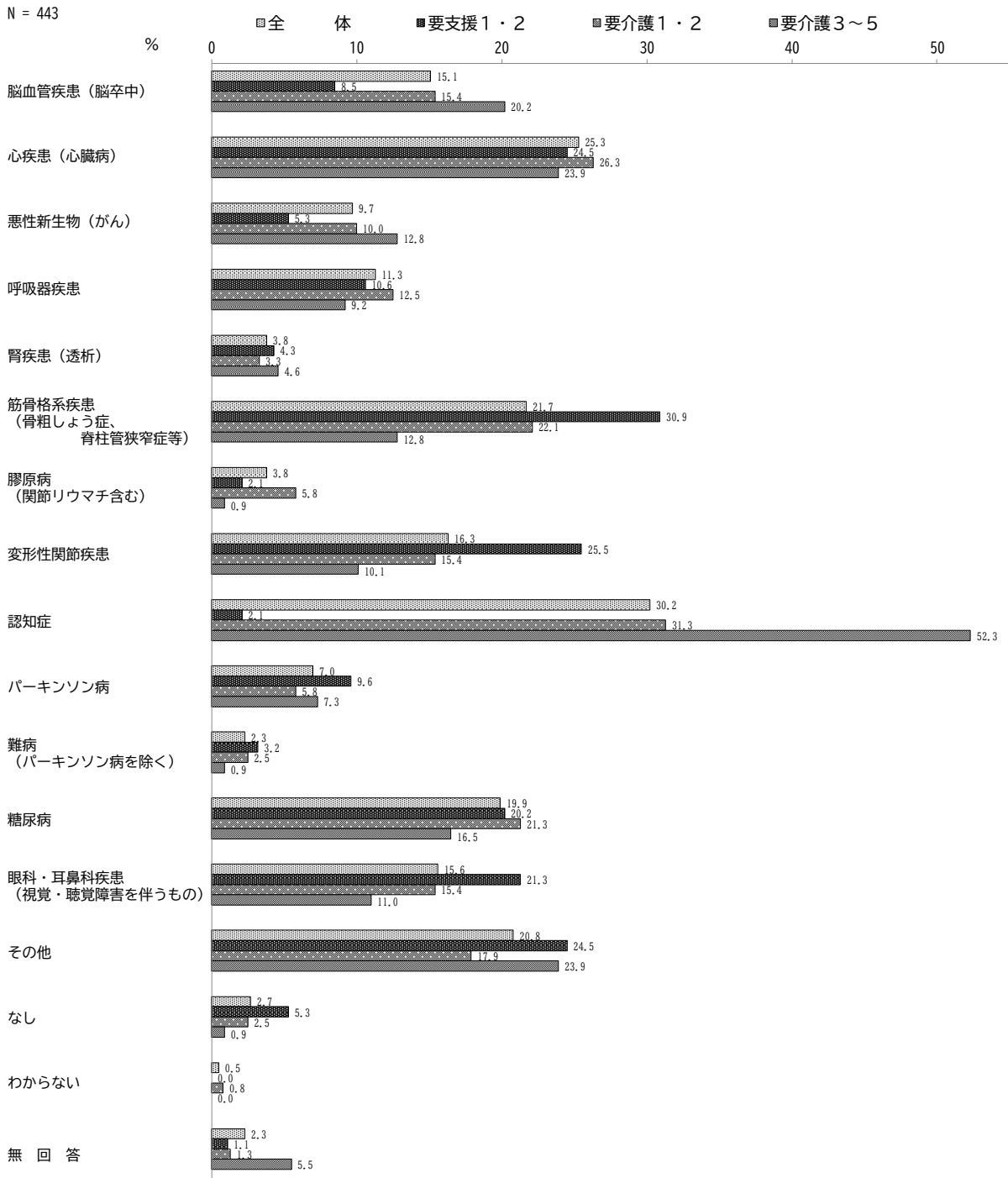
問 15 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

【全 体】

現在抱えている傷病については、「認知症」が30.2%と最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」が25.3%、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が21.7%、「糖尿病」が19.9%、「変形性関節疾患」が16.3%、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が15.6%、「脳血管疾患(脳卒中)」が15.1%、「呼吸器疾患」が11.3%と続いています。

【要介護度別】

「要介護3～5」では、「認知症」が52.3%と特に高くなっています。また、「要支援1・2」では、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が30.9%と高くなっています。



問16 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

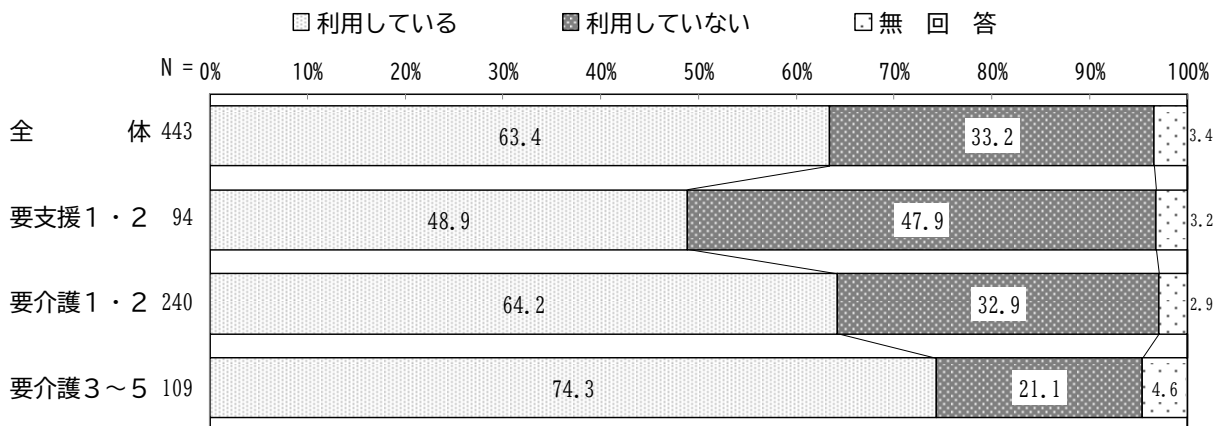
【全 体】

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しているかどうかについては、「利用している」が63.4%、「利用していない」が33.2%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「利用している」が高くなり、「要介護3～5」では74.3%となっています。

一方、「利用していない」は低くなり、「要介護3～5」では21.1%となっています。



問 17 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

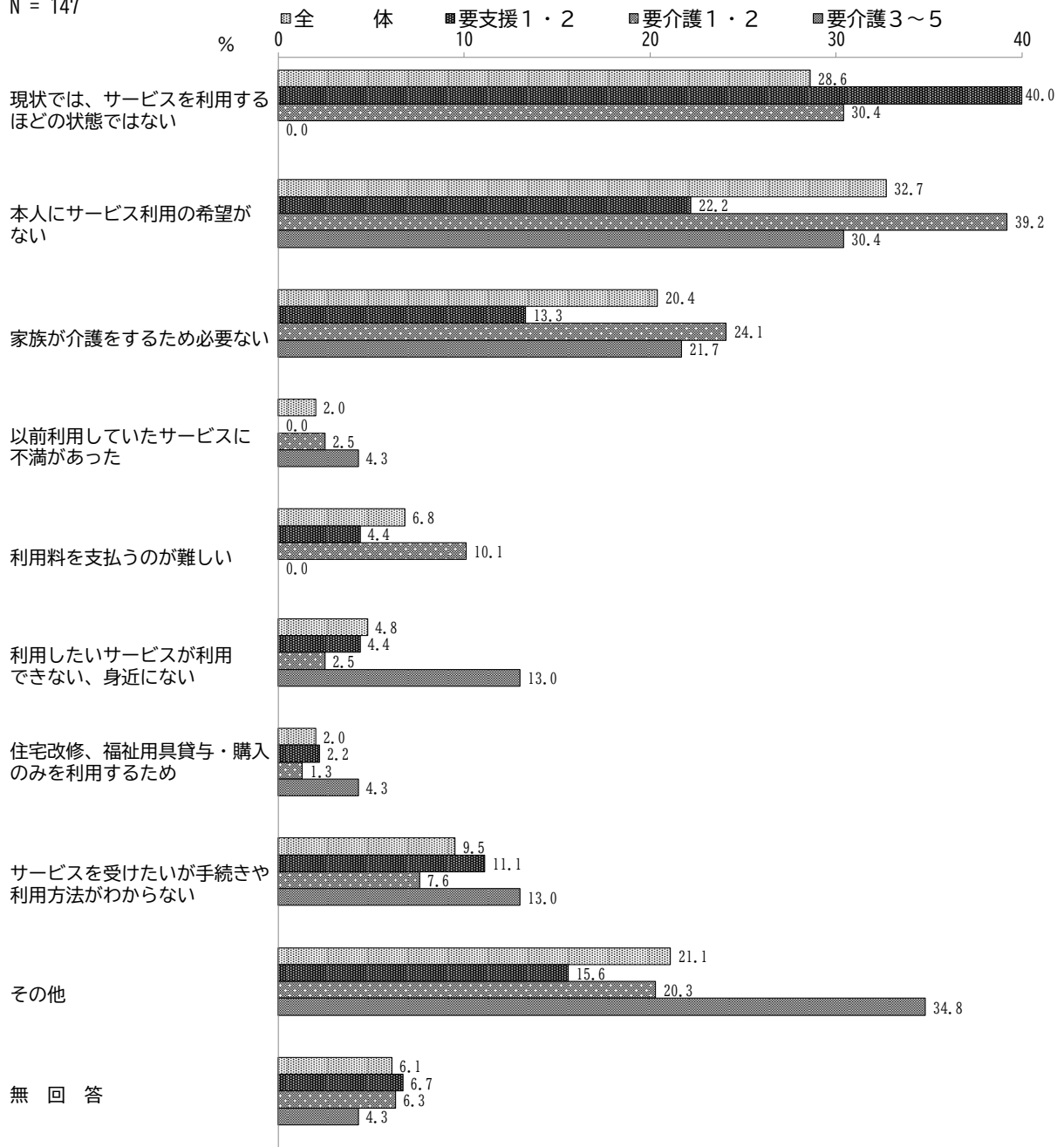
【全 体】

介護保険サービスを利用していない理由については、「本人にサービス利用の希望がない」が32.7%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が28.6%、「家族が介護をするため必要ない」が20.4%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1・2」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.0%と高くなっています。また、「要介護1・2」では、「本人にサービス利用の希望がない」が39.2%と高くなっています。

N = 147



3. 主な介護者様にご回答・ご記入いただいた項目

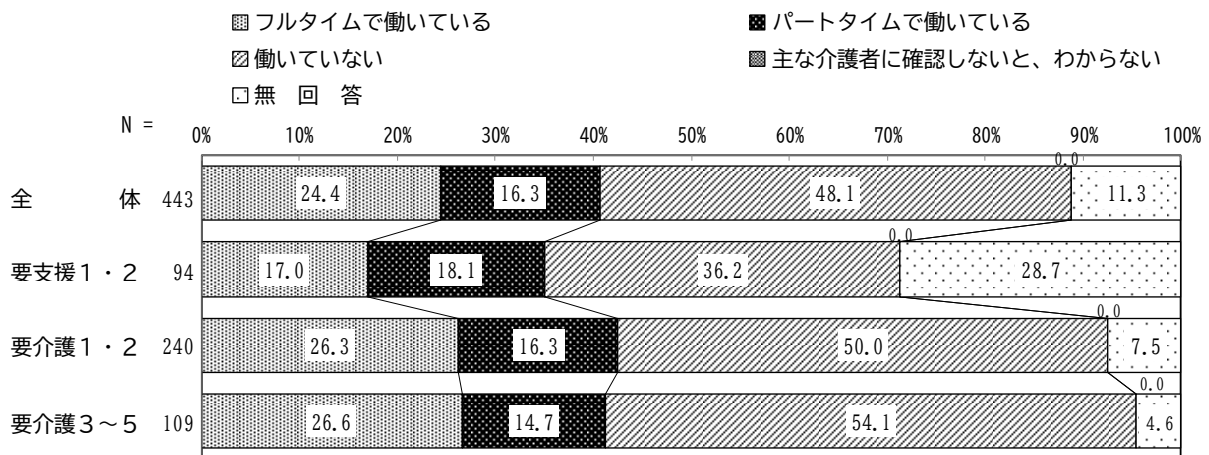
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

【全 体】

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が48.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が24.4%、「パートタイムで働いている」が16.3%となっています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「働いていない」が高くなり、「要介護3～5」では54.1%となっています。



問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺います。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

【全 体】

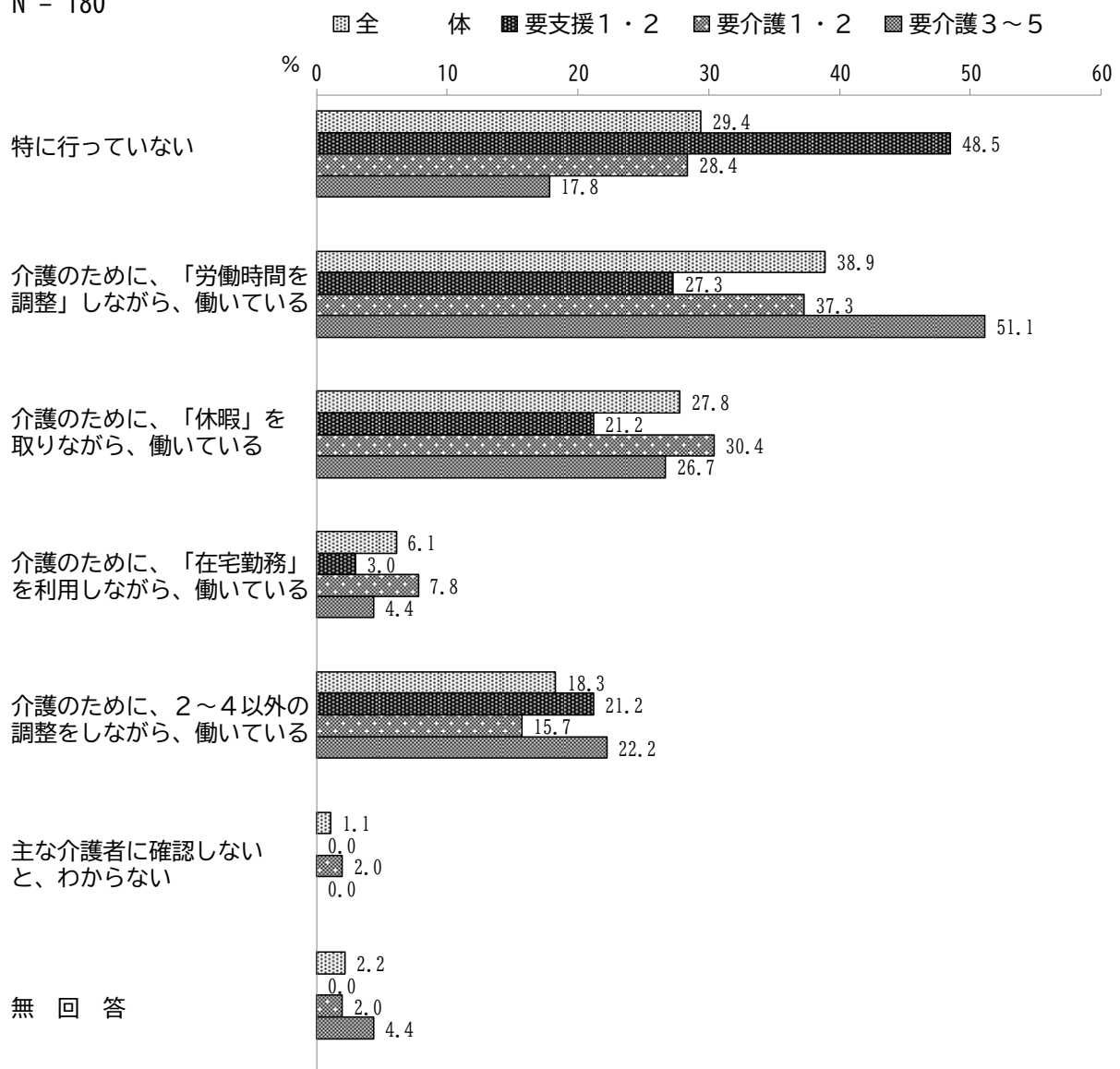
主な介護者が介護をするにあたって、働き方についての調整をしているかどうかについては、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が38.9%と最も高く、次いで「特に行っていない」が29.4%、「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」が27.8%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1・2」では、「特に行っていない」が48.5%と高くなっています。

一方、「要介護3～5」では、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が51.1%と高くなっています。

N = 180



※「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」の2～4とは、選択肢2「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」、選択肢3「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」、選択肢4「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」の選択肢番号を指す。

【勤務形態別】

「フルタイムで働いている」では、「介護のために、『休暇(年休や介護休暇等)』を取りながら、働いている」が33.3%と高くなっています。また、「パートタイムで働いている」では、「介護のために、『労働時間を調整』(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が43.1%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が20.8%と高くなっています。

(単位：%)

	人数	特に 行っていない	介護のために、 『労働時間を調整』 (残業免除、短時間勤務、 遅出・早帰・中抜け等) しながら、働いている	介護のために、 『休暇(年休や介護休暇等)』を 取りながら、働いている
フルタイムで 働いている	108	29.6	36.1	33.3
パートタイムで 働いている	72	29.2	43.1	19.4

	介護のために、 「在宅勤務」を利用しながら、 働いている	介護のために、2～4以外の 調整をしながら、 働いている	主な介護者に 確認しないと、 わからない	無回答
フルタイムで 働いている	9.3	16.7	-	1.9
パートタイムで 働いている	1.4	20.8	2.8	2.8

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか

(3つまで選択可)

【全 体】

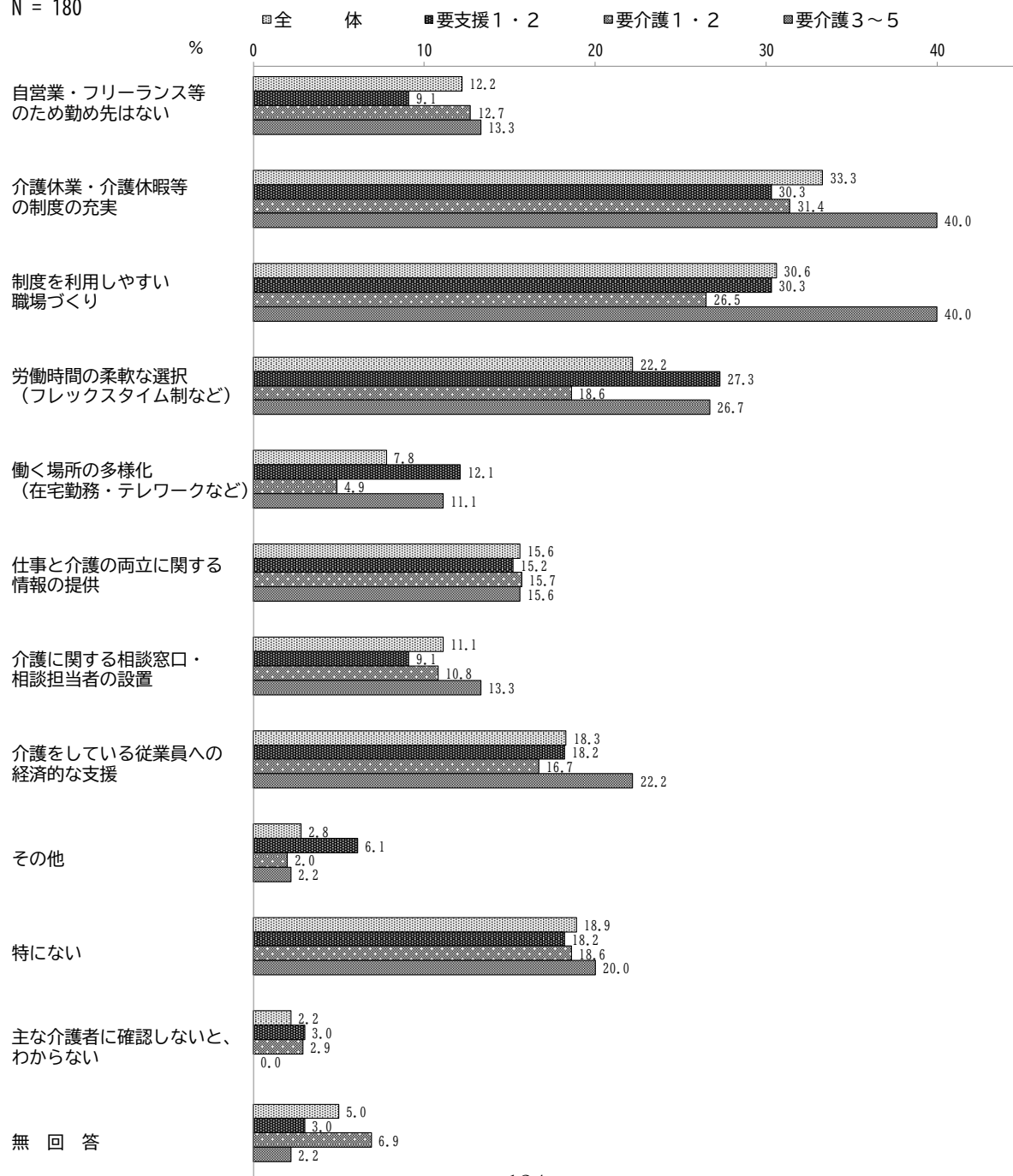
主な介護者が介護をするにあたって、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.3%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が30.6%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が22.2%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が18.3%、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」が15.6%と続いています。

なお、「特にない」は18.9%となっています。

【要介護度別】

「要介護3～5」では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」がともに40.0%と高くなっています。

N = 180



【勤務形態別】

「介護をしている従業員への経済的な支援」、「特になし」を除くすべての項目で、「フルタイムで働いている」が高く、特に「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」は、3割を超え高くなっています。また、「介護をしている従業員への経済的な支援」では、「パートタイムで働いている」が19.4%と「フルタイムで働いている」より高くなっています。

(単位：%)

	人数	自営業・フリーランス等のため、勤務先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
フルタイムで働いている	108	16.7	39.8	35.2	25.0	11.1
パートタイムで働いている	72	5.6	23.6	23.6	18.1	2.8

	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
フルタイムで働いている	15.7	12.0	17.6	0.9	14.8	1.9	3.7
パートタイムで働いている	15.3	9.7	19.4	5.6	25.0	2.8	6.9

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

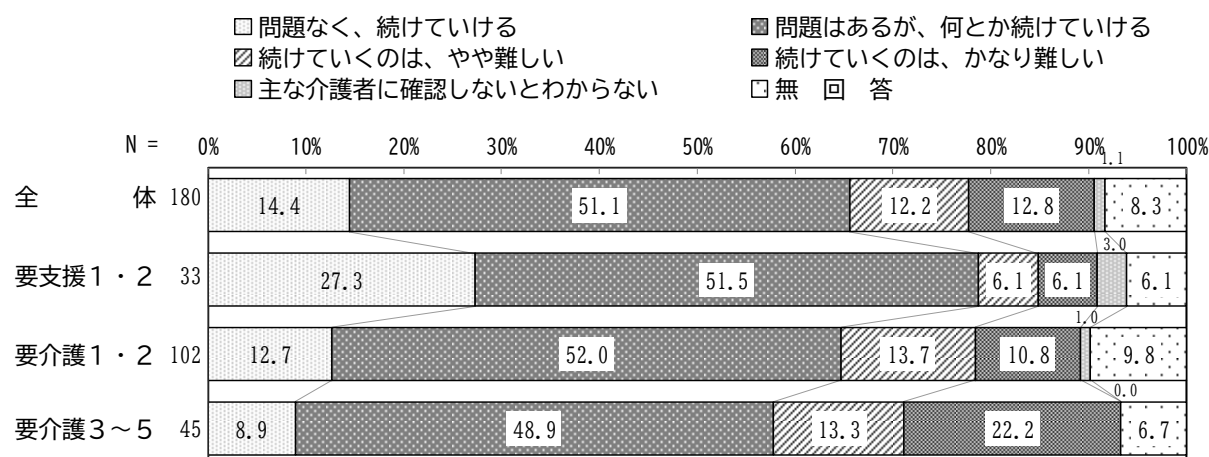
【全 体】

主な介護者が、今後も働きながら介護を続けていけそうかどうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が51.1%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が14.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が12.8%、「続けていくのは、やや難しい」が12.2%と続いています。

【要介護度別】

介護度が上がるにつれて「問題なく、続けていける」、「問題はあるが、何とか続けていける」が低くなり、「要介護3～5」ではそれぞれ8.9%、48.9%となっています。

一方、「続けていくのは、かなり難しい」は、「要介護3～5」では22.2%と高くなっています。



【勤務形態別】

「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」ともに、「問題はあるが、何とか続けていける」がそれぞれ54.6%、45.8%と最も高くなっています。一方、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『難しい』は、「フルタイムで働いている」が21.3%、「パートタイムで働いている」が30.6%となっています。

(単位：%)

	人数	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい
フルタイムで 働いている	108	14.8	54.6	8.3
パートタイムで 働いている	72	13.9	45.8	18.1

	続けていくのは、 かなり難しい	主な介護者に 確認しないと、 わからない	無回答
フルタイムで 働いている	13.0	0.9	8.3
パートタイム で働いている	12.5	1.4	8.3

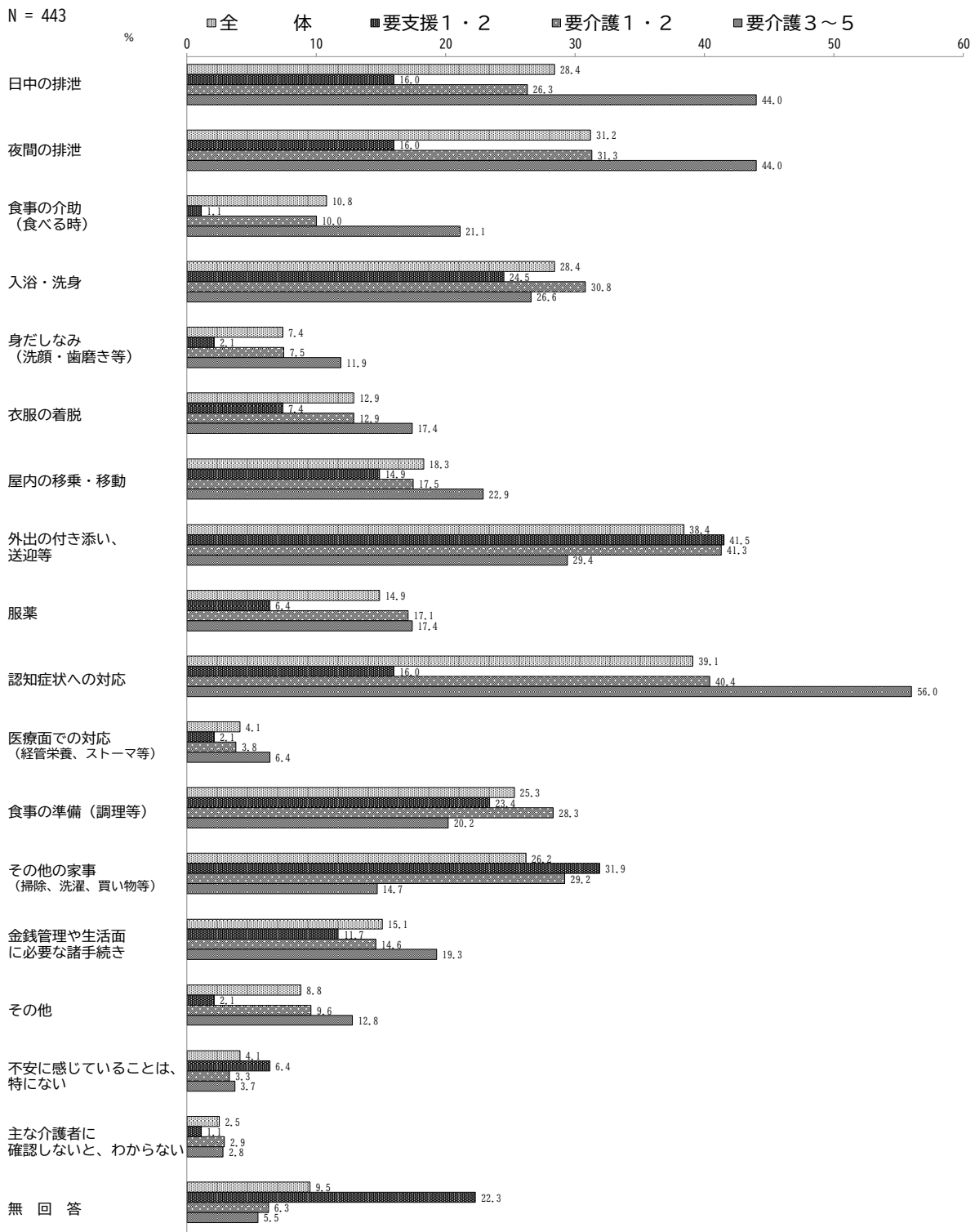
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【全 体】

主な介護者が、不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」が39.1%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が38.4%、「夜間の排泄」が31.2%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」がともに28.4%、「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」が26.2%、「食事の準備(調理等)」が25.3%と続いています。

【要介護度別】

「要介護3～5」では、「認知症状への対応」が56.0%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」がともに44.0%と高くなっています。



【勤務形態別】

すべての勤務形態で、「認知症状への対応」が4割を超え高くなっています。「パートタイムで働いている」では、「夜間の排泄」(41.7%)、「日中の排泄」(37.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(31.9%)が高くなっています。また、「フルタイムで働いている」では、「食事の準備(調理等)」(32.4%)が高くなっています。

(単位：%)

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱
フルタイムで働いている	108	29.6	31.5	12.0	28.7	7.4	10.2
パートタイムで働いている	72	37.5	41.7	11.1	30.6	8.3	12.5
働いていない	213	30.5	32.4	12.2	31.5	8.5	16.0

	屋内の移乗・ 移動	外出の 付き添い、送迎等	服薬	認知症状 への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)
フルタイムで働いている	19.4	44.4	15.7	45.4	4.6	32.4
パートタイムで働いている	19.4	33.3	15.3	45.8	-	23.6
働いていない	19.2	40.4	17.4	40.8	6.1	25.8

	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	不安に感じている ことは、特になし	主な介護者に確認 しないと、わからない	無回答
フルタイムで働いている	27.8	18.5	8.3	1.9	1.9	0.9
パートタイムで働いている	31.9	13.9	8.3	4.2	1.4	-
働いていない	26.3	16.0	11.3	5.6	3.8	3.3

資料 在宅介護実態調査 調査票

在宅介護実態調査へのご協力をお願い

日頃から新座市介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます
この度、新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画第9期計画策定のため
の重要な基礎資料として、『在宅介護実態調査』を実施させていただくこと
になりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきます
ようお願いいたします。

なお、調査で収集した個人情報は計画策定の目的にのみ使用し、新座市個人
情報保護条例に基づく適正な取扱いをいたします。

令和4年12月

新座市

〔お問合せ先〕

新座市いきいき健康部介護保険課 048-424-5361（直通）

ご記入に際してのお願い

- 1 この調査の対象者は、調査日現在、在宅で要支援・要介護認定を受けている方と主な介護者（ご家族、ご親族等の介護者）の方です。
- 2 宛名ご本人にご回答いただくA票と、主な介護者の方にご回答いただくB票に分かれています。ご本人のお考えを聞きながらご家族や介護者等の方が聞き取ってご回答ください。※宛名ご本人様のご自身でご回答いただいても構いません。
- 3 ご家族や介護者の方の回答が難しい場合は、A票のみご回答ください。
- 4 ご回答にあたっては、質問に従ってあてはまる回答番号に○をつけてください。
- 5 本調査への協力の可否や回答内容が要介護認定調査の結果に影響を与

令和4年12月19日（月）までにポストへ投函ください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご回答をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的について】

- この調査は、新座市の介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報を基に実施しています。
- 本調査で得られた情報につきましては、介護保険事業計画策定、効果的な介護政策の立案、効果評価の基礎資料として利用いたします。また、当該情報については、市で適切に管理いたします。
- 上記の基礎資料利用時には、市が保有する介護保険資格者情報及び介護保険要介護認定情報とともに利用・分析させていただきます。

**問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)**

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか

(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 | 11. 利用していない |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 15 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 15. なし |
| 14. その他 | |
| 16. わからない | |

問 16 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している → A 票終了
2. 利用していない → 問 17へ

問 17 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
9. その他

- 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合、また、B 票の記入にお時間がかかる場合は、返信用封筒と B 票をお渡しし、後ほど郵送による回答のご協力をお願いしてください。

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号／調査日〔 0000 / 月 日〕

B票 主な介護者様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願いいたします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

第3章

在宅生活改善調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第9期新座市高齢者福祉計画・新座市介護保険事業計画の策定のための基礎資料として、自宅等（サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム含む）に住んでいる方で、現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討することを目的として実施しました。

2. 調査対象者

市内の居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所及び事業所に所属するケアマネジャー

3. 調査方法

メールによる配布・回収

4. 実施期間

令和4年12月14日 ～ 令和5年1月6日

5. 回収結果

	調査対象事業所数	回答事業所数	回収率
居宅介護支援事業所	35	18	51.4%
小規模多機能型、居宅介護事業所	2	2	100.0%
介護予防支援事業所	7	7	100.0%

6. 報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表しています。
- 「N」は、症例数のことで、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
また、複数回答（2つ以上選択）の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は、四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

- サービス名の略称：在宅及び住まい・施設サービスについては、一部略称を用いています。正式名称は下表のとおりです。
- 「自宅等」については、定義が一部異なっている場合があるため、「※」印により注を付けています。

■在宅サービス

本書で用いた名称（略称含む）	正式名称
訪問介護	※（同左）
訪問入浴	※（同左）
訪問看護	※（同左）
訪問リハ	訪問リハビリテーション
通所介護	※（同左）
通所リハ	通所リハビリテーション
ショートステイ	短期入居者生活介護
定期巡回サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
夜間対応型訪問介護	※（同左）
認知症対応型通所	認知症対応型通所介護
小規模多機能	小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能	看護小規模多機能型居宅介護

■住まい・施設等

本書で用いた名称（略称含む）	正式名称
住宅型有料	住宅型有料老人ホーム
サ高住	サービス付高齢者向け住宅
軽費老人ホーム	※（同左）
グループホーム	認知症対応型共同生活介護
特定施設	特定施設入居者生活介護
介護老人保健施設	※（同左）
療養型	介護療養型医療施設
介護医療院	※（同左）
特養／特別養護老人ホーム	介護老人福祉施設
地域密着型特定施設	地域密着型特定施設入居者生活介護
地域密着型特別養護老人ホーム	地域密着型介護老人福祉施設

Ⅱ 調査結果

1. 事業所票

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

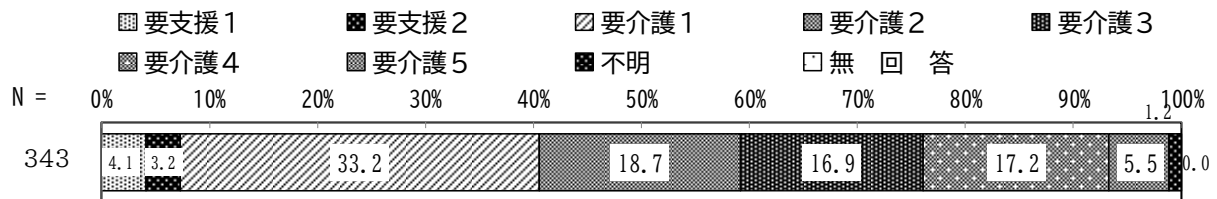
回答のあった事業所に所属するケアマネジャーの人数は合計104人、「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」を除く「自宅」にお住まいの利用者数は2,312人、「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数は171人となっています。

(単位：人)

所属するケアマネジャーの人数(合計)	104
「自宅」にお住まいの利用者数 ※「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数を除く	2,312
「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	171

問2 過去1年の間に自宅等から、居場所を変更した利用者数(要介護度別)をご記入ください。

過去1年(R3.12.1~R4.11.30)の間に自宅等から、居場所を変更した利用者の要介護度については、「要介護1」が33.2%と最も高く、次いで「要介護2」が18.7%、「要介護4」が17.2%、「要介護3」が16.9%と続いています。



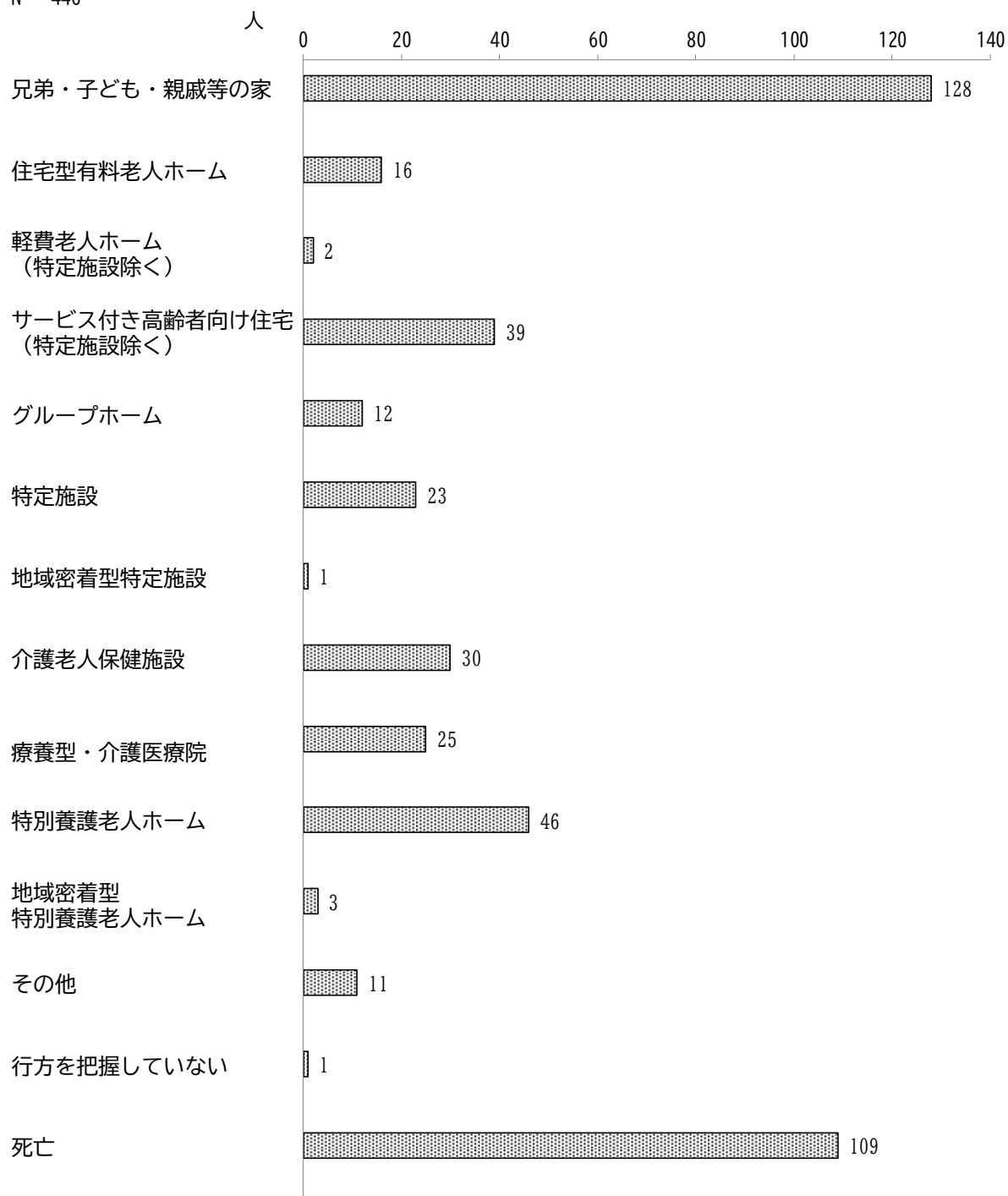
問3 過去1年の間に自宅等から居場所を変更した利用者数(行き先別)

【全 体】

過去1年(R3.12.1~R4.11.30)の間に自宅等から、居場所を変更した人は、「兄弟・子ども・親戚等の家」が128人、「特別養護老人ホーム」が46人、「サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)」が39人、「介護老人保健施設」が30人と続いています。

※「自宅等」には、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームは含まれない。

N = 446

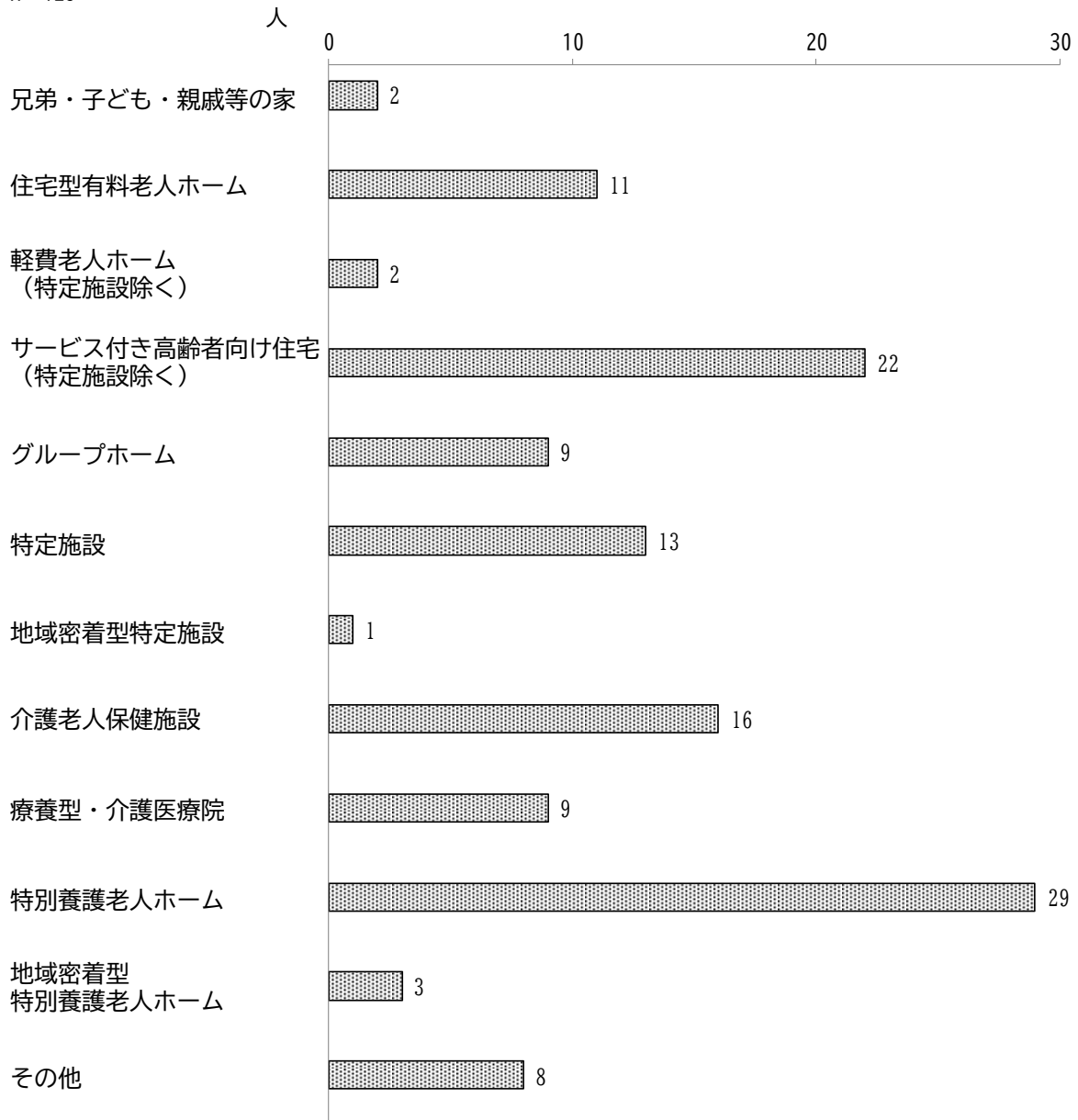


【市内】

過去1年(R3.12.1~R4.11.30)の間に自宅等から、市内に居場所を変更した人は全体で125人となっており、「特別養護老人ホーム」が29人、「サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)」が22人、「介護老人保健施設」が16人と続いています。

※「自宅等」には、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームは含まれない。

N =125

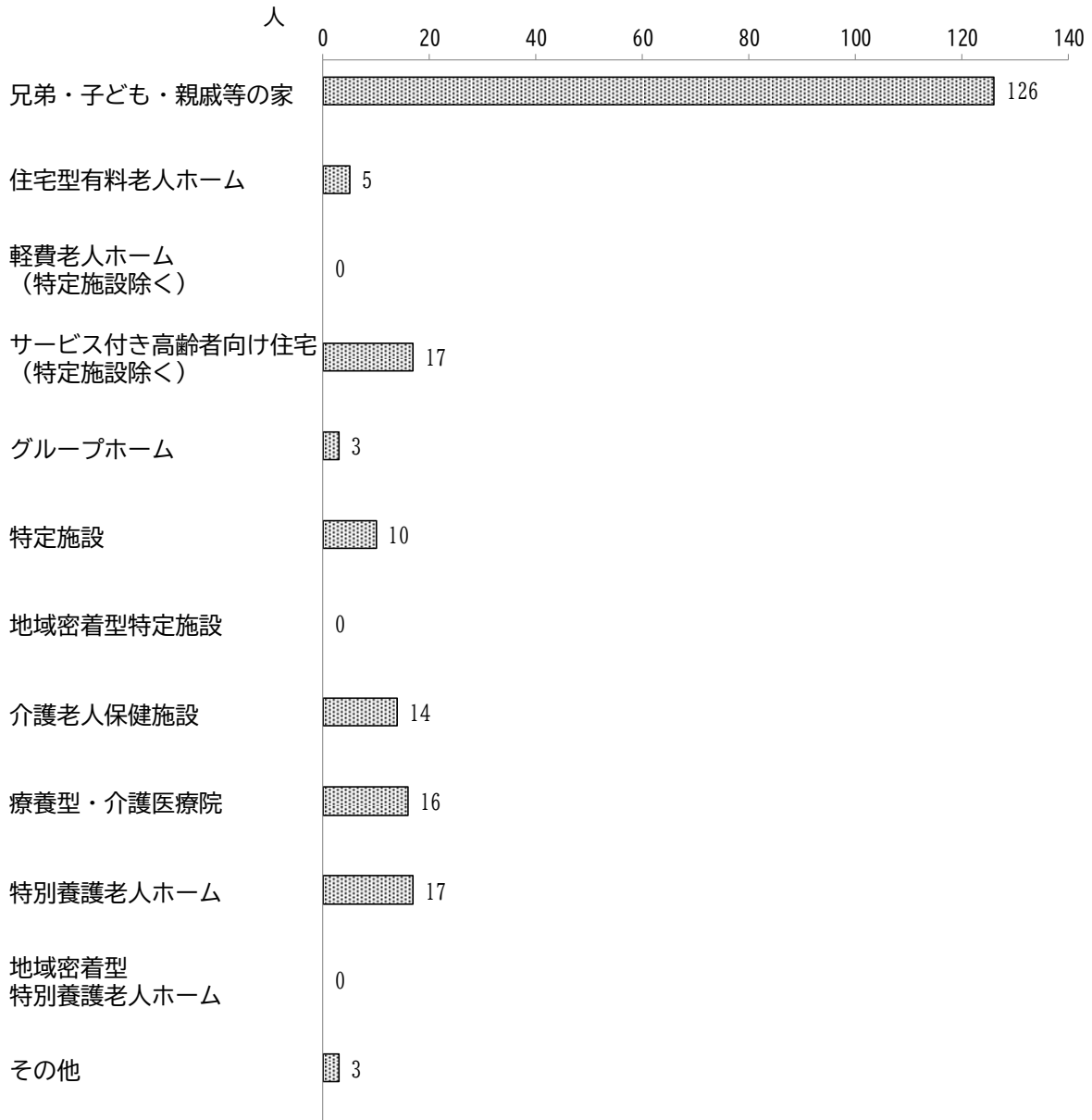


【市 外】

過去1年(R3.12.1~R4.11.30)の間に自宅等から、市外に居場所を変更した人は全体で211人となっており、「兄弟・子ども・親戚等の家」が126人、「サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)」、「特別養護老人ホーム」がともに17人、「療養型・介護医療院」が16人、「介護老人保健施設」が14人と続いています。

※「自宅等」には、サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームは含まれない。

N = 211



2. 〈利用者票〉現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の状況等について

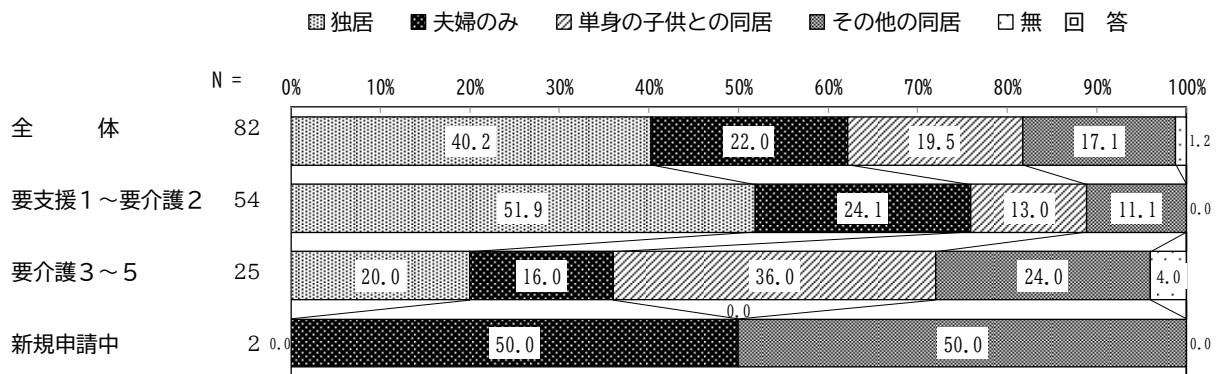
問1-1 利用者の世帯類型について

【全 体】

利用者の世帯類型については、「独居」が40.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が22.0%、「単身の子供との同居」が19.5%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」で「独居」が51.9%、「要介護3～5」で「単身の子供との同居」が36.0%と高くなっています。



問1-2 利用者の現在の居所について

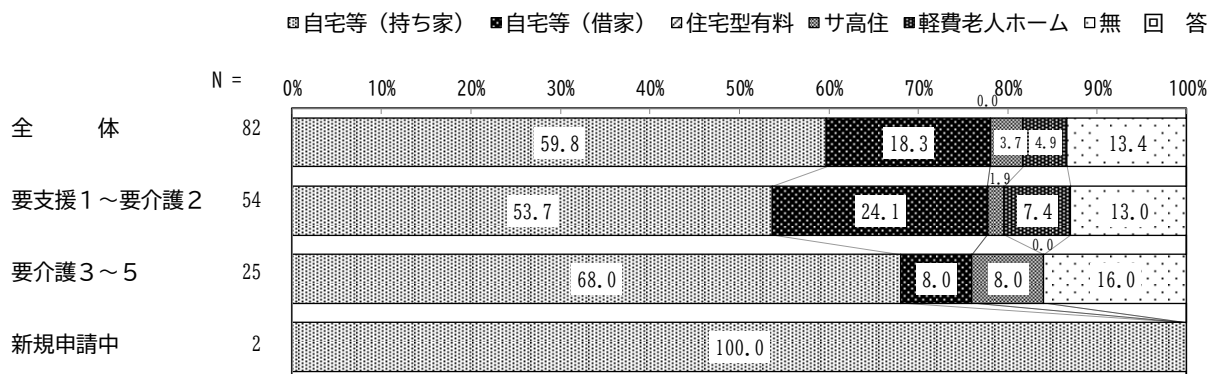
【全 体】

利用者の現在の居所については、「自宅等(持ち家)」が59.8%と最も高く、次いで「自宅等(借家)」が18.3%と続いています。

なお、「サ高住」は3.7%、「軽費老人ホーム」は4.9%となっています。

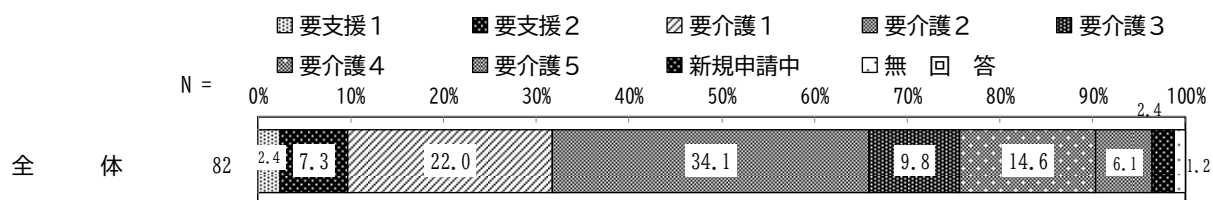
【要介護度別】

「要支援1～要介護2」、「要介護3～5」ともに「自宅等(持ち家)」がそれぞれ53.7%、68.0%と高くなっています。また、「要支援1～要介護2」では、「自宅等(借家)」も24.1%と高くなっています。



問1-3 利用者の要支援・要介護度について

利用者の要支援・要介護度については、「要介護2」が34.1%と最も高く、次いで「要介護1」が22.0%、「要介護4」が14.6%、「要介護3」が9.8%と続いています。



3. 〈利用者票〉現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

問2-1 本人の状態等に属する理由について

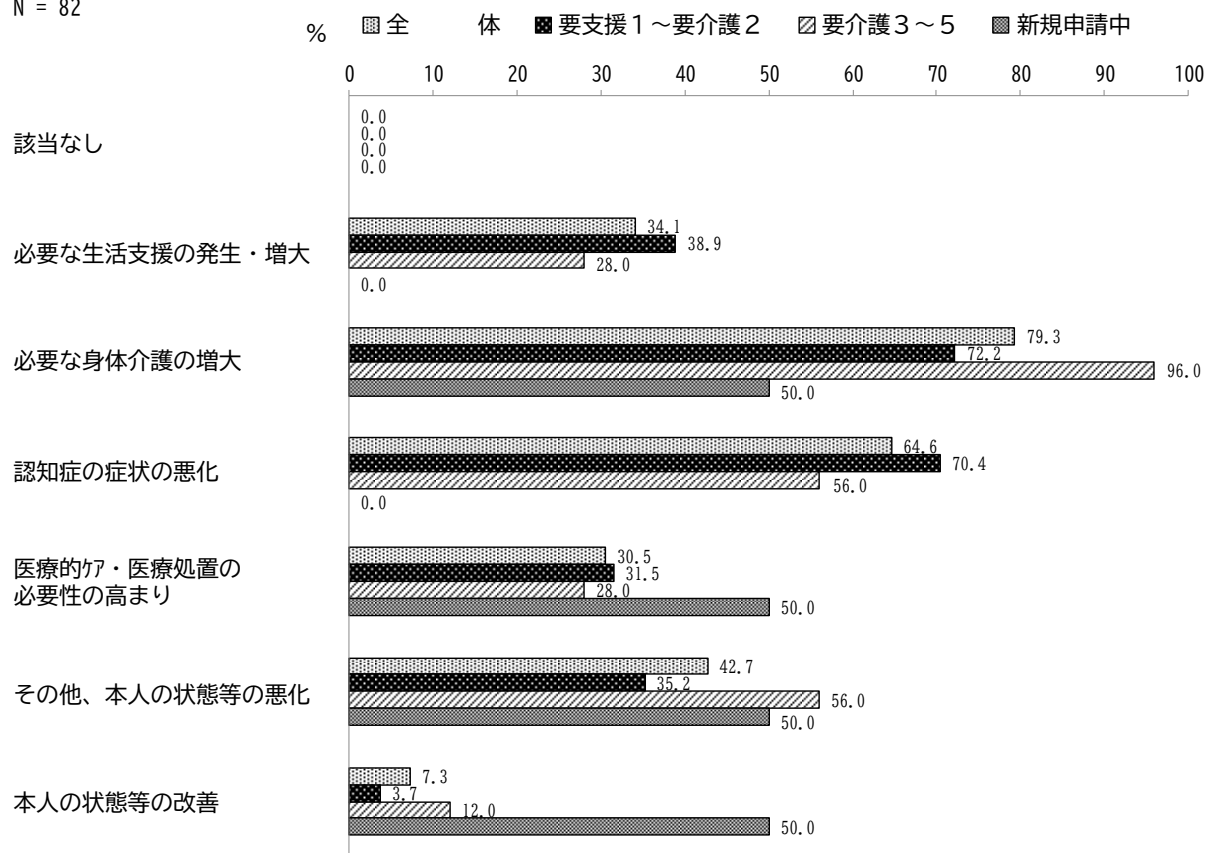
【全体】

本人の状態に属する理由については、「必要な身体介護の増大」が79.3%と最も高く、次いで「認知症の症状の悪化」が64.6%、「その他、本人の状態等の悪化」が42.7%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「必要な身体介護の増大」、「認知症の症状の悪化」が7割を超え高くなっています。また、「要介護3～5」では、「必要な身体介護の増大」が96.0%と特に高くなっています。

N = 82



問2-2 主に本人の意向等に属する理由について

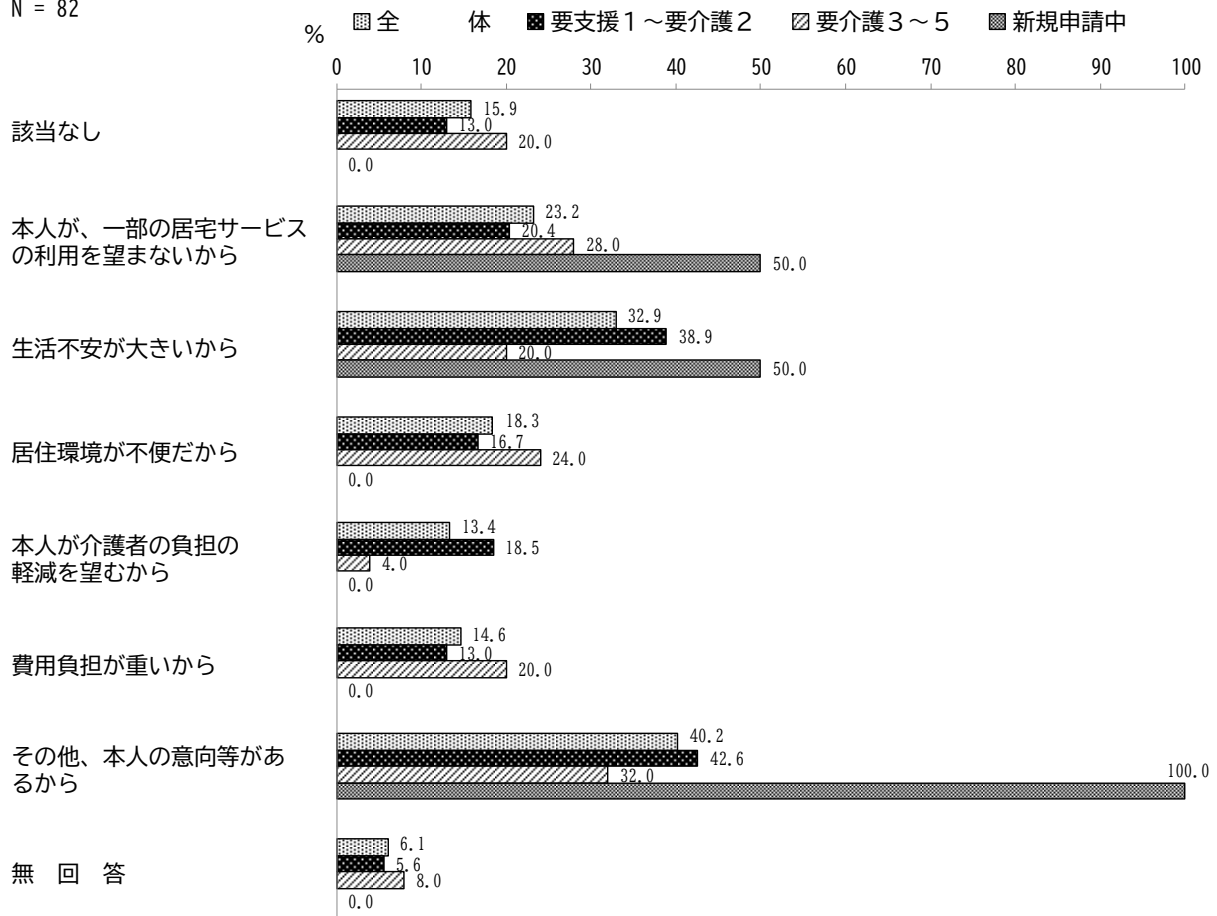
【全 体】

本人の意向等に属する理由については、「その他、本人の意向等があるから」が40.2%と最も高く、次いで「生活不安が大きいから」が32.9%、「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が23.2%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「その他、本人の意向等があるから」が42.6%、「生活不安が大きいから」が38.9%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「その他、本人の意向等があるから」が32.0%、「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が28.0%の順で高くなっています。

N = 82



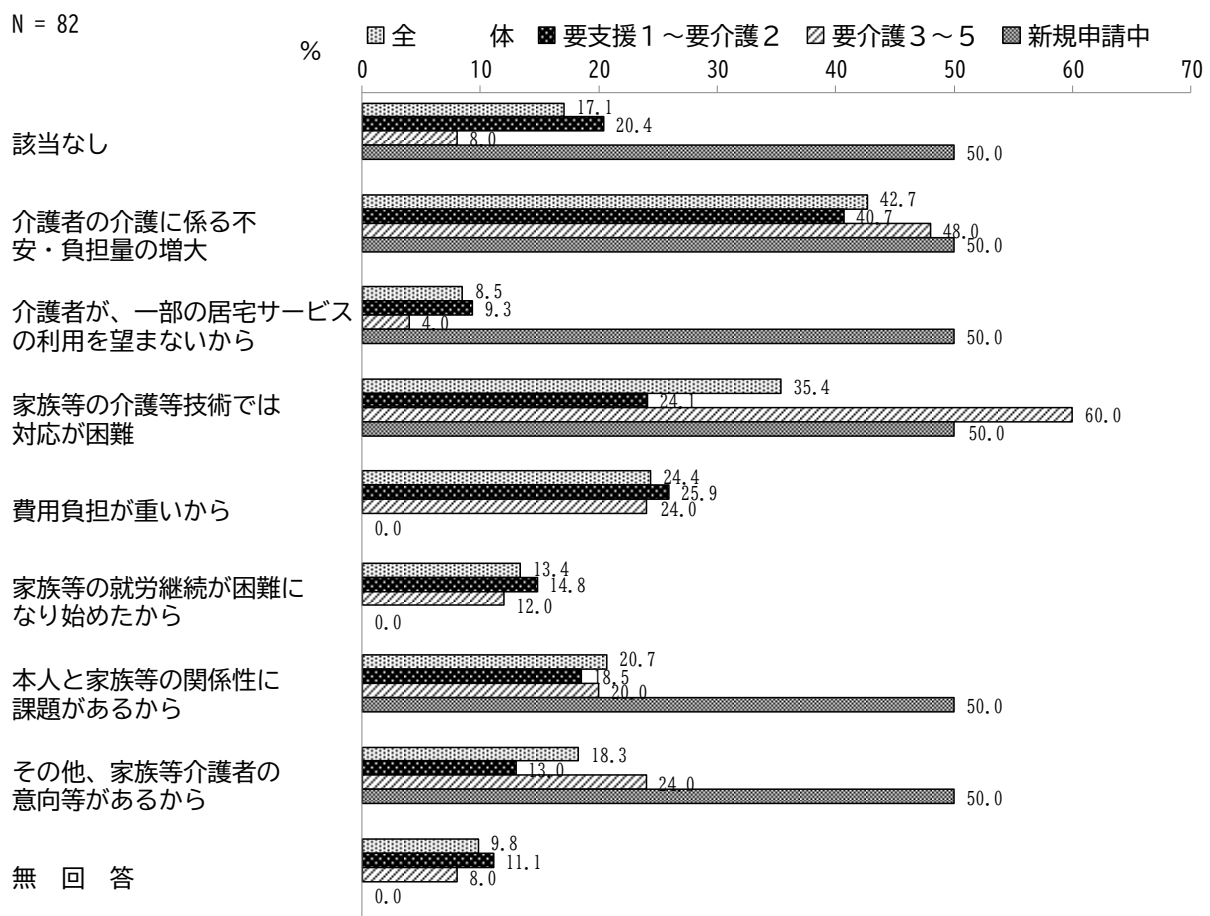
問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について

【全 体】

家族等介護者の意向・負担等に属する理由については、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が42.7%と最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」が35.4%、「費用負担が重いから」が24.4%、「本人と家族等の関係性に課題があるから」が20.7%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が40.7%、「費用負担が重いから」が25.9%、「家族等の介護等技術では対応が困難」が24.1%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「家族等の介護等技術では対応が困難」が60.0%、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が48.0%、「費用負担が重いから」、「その他、家族等介護者の意向等があるから」がともに24.0%の順で高くなっています。



問2-4 本人の状態等に属する理由が「必要な身体介護の増大」の場合の具体的な「身体介護」について

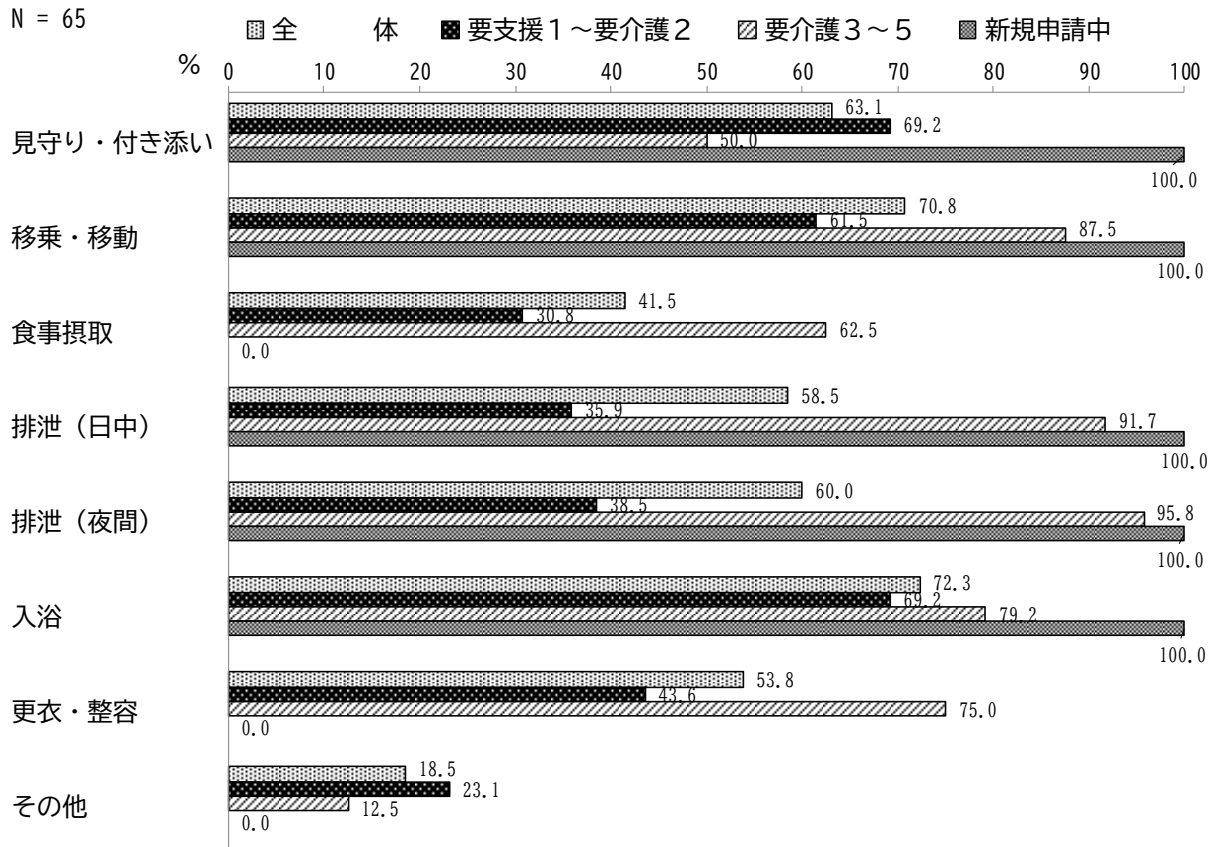
【全 体】

必要な身体介護の増大が理由の具体的な「身体介護」の内容については、「入浴」が72.3%と最も高く、次いで「移乗・移動」が70.8%、「見守り・付き添い」が63.1%、「排泄(夜間)」が60.0%、「排泄(日中)」が58.5%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「見守り・付き添い」、「入浴」がともに69.2%、「移乗・移動」が61.5%、「更衣・整容」が43.6%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「排泄(夜間)」が95.8%、「排泄(日中)」が91.7%、「移乗・移動」が87.5%、「入浴」が79.2%、「更衣・整容」が75.0%の順で高くなっています。

なお、「見守り・付き添い」を除くすべての項目で、「要介護3～5」が「要支援1～要介護2」より高くなっています。



問2-5 本人の状態等に属する理由が「認知症の症状の悪化」の場合の具体的な「認知症の症状」について

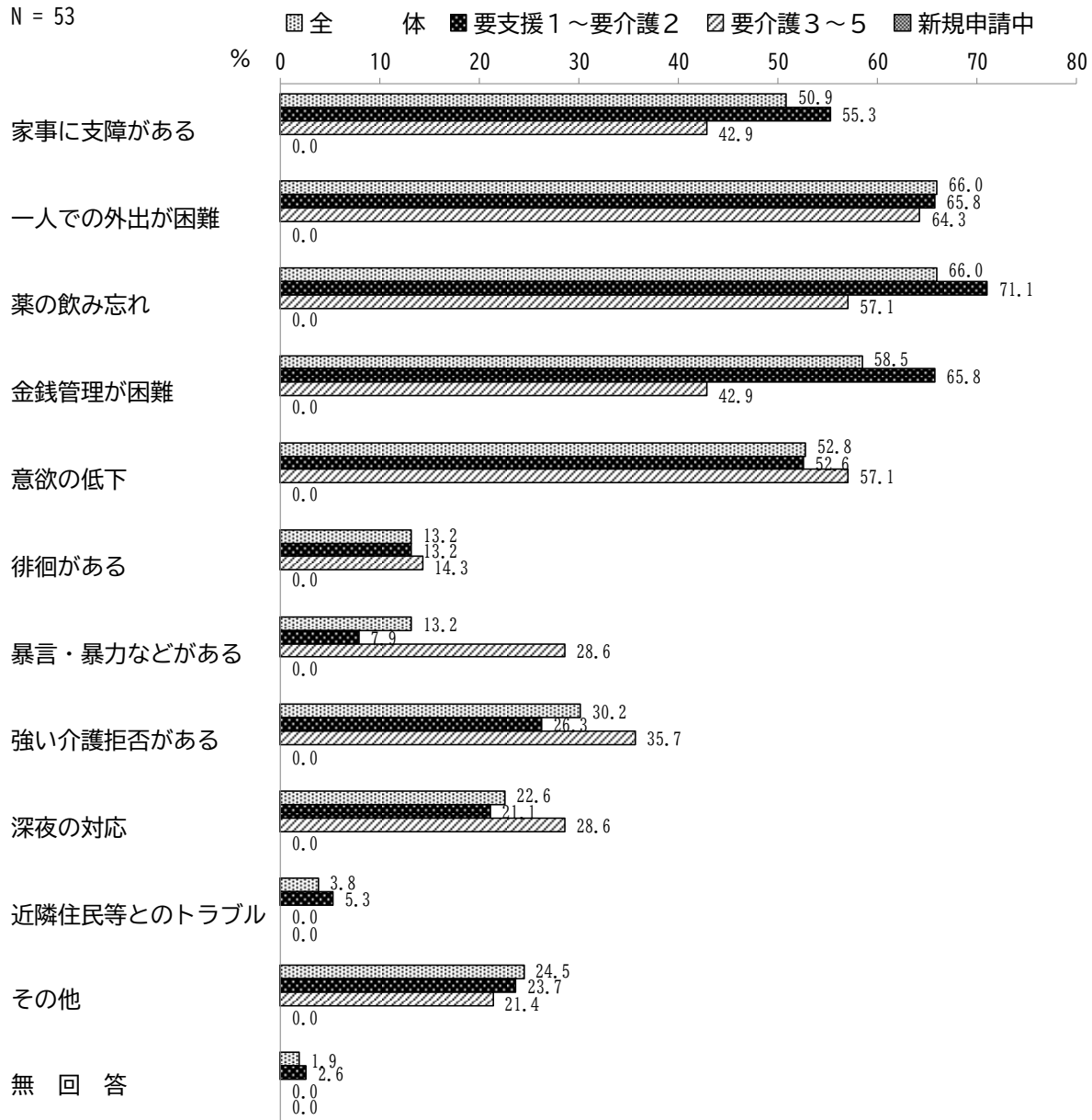
【全 体】

認知症の症状の悪化が理由の具体的な「認知症の症状」の内容については、「一人での外出が困難」、「薬の飲み忘れ」がともに66.0%と最も高く、次いで「金銭管理が困難」が58.5%、「意欲の低下」が52.8%、「家事に支障がある」が50.9%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「薬の飲み忘れ」が71.1%、「一人での外出が困難」、「金銭管理が困難」がともに65.8%、「家事に支障がある」が55.3%「意欲の低下」が52.6%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」は、「一人での外出が困難」が64.3%、「薬の飲み忘れ」、「意欲の低下」がともに57.1%、「家事に支障がある」、「金銭管理が困難」がともに42.9%の順で高くなっています。

N = 53



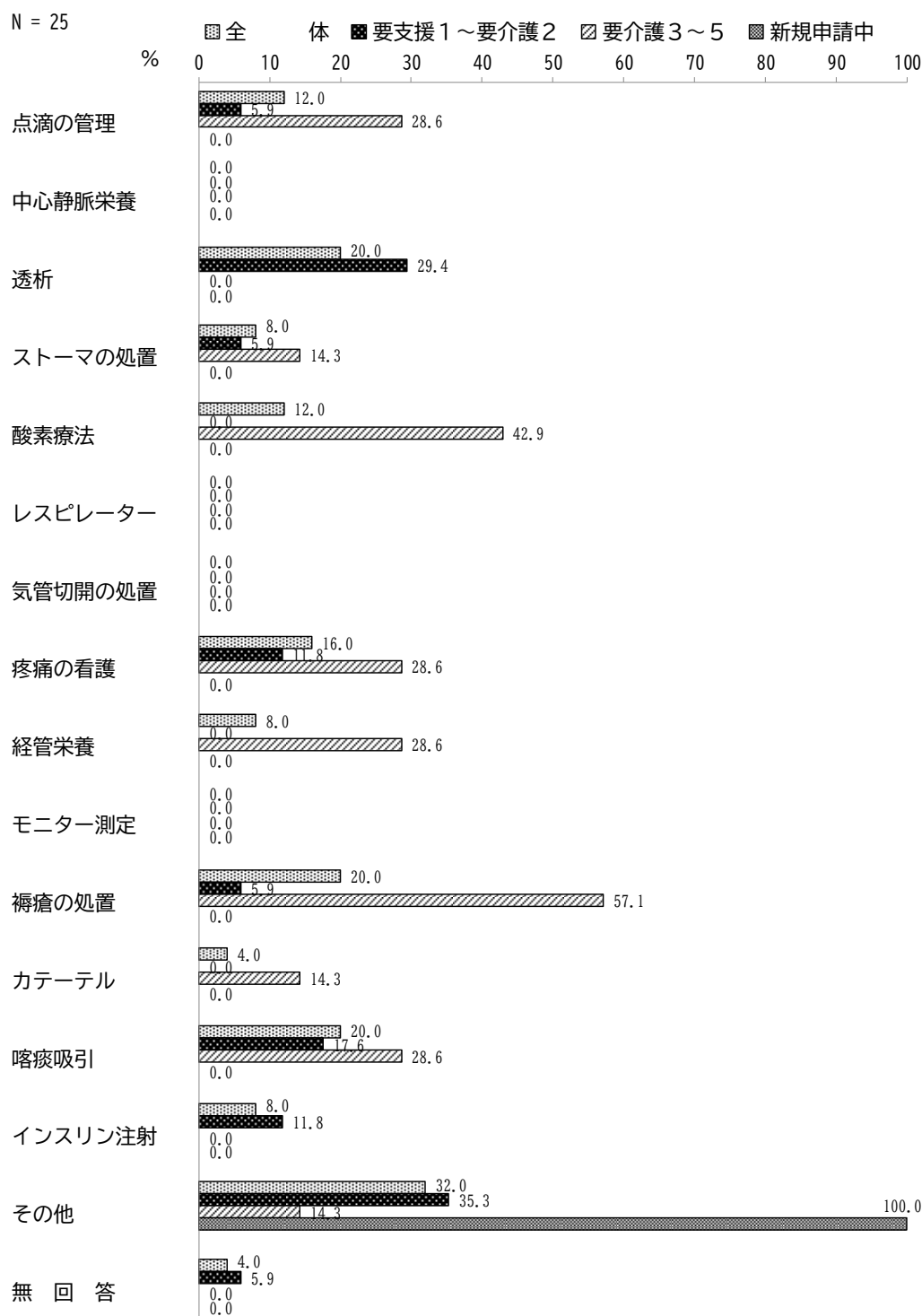
問2-6 本人の状態等に属する理由が「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」の場合の具体的な「医療的ケア」、「医療処置」について

【全 体】

医療的ケア・医療処置の必要性の高まりが理由の具体的な介護内容については、「透析」、「褥瘡の処置」、「喀痰吸引」がそれぞれ20.0%(各5人)と最も高く、次いで「疼痛の看護」が16.0%(4人)、「点滴の管理」、「酸素療法」がともに12.0%(各3人)と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「透析」が29.4%(5人)、「喀痰吸引」が17.6%(3人)、「疼痛の看護」、「インスリン注射」がともに11.8%(各2人)の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「褥瘡の処置」が57.1%(4人)、「酸素療法」が42.9%(3人)、「点滴の管理」、「疼痛の看護」、「経管栄養」、「喀痰吸引」がそれぞれ28.6%(各2人)の順で高くなっています。



4. 〈利用者票〉状況を改善するための、サービス利用の変更等について

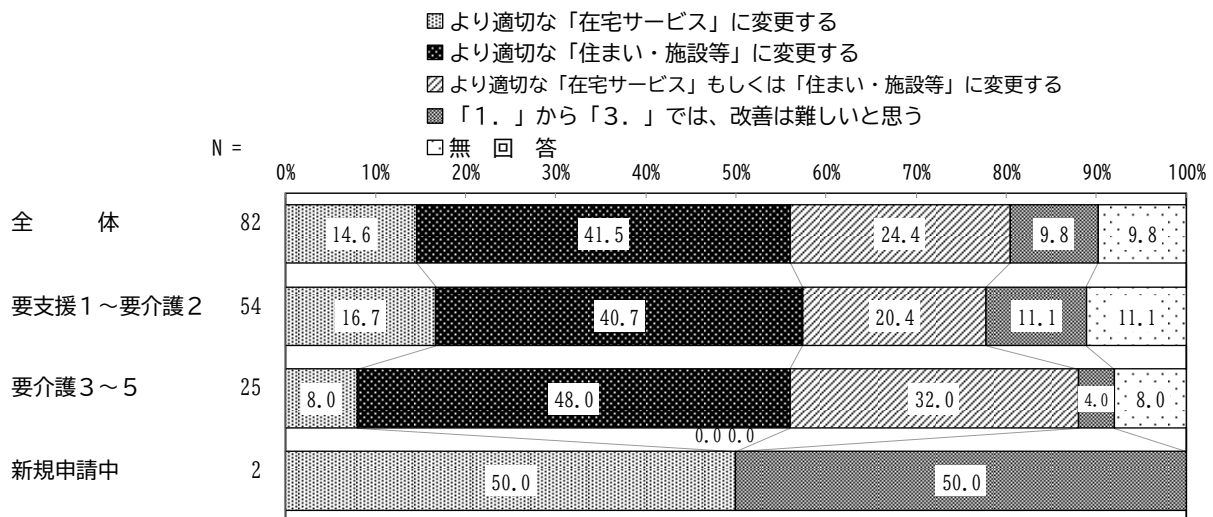
問3-1 生活を維持するために必要なサービスについて

【全 体】

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思うかについては、「より適切な『住まい・施設等』に変更する」が41.5%、「より適切な『在宅サービス』もしくは『住まい・施設等』に変更する」が24.4%、「より適切な『在宅サービス』に変更する」が14.6%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」、「要介護3～5」ともに「より適切な『住まい・施設等』に変更する」（それぞれ40.7%、48.0%）、「より適切な『在宅サービス』もしくは『住まい・施設等』に変更する」（それぞれ20.4%、32.0%）、「より適切な『在宅サービス』に変更する」（それぞれ16.7%、8.0%）の順で高くなっています。



※ 「1.」から「3.」では、改善は難しいと思うの「1.」から「3.」とは、選択肢1「より適切な『在宅サービス』に変更する」、選択肢2「より適切な『住まい・施設等』に変更する」、選択肢3「より適切な『在宅サービス』もしくは『住まい・施設等』に変更する」の選択肢番号を指す。

問3-2 生活を維持するために必要な具体的なサービスについて

■在宅サービス

【全 体】

生活を維持するために必要な具体的な在宅サービスについては、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」が16.7%と最も高く、次いで「ショートステイ」、「訪問介護、訪問入浴」、「定期巡回サービス」がそれぞれ15.2%、「訪問看護」、「小規模多機能」、「看護小規模多機能」がそれぞれ13.6%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「訪問介護、訪問入浴」が19.0%、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」、「小規模多機能」がともに16.7%、「ショートステイ」、「訪問看護」がともに14.3%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「定期巡回サービス」が31.8%、「看護小規模多機能」が22.7%、「ショートステイ」が18.2%の順で高くなっています。

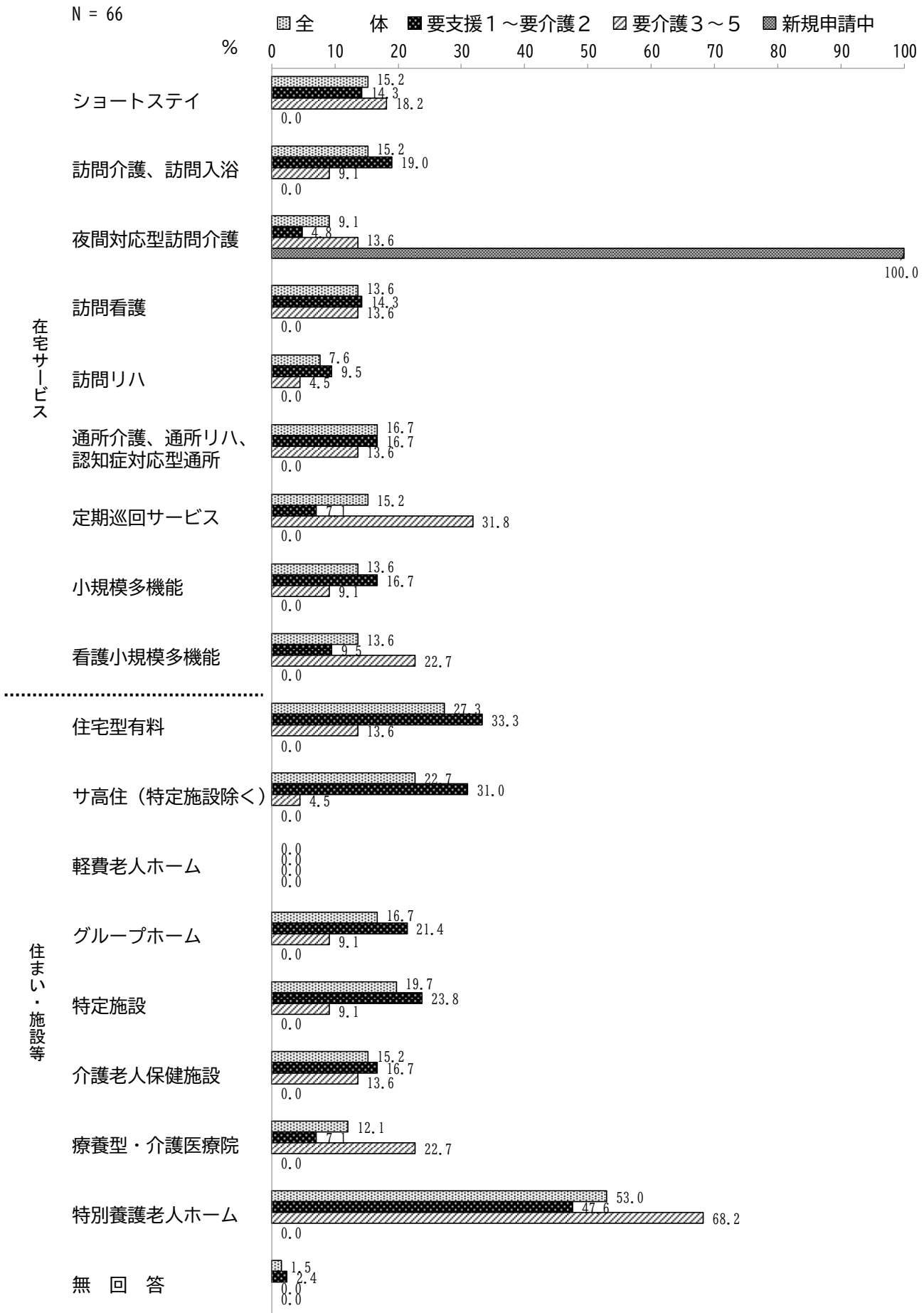
■住まい・施設等

【全 体】

生活を維持するために必要な具体的な住まい・施設等については、「特別養護老人ホーム」が53.0%と最も高く、次いで「住宅型有料」が27.3%、「サ高住(特定施設除く)」が22.7%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「特別養護老人ホーム」が47.6%、「住宅型有料」が33.3%、「サ高住(特定施設除く)」が31.0%の順で高くなっています。また、「要介護3～5」では、「特別養護老人ホーム」が68.2%、「療養型・介護医療院」が22.7%、「住宅型有料」、「介護老人保健施設」が13.6%の順で高くなっています。



問3-3 利用者の入所・入居の緊急度について

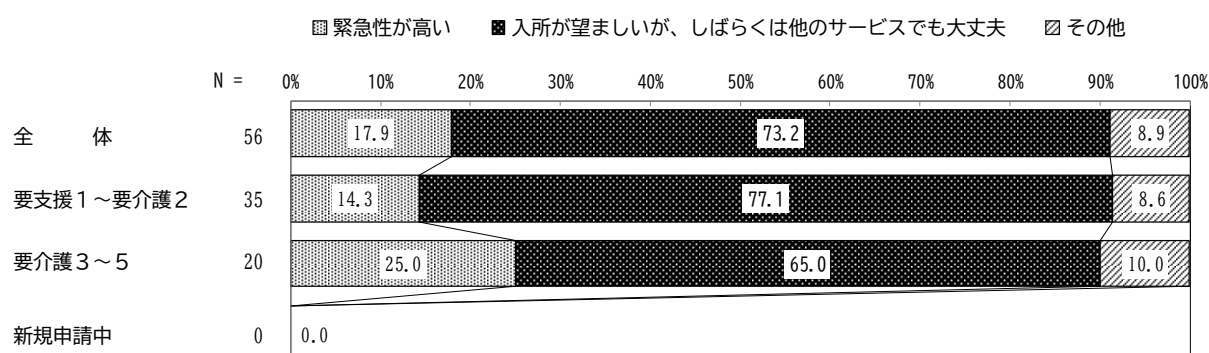
※問3-2で「住宅型有料」から「特別養護老人ホーム」を選択した場合の入所・入居の緊急度
【全体】

入所・入居の緊急度については、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が73.2%となっています。

なお、「緊急性が高い」は17.9%となっています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が77.1%、「緊急性が高い」が14.3%となっています。また、「要介護3～5」では、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が65.0%、「緊急性が高い」が25.0%となっています。



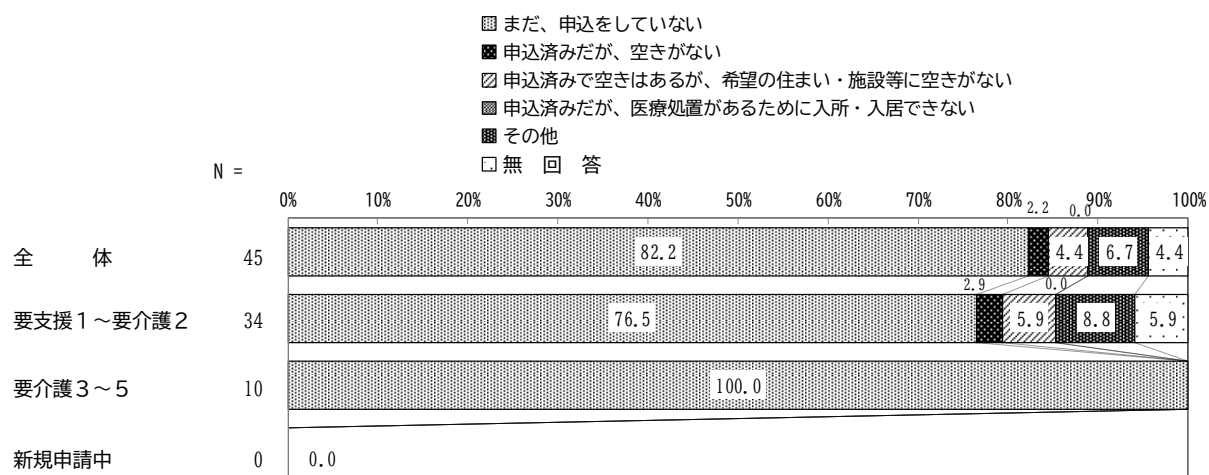
問3-4 入所・入居できていない理由について

※問3-2で「住宅型有料」から「療養型・介護医療院」を選択した場合の入所・入居できていない理由
【全体】

入所・入居できていない理由については、「まだ、申込をしていない」が82.2%と最も高く、次いで、「申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない」が4.4%、「申込済みだが、空きがない」が2.2%と続いています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「まだ、申込をしていない」が76.5%、「申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない」が5.9%、「申込済みだが、空きがない」が2.9%となっています。また、「要介護3～5」では、「まだ、申込をしていない」が100.0%となっています。



問3-5 特養に入所できていない理由について

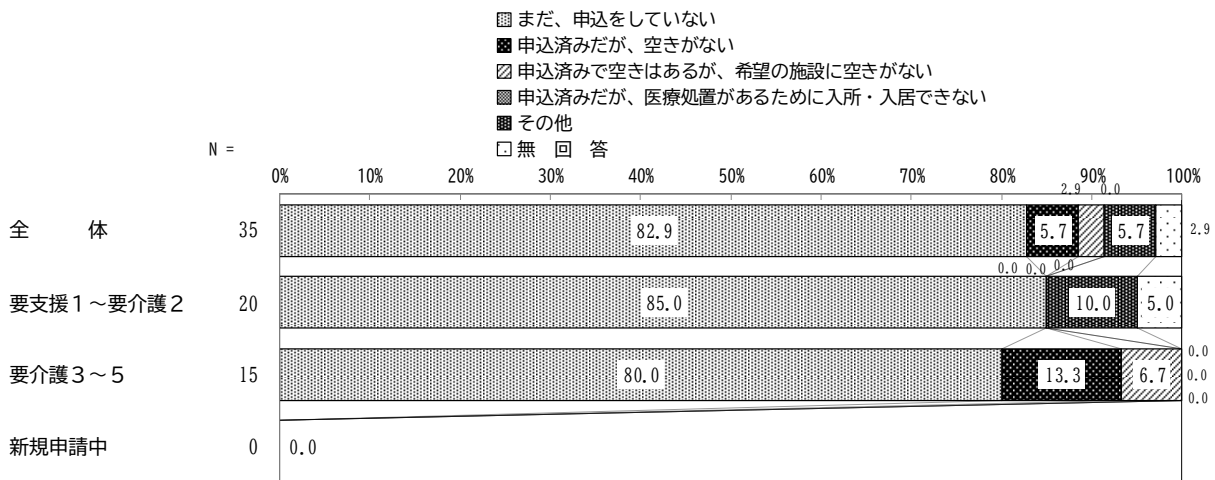
※問3-2で「特別養護老人ホーム」を選択した場合の入所できていない理由

【全 体】

特養に入所できていない理由については、「まだ、申込をしていない」が82.9%、「申込済みだが、空きがない」が5.7%、「申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない」が2.9%となっています。

【要介護度別】

「要支援1～要介護2」では、「まだ、申込をしていない」が85.0%となっています。また、「要介護3～5」では、「まだ、申込をしていない」が80.0%、「申込済みだが、空きがない」が13.3%、「申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない」が6.7%となっています。



資料 在宅生活改善調査 調査票

調査要綱

1 調査の目的

- ・ 自宅等（サ高住、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム含む）に住んでいる方で、現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討することを目的に実施します。

2 ご回答にあたって

- ・ 本調査票は、新座市内の全ての居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所を対象に送付しております。
- ・ ご回答いただいた内容を、貴事業所の許可なしに、貴事業所が特定される形で公表することはございません。
- ・ 本調査はメールでのご回答をお願いしておりますが、郵送でご回答していただいても構いません。

3 調査票のご回答方法

この度お送りしたアンケート調査では、以下の2種類の調査票があります。

【事業所票（エクセル形式）】

管理者の方がご回答ください。

【利用者票（エクセル形式）】

ケアマネジャーの方(非常勤の方も含む) がご回答ください。

- ・ 各ケアマネジャーのご担当の利用者のうち、「市内の現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」について、状況をお伺いします。
- ・ 次ページのフローにしたがって対象者を抽出し、対象となる利用者の方について「利用者票」にご回答をお願いします。
- ・ 各ケアマネジャーのご回答は1ファイル（15人分まで）でご回答ください。

4 調査票の提出方法

- ・ 管理者の方は、回答済みの調査票すべてを、メールに添付していただき、令和5年1月6日（金）までに下記メールアドレスにご返信いただきますよう、お願い申し上げます。

5 提出先メールアドレス

Kaiho@city.niiza.lg.jp

6 問い合わせ先

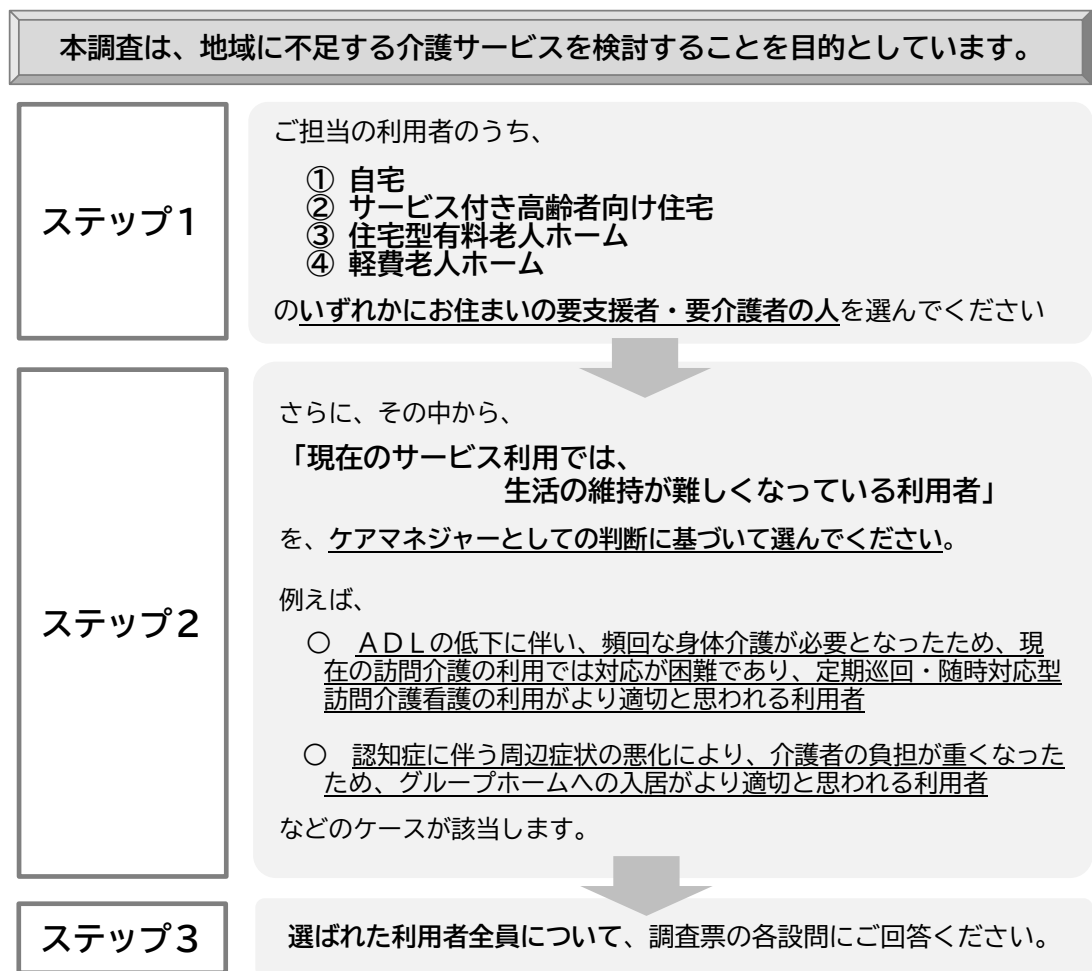
新座市役所 介護保険課 事業計画係
電話：048-424-5361（直通）

7 「利用者票」の対象者の抽出方法

「利用者票」は、ケアマネジャーの視点からみた「市内の現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。

各ケアマネジャーの方は、ご担当の利用者のうち、調査への回答の対象となる利用者を以下のフローにしたがって抽出し、「利用者票」の各設問にご回答ください。

<回答の対象となる要支援者・要介護者の抽出方法>



在宅生活改善調査 事業所票

事業所名

※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

※整数のみ入力ください(人)

1) 所属するケアマネジャーの人数	
2) 「自宅等（3）を除く）」にお住まいの利用者数	
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

※整数のみ入力ください(人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
							人★

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた1)～13)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数（★欄）が一致することをご確認ください。

※整数のみ入力ください(人)

	市内	市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 療養型・介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) その他		
13) 行先を把握していない		
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）		

1)~13) 合計
人

人数欄には
整数のみ入
力します

在宅生活改善調査 利用者票 ※利用者ごとに1シート (A4・3頁)

事業所番号をご記入ください 事業所番号

※利用者欄に個人名などを記入しないで下さい (利用者) 利用者1

・本調査票は、貴事業所の各ケアマネジャーにご回答いただきます。
 ・担当されている利用者で「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。
 ・例えば「**頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者**」、
 ・同じく「**認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方**」などが対象です。

問1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。(該当する番号1つを選択)

問1-1 世帯類型

- 1.独居
- 2.夫婦のみ
- 3.単身の子供との同居
- 4.その他の同居

問1-2 現在の居所

- 1.自宅等 (持ち家)
- 2.自宅等 (借家)
- 3.住宅型有料
- 4.サ高住
- 5.軽費老人ホーム

問1-3 要支援・要介護度

- 1.要支援1
- 2.要支援2
- 3.要介護1
- 4.要介護2
- 5.要介護3
- 6.要介護4
- 7.要介護5
- 8.新規申請中

問2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。

問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください(あてはまる番号すべて選択)

- 1.該当なし
- 2.必要な生活支援の発生・増大
- 3.必要な身体介護の増大
⇒後で【問2-4】にご回答ください。
- 4.認知症の症状の悪化
⇒後で【問2-5】にご回答ください。
- 5.医療的ケア・医療処置の必要性の高まり
⇒後で【問2-6】にご回答ください。
- 6.その他、本人の状態等の悪化
- 7.本人の状態等の改善

問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください(あてはまる番号すべて選択)

- 1.該当なし
- 2.本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから
- 3.生活不安が大きいから
- 4.居住環境が不便だから
- 5.本人が介護者の負担の軽減を望むから
- 6.費用負担が重いから
- 7.その他、本人の意向等があるから

問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください（あてはまる番号すべて選択）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1.該当なし | <input type="checkbox"/> 5.費用負担が重いから |
| <input type="checkbox"/> 2.介護者の介護に係る不安・負担量の増大 | <input type="checkbox"/> 6.家族等の就労継続が困難になり始めたから |
| <input type="checkbox"/> 3.介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから | <input type="checkbox"/> 7.本人と家族等の関係性に課題があるから |
| <input type="checkbox"/> 4.家族等の介護等技術では対応が困難 | <input type="checkbox"/> 8.その他、家族等介護者の意向等があるから |

問2-4 【問2-1で「3.必要な身体介護の増大」を選択の場合】

理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください（あてはまる番号すべて選択）

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.見守り・付き添い | <input type="checkbox"/> 5.排泄（夜間） |
| <input type="checkbox"/> 2.移乗・移動 | <input type="checkbox"/> 6.入浴 |
| <input type="checkbox"/> 3.食事摂取 | <input type="checkbox"/> 7.更衣・整容 |
| <input type="checkbox"/> 4.排泄（日中） | <input type="checkbox"/> 8.その他 |

問2-5 【問2-1で「4.認知症の症状の悪化」を選択の場合】

理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください（あてはまる番号すべて選択）

- | | |
|--------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 1.家事に支障がある | <input type="checkbox"/> 7.暴言・暴力などがある |
| <input type="checkbox"/> 2.一人での外出が困難 | <input type="checkbox"/> 8.強い介護拒否がある |
| <input type="checkbox"/> 3.薬の飲み忘れ | <input type="checkbox"/> 9.深夜の対応 |
| <input type="checkbox"/> 4.金銭管理が困難 | <input type="checkbox"/> 10.近隣住民等とのトラブル |
| <input type="checkbox"/> 5.意欲の低下 | <input type="checkbox"/> 11.その他 |
| <input type="checkbox"/> 6.徘徊がある | |

問2-6 【問2-1で【「5.医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択の場合】

理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください（あてはまる番号すべて選択）

- | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1.点滴の管理 | <input type="checkbox"/> 6.レスピレーター | <input type="checkbox"/> 11.褥瘡の処置 |
| <input type="checkbox"/> 2.中心静脈栄養 | <input type="checkbox"/> 7.気管切開の処置 | <input type="checkbox"/> 12.カテーテル |
| <input type="checkbox"/> 3.透析 | <input type="checkbox"/> 8.疼痛の看護 | <input type="checkbox"/> 13.喀痰吸引 |
| <input type="checkbox"/> 4.ストーマの処置 | <input type="checkbox"/> 9.経管栄養 | <input type="checkbox"/> 14.インスリン注射 |
| <input type="checkbox"/> 5.酸素療法 | <input type="checkbox"/> 10.モニター測定 | <input type="checkbox"/> 15.その他 |

問3. 状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。なお「在宅サービス」と「住まい・施設等」の定義は、問3-2を参照

- 1.より適切な「在宅サービス」に変更する（例：小多機能等）
- 2.より適切な「住まい・施設等」に変更する（例：サ高住への入居、特養への入所等）
- 3.より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する
(例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等)
- 4.「1.」～「3.」では、改善は難しいと思う ⇒ 【この利用者についての回答は終了です】
⇒ 【「1.」～「3.」を選択した場合は、問3-2にご回答ください】

問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください（あてはまる番号すべて選択）

- | | |
|---|---|
| <在宅サービス> | <住まい・施設等> |
| <input type="checkbox"/> 1.ショートステイ | <input type="checkbox"/> 10.住宅型有料 |
| <input type="checkbox"/> 2.訪問介護、訪問入浴 | <input type="checkbox"/> 11.サ高住（特定施設除く） |
| <input type="checkbox"/> 3.夜間対応型訪問介護 | <input type="checkbox"/> 12.軽費老人ホーム |
| <input type="checkbox"/> 4.訪問看護 | <input type="checkbox"/> 13.グループホーム |
| <input type="checkbox"/> 5.訪問リハ | <input type="checkbox"/> 14.特定施設 |
| <input type="checkbox"/> 6.通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 | <input type="checkbox"/> 15.介護老人保健施設 |
| <input type="checkbox"/> 7.定期巡回サービス | <input type="checkbox"/> 16.療養型・介護医療院 |
| <input type="checkbox"/> 8.小規模多機能 | <input type="checkbox"/> 17.特別養護老人ホーム |
| <input type="checkbox"/> 9.看護小規模多機能 | |

⇒住まい・施設等を1つでも選択した場合は、問3-3以降も回答

問3-3 【問3-2で「10.住宅型有料」～「17.特養」を選択の場合】 ※該当する番号1つを選択

利用者の入所・入居の緊急度をお答えください

- 1. 緊急性が高い
- 2. 入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫
- 3. その他

問3-4 【問3-2で「10.住宅型有料」～「16.療養型・介護医療院」（※特養以外）を選択の場合】

※該当する番号1つを選択

入所・入居できていない理由をお答えください

- 1. まだ、申込をしていない
- 2. 申込済みだが、空きがない
- 3. 申込済みで空きはあるが、希望の住まい・施設等に空きがない
- 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない
- 5. その他 ()

問3-5 【問3-2で「17.特養」を選択の場合】 ※該当する番号1つを選択

特養に入所できていない理由をお答えください

- 1. まだ、申込をしていない
- 2. 申込済みだが、空きがない
- 3. 申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない
- 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない
- 5. その他 ()

第9期新座市高齢者福祉計画・
新座市介護保険事業計画策定のためのアンケート調査
結果報告書

発行年月：令和5年3月

発行：新座市

編集：新座市 いきいき健康部 介護保険課

所在地：〒352-8623 埼玉県新座市野火止一丁目1番1号

電話：048-424-5361（直通）

F A X：048-482-5882